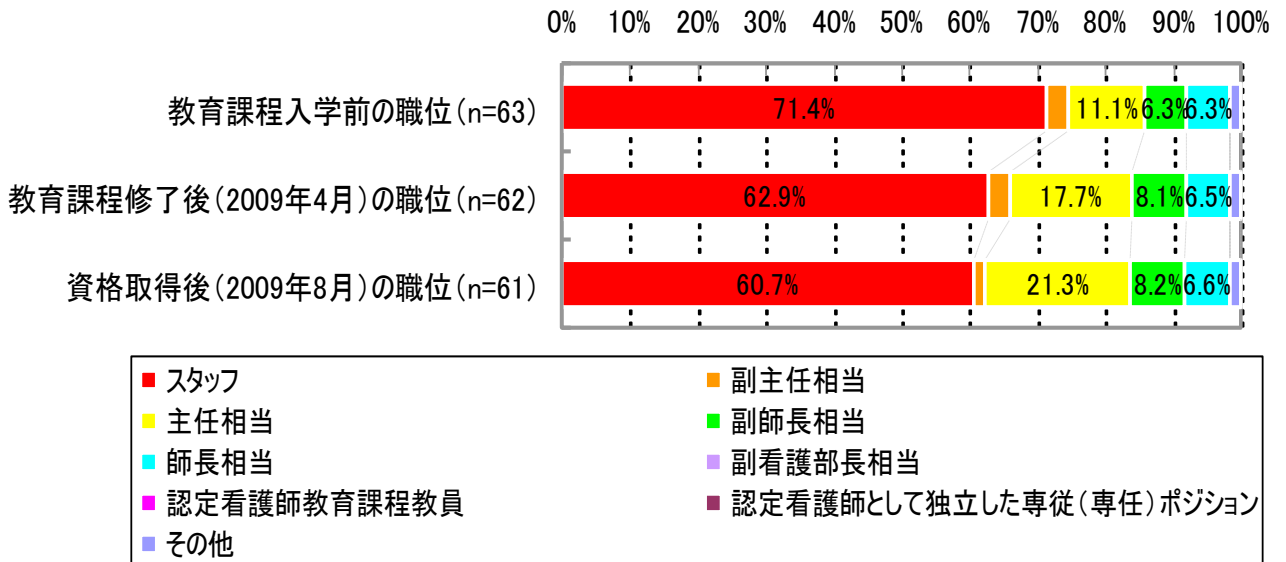


Ⅱ. 分野別結果

1 救急看護

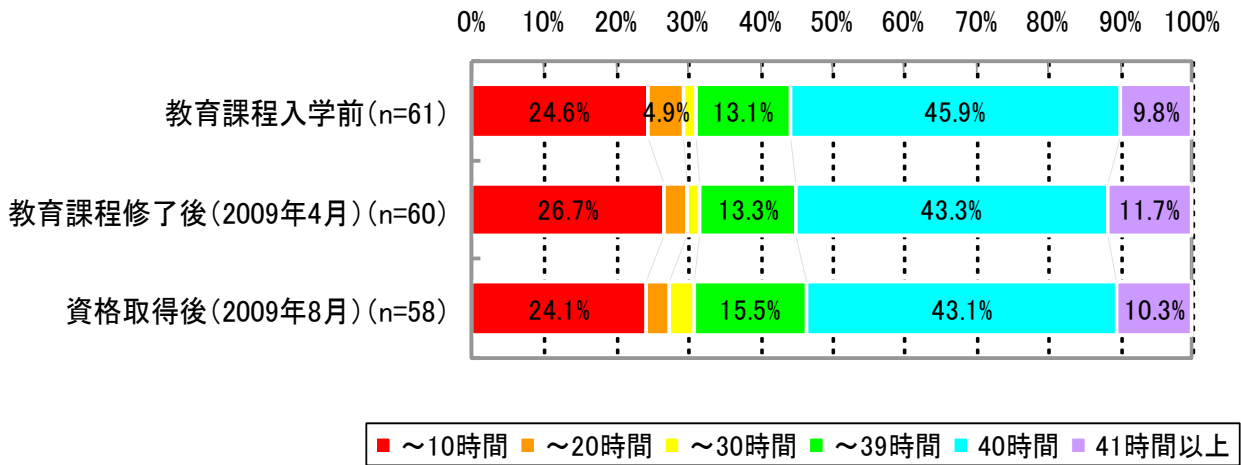
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



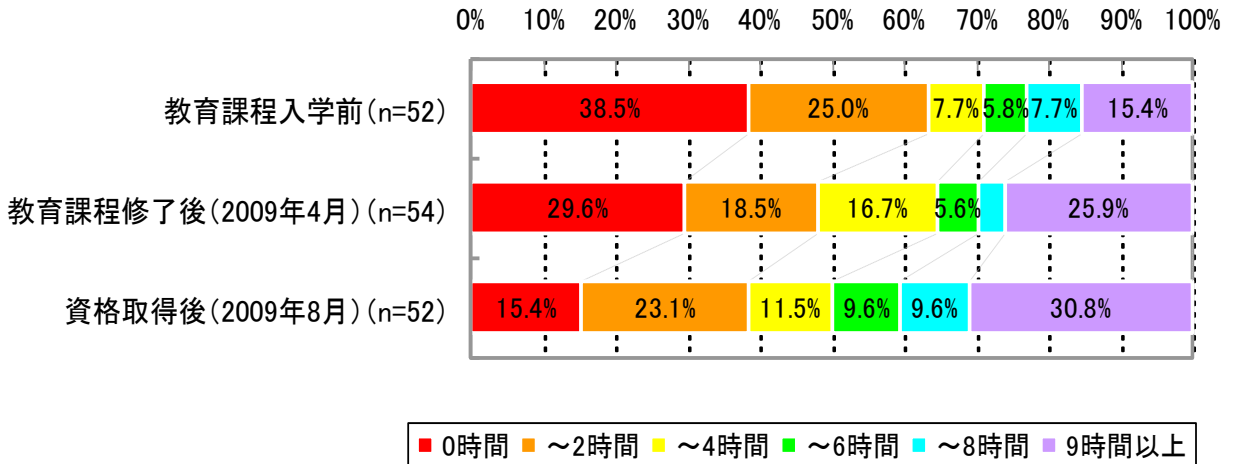
<図40. 救急看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、救急看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が71.4%から60.7%に減少し、「主任相当」の割合が11.1%から21.3%に増加していた(図40)

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図41. 救急看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

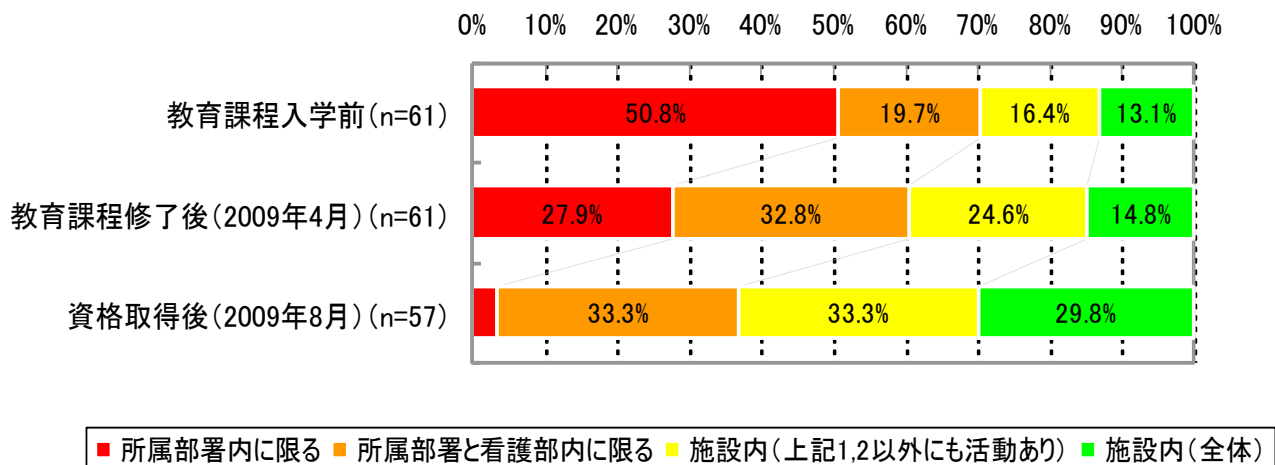


<図42. 救急看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

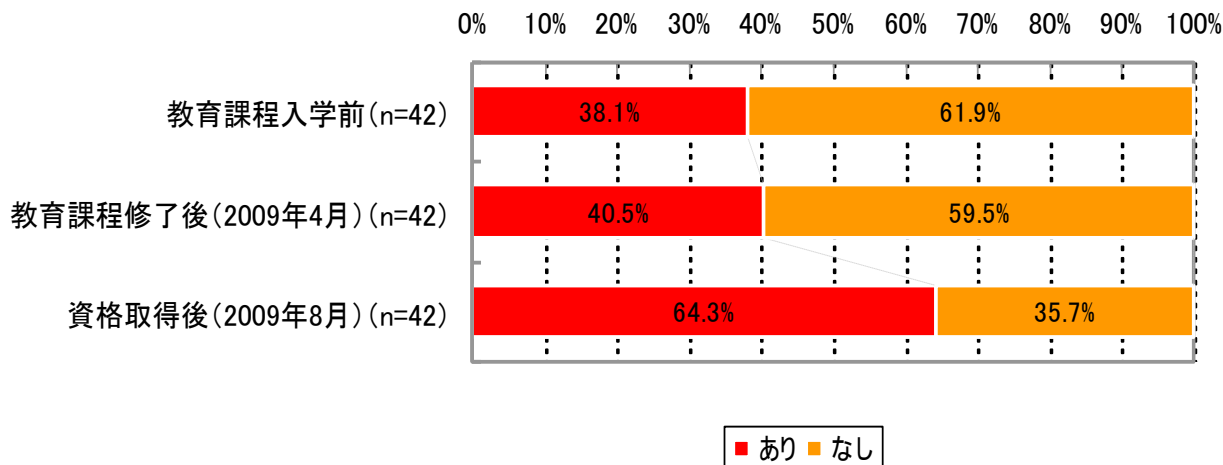
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は、「40時間」が46%であり、次いで「10時間以下」が25%であった。教育課程入学前から資格取得後を見ると、実践時間数ではどの時間帯も大きな変化は見られなかった(図41)。

勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が減少し、2時間を越えるものが増加、中でも、「9時間以上」は入学前に比べると資格取得後でほぼ倍増していた(図42)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図43. 救急看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

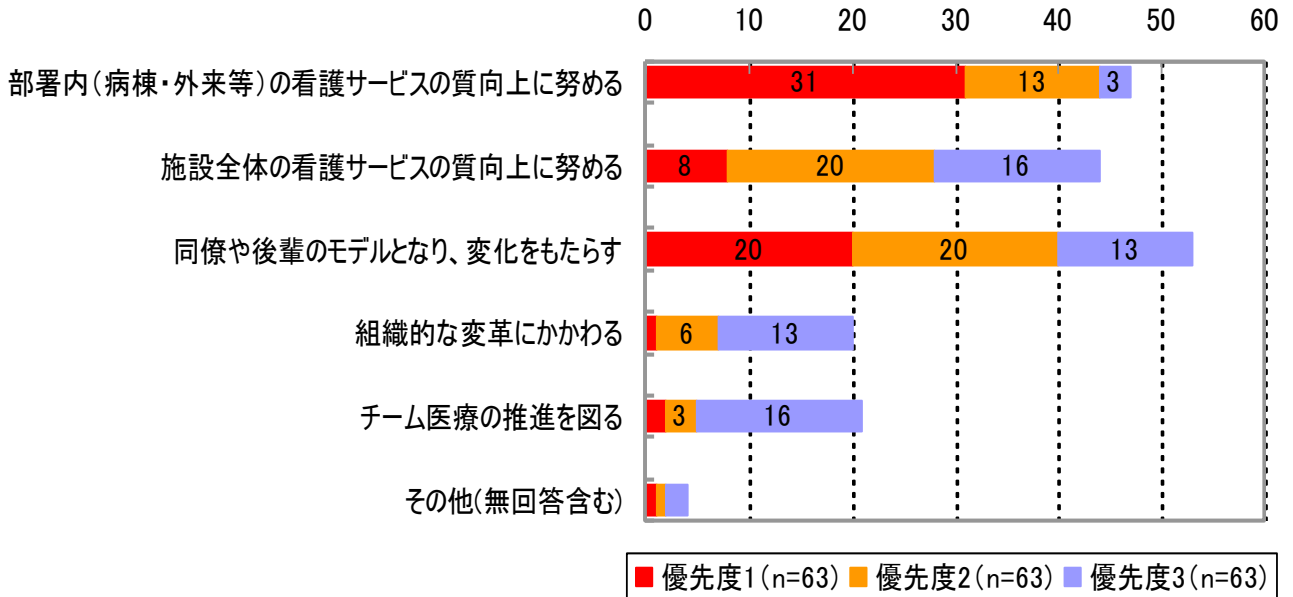


<図44. 救急看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が51%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は4%に減少し、活動範囲が拡大していた(図43)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の38.1%から資格取得後には64.3%に増加していた(図44)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

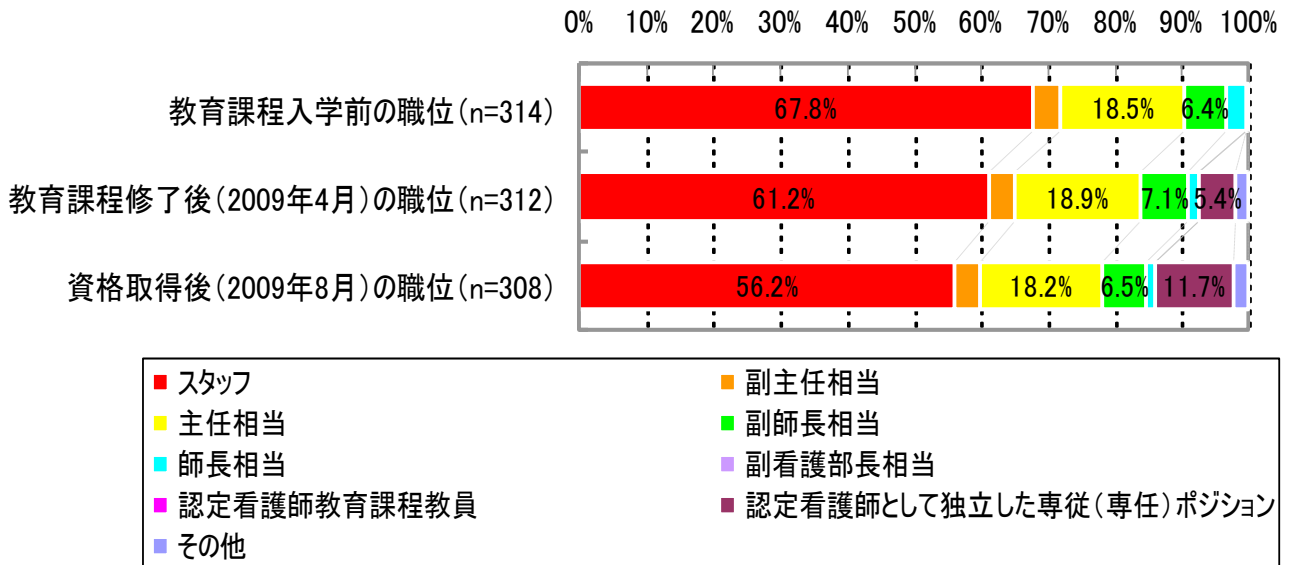


<図45. 救急看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数189名中53名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が31名で最も多かった(図45)。

2 皮膚・排泄ケア

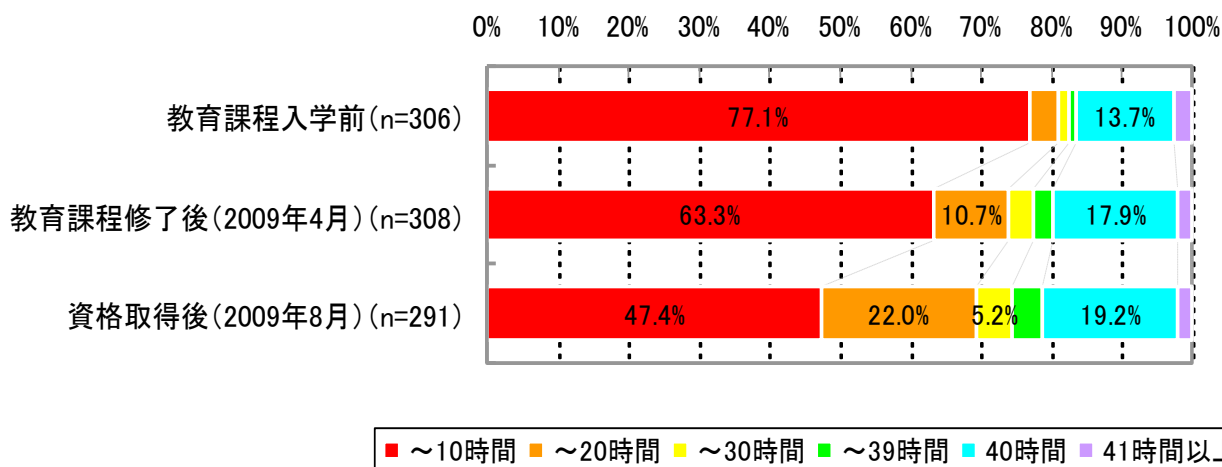
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



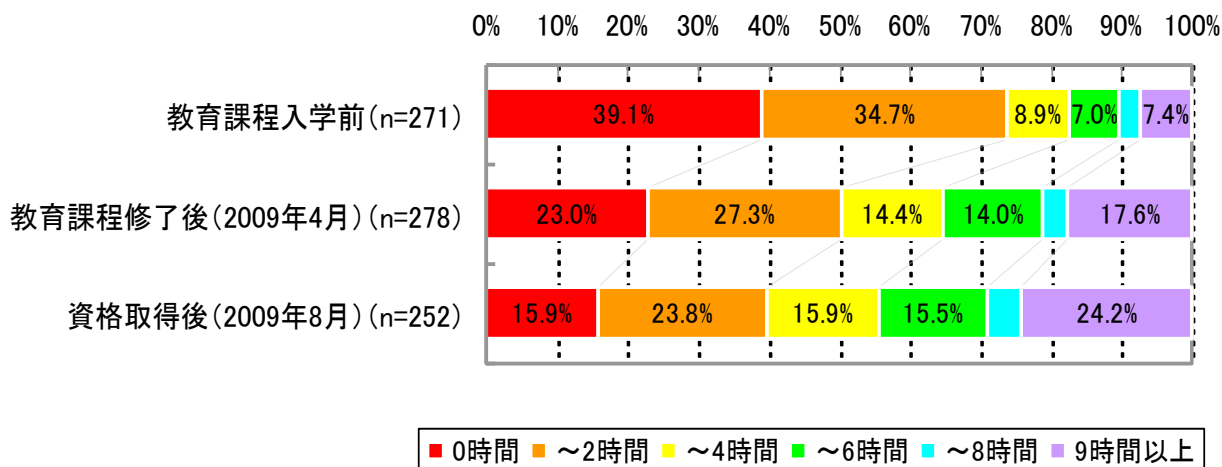
<図46. 皮膚・排泄ケア・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、皮膚・排泄ケア分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が67.8%から56.2%に減少し、「認定看護師として独立した専従(専任)ポジション」が0%から11.7%に増加していた(図46)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



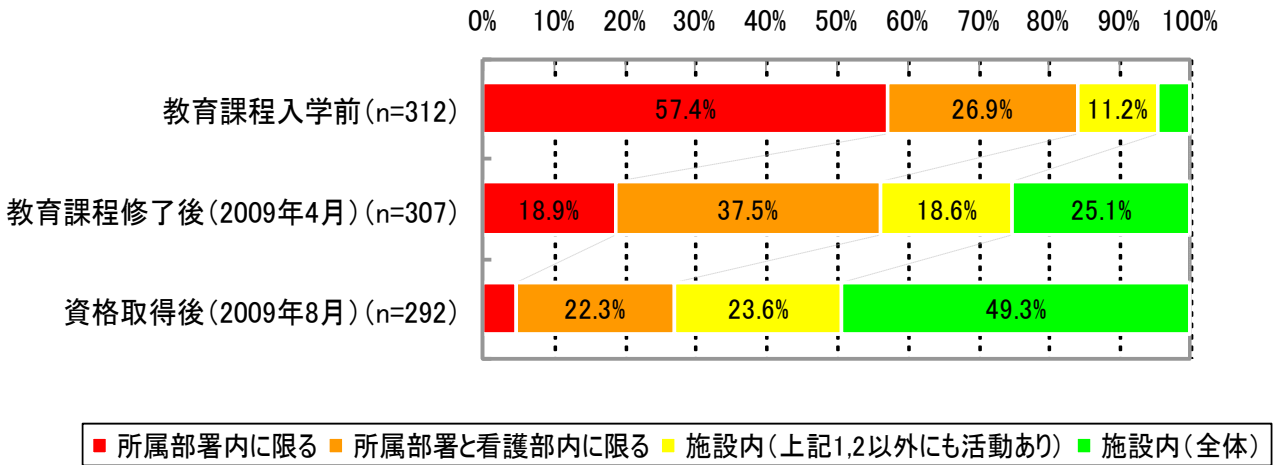
<図47. 皮膚・排泄ケア・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>



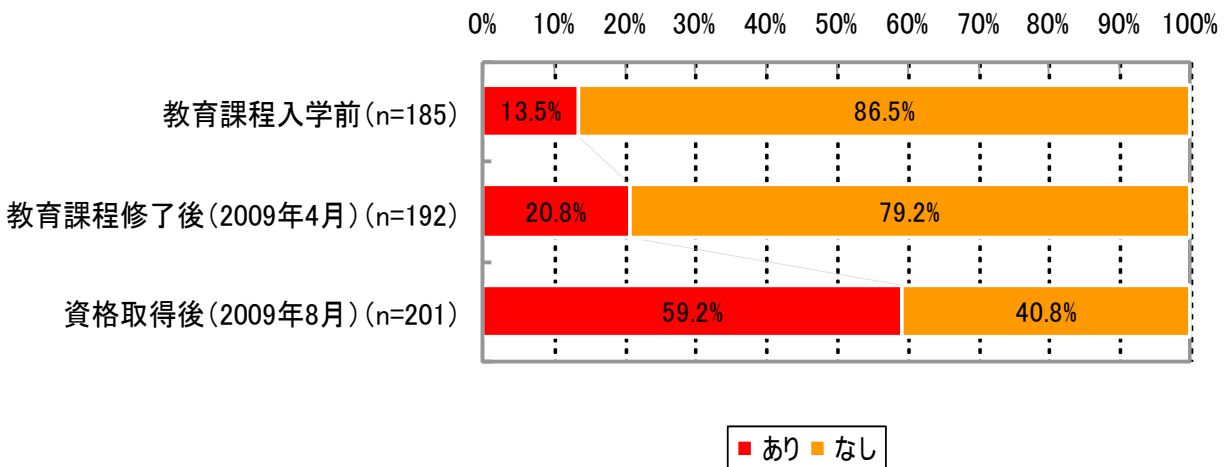
<図48. 皮膚・排泄ケア・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「10時間以下」が77.1%であり、次いで「40時間」が13.7%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、「10～20時間まで」と「40時間」が増加していた(図47)。
勤務時間外における実践時間数は、「0～2時間まで」が減少し、2時間を越えるものが増加、中でも、「9時間以上」は入学前の比べると教育課程修了後で2倍、資格取得後で3倍に増加していた(図48)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図49. 皮膚・排泄ケア・資格取得前後の活動範囲の変化>

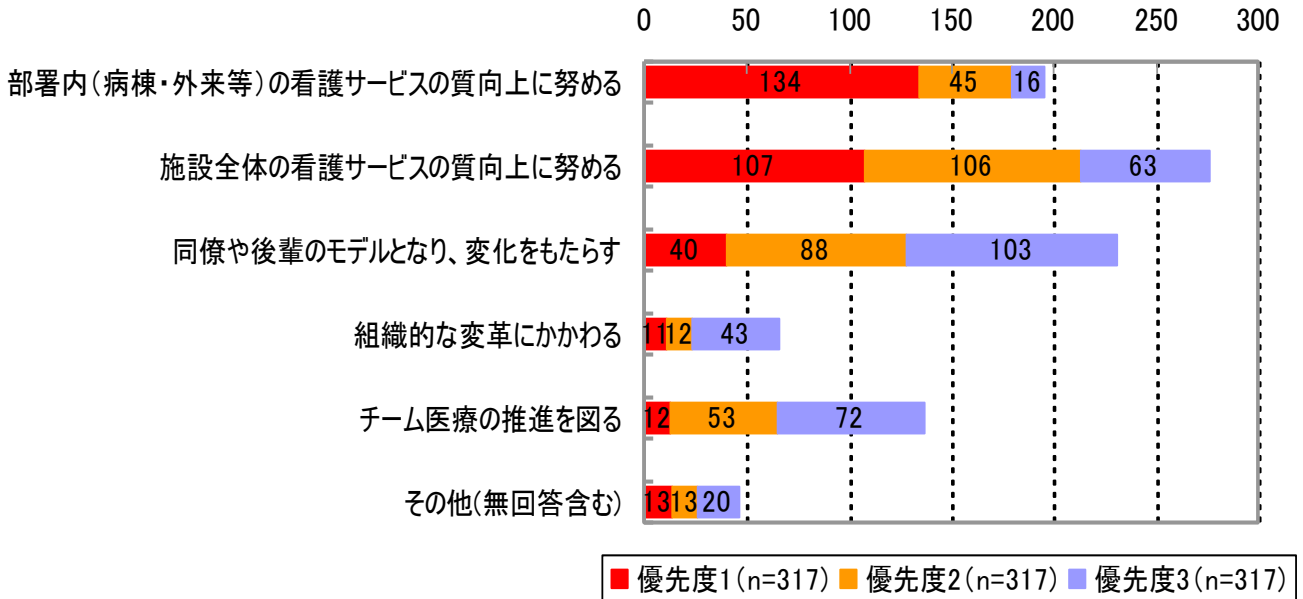


<図50. 皮膚・排泄ケア・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が57.4%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は5%に減少し、活動範囲が拡大していた(図49)。

施設外地域での活動範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の13.5%から資格取得後には59.2%に増加していた(図50)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

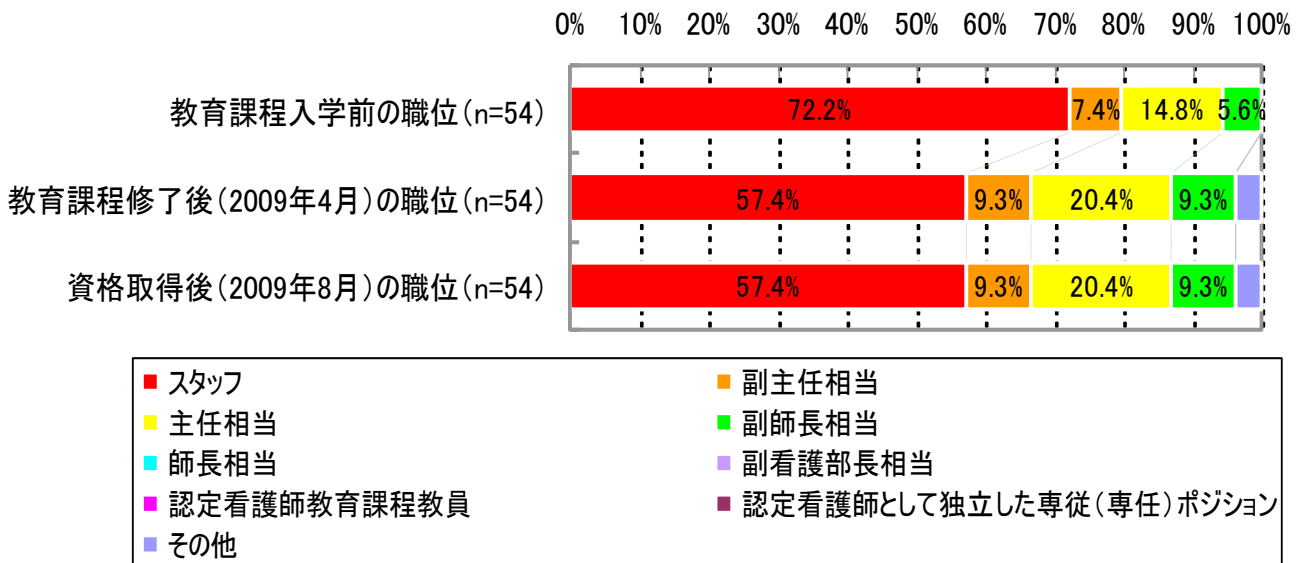


<図51. 皮膚・排泄ケア・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数951名中276名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が134名で最も多かった(図51)。

3 集中ケア

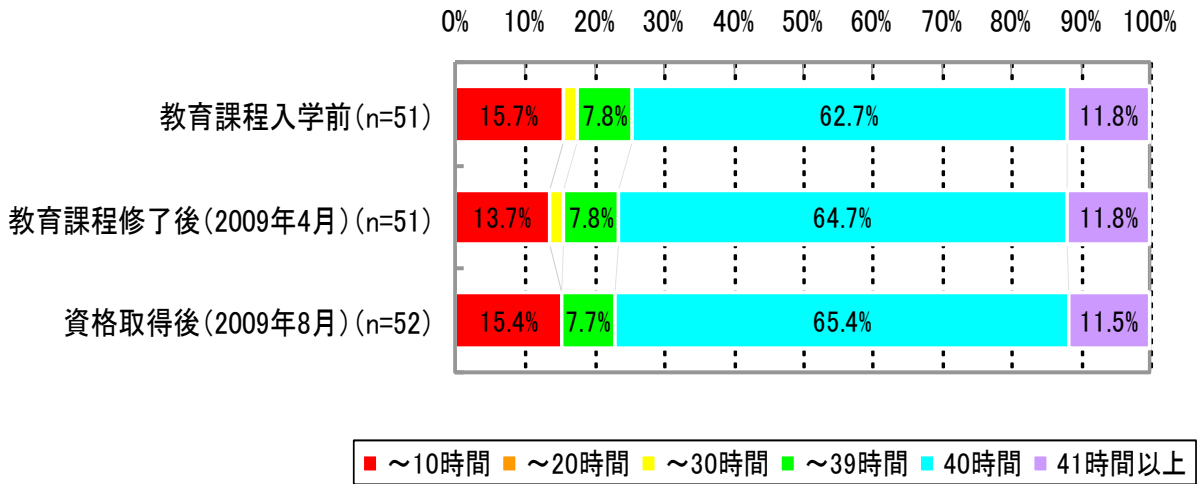
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



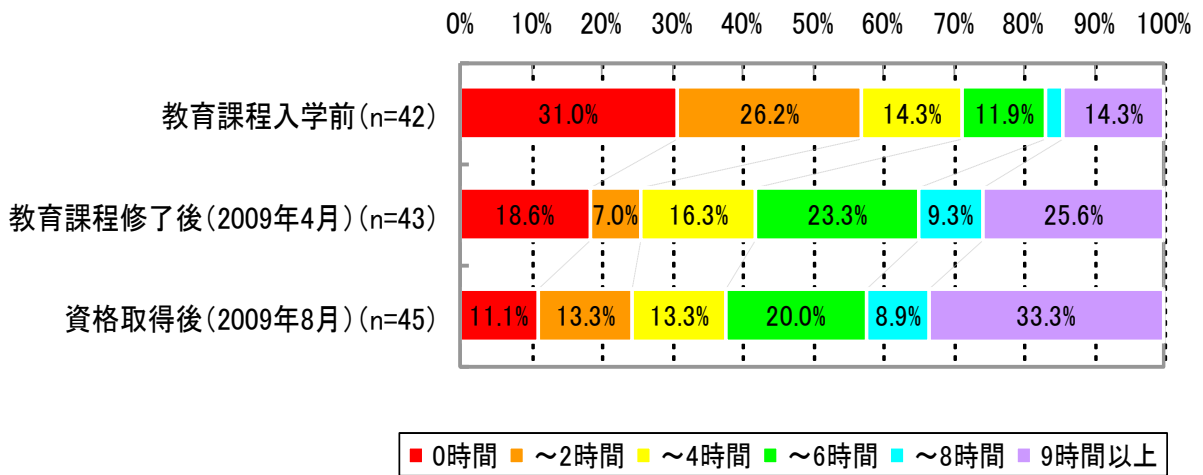
<図52. 集中ケア・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、集中ケアの認定者の職位は、「スタッフ」の割合が72.2%から57.4%に減少し、「主任相当」の割合が14.8%から20.4%に増加していた(図52)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図53. 集中ケア・資格取得前後の時間内勤務における実践時間数の変化>

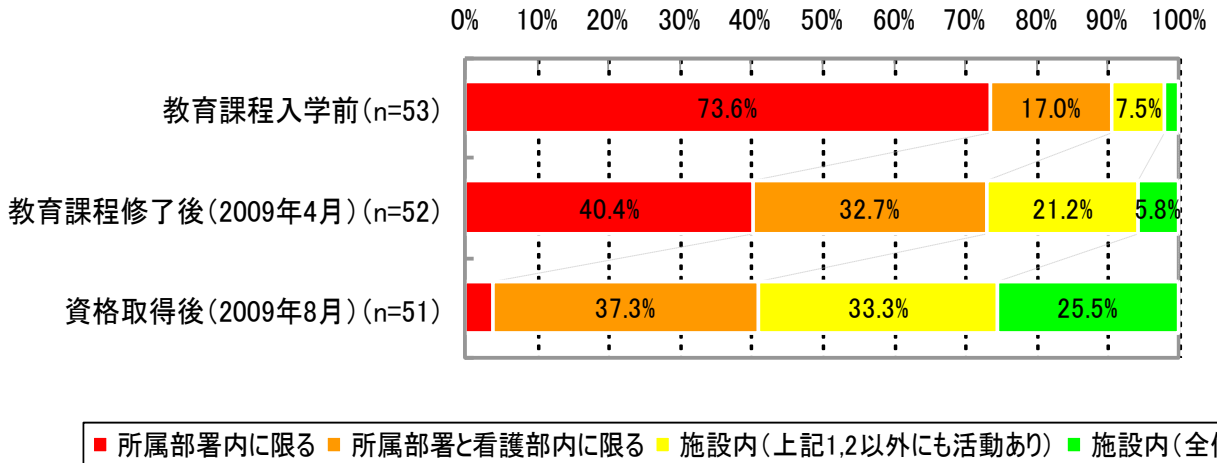


<図54. 集中ケア・資格取得前後の時間外勤務における実践時間数の変化>

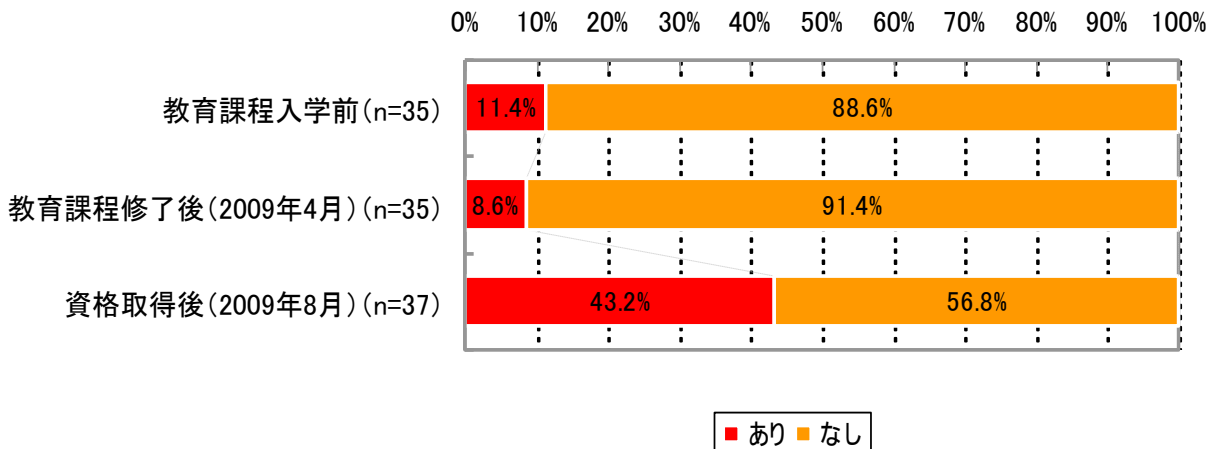
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は、「40時間」が62.7%であり、次いで「10時間以下」が15.4%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、どの時間帯も大きな変化は見られなかった(図53)。

勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が資格取得後で半数以下となり、「9時間以上」が資格取得後で2倍以上に増加していた(図54)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図55. 集中ケア・資格取得前後の活動範囲の変化>

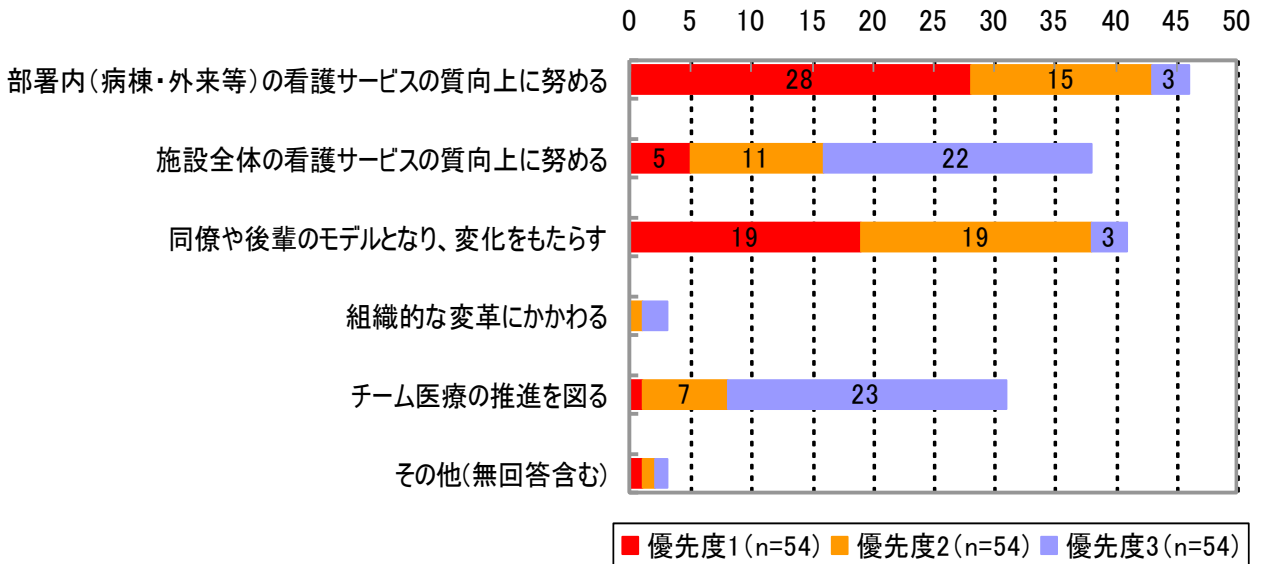


<図56. 集中ケア・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が73.6%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は4%に減少し、活動範囲が拡大していた(図55)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の11.4%から資格取得後には43.2%に増加していた(図56)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

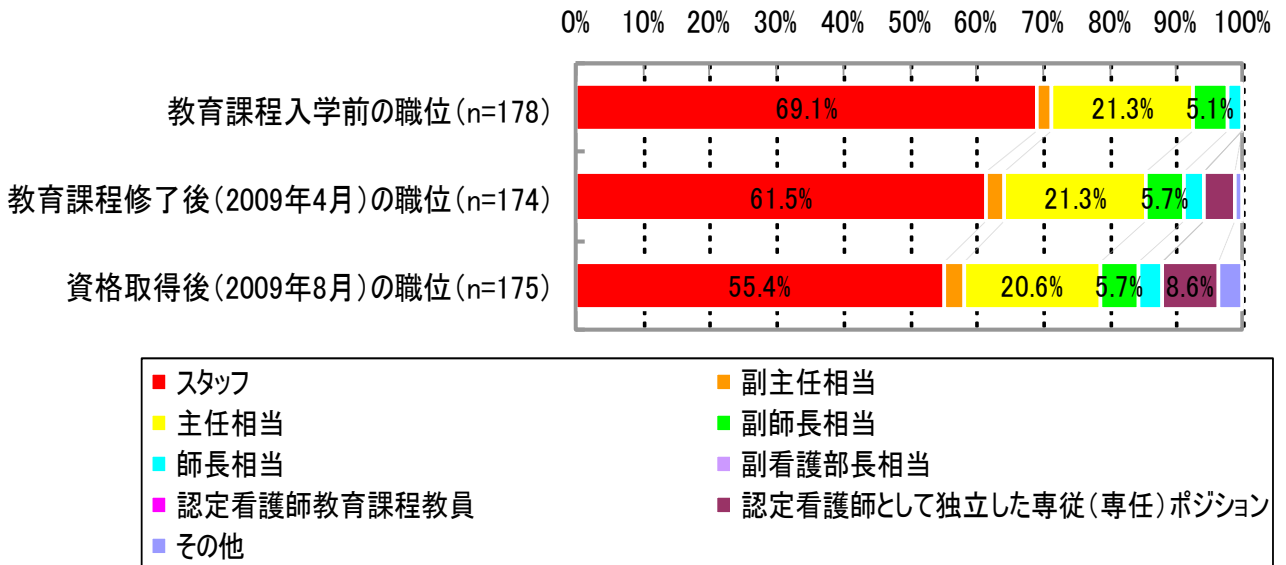


<図57. 集中ケア・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が回答総数162名中46名で最も多かった。優先度の一番高い項目でも同項目が28名で最も多かった(図57)。

4 緩和ケア

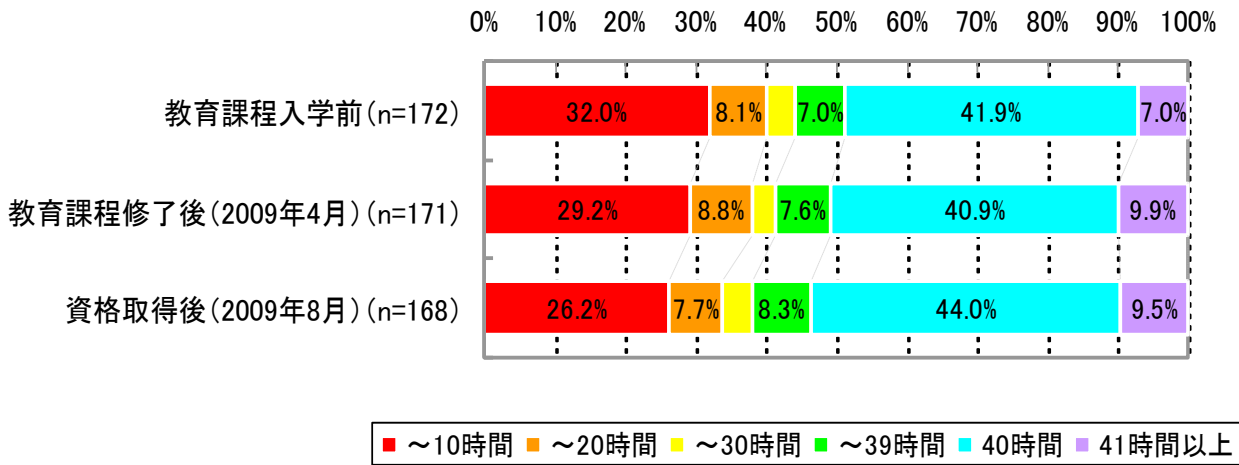
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



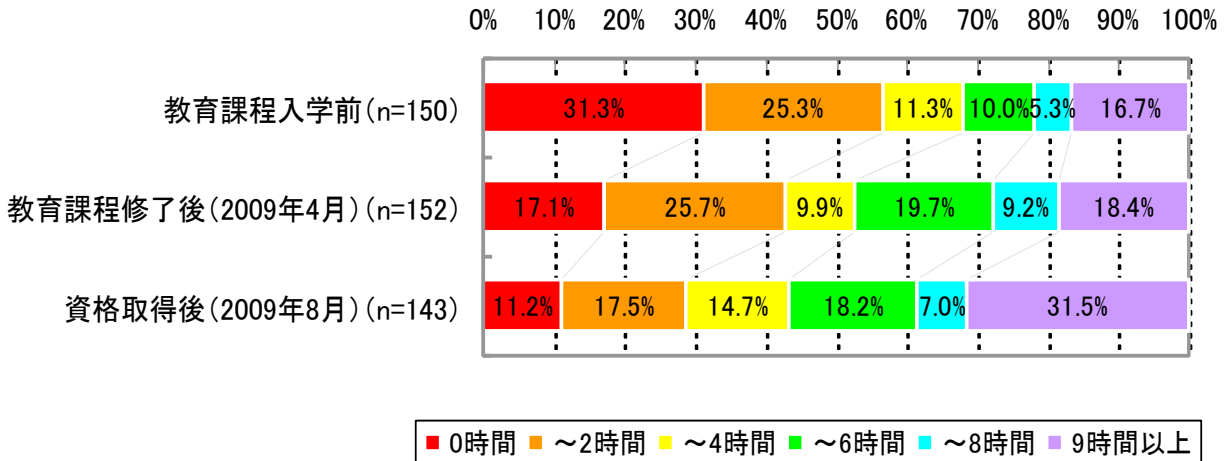
<図58. 緩和ケア・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、緩和ケアの認定者の職位は、「スタッフ」の割合が69.1%から55.4%に減少し、「認定看護師として独立した専従(専任)ポジション」の割合が0%から8.6%に増加していた(図58)。

2.) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図59. 緩和ケア・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

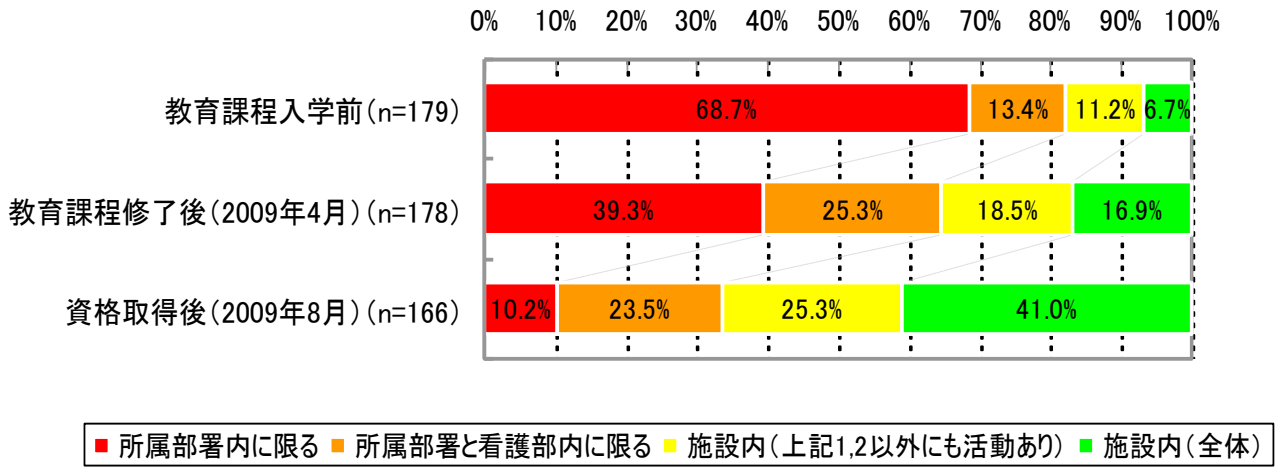


<図60. 緩和ケア・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

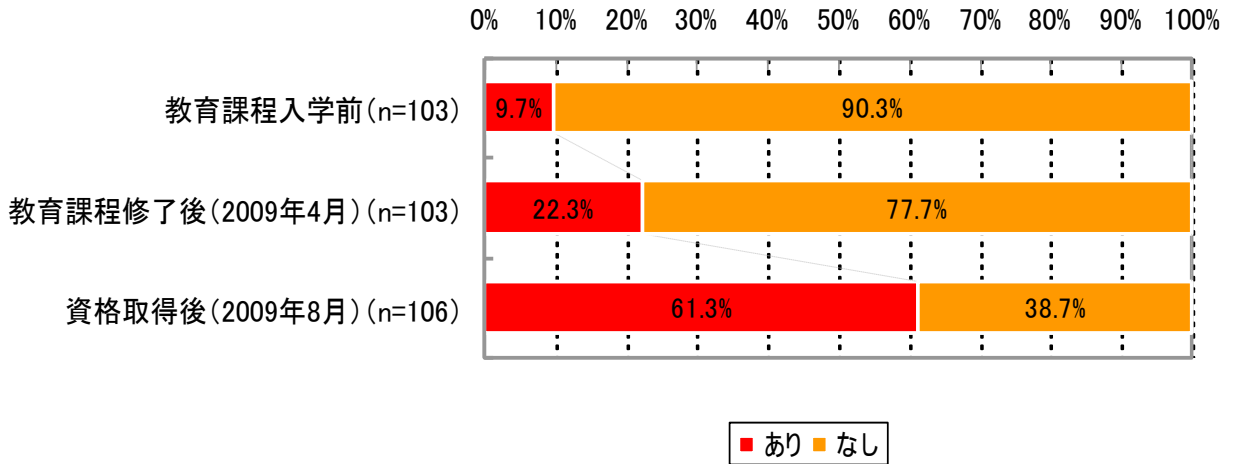
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が41.9%、「10時間以下」が32.0%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数では、「10時間以下」が減少し、「40時間」が増加していた(図59)。

勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が資格取得後でほぼ半減し、「9時間以上」は入学前に比べると資格取得後でほぼ倍増していた(図60)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図61. 緩和ケア・資格取得前後の活動範囲の変化>

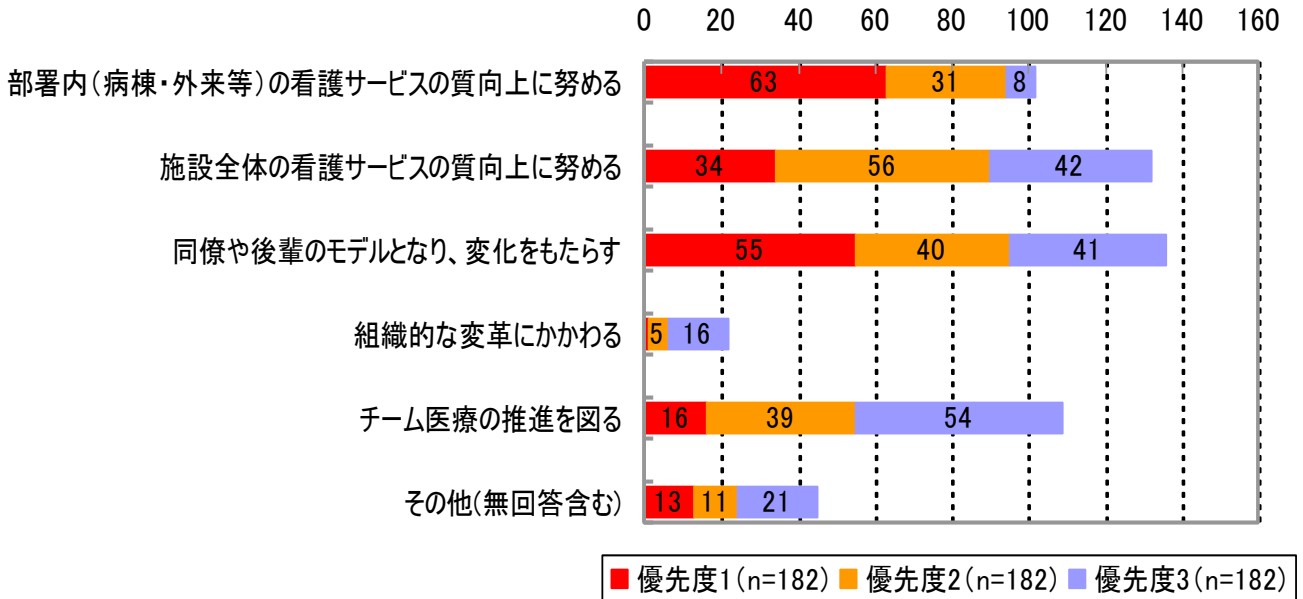


<図62. 緩和ケア・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が69%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」10.2%に減少し、活動範囲が拡大していた(図61)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の9.7%から資格取得後には61.3%に増加していた(図62)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

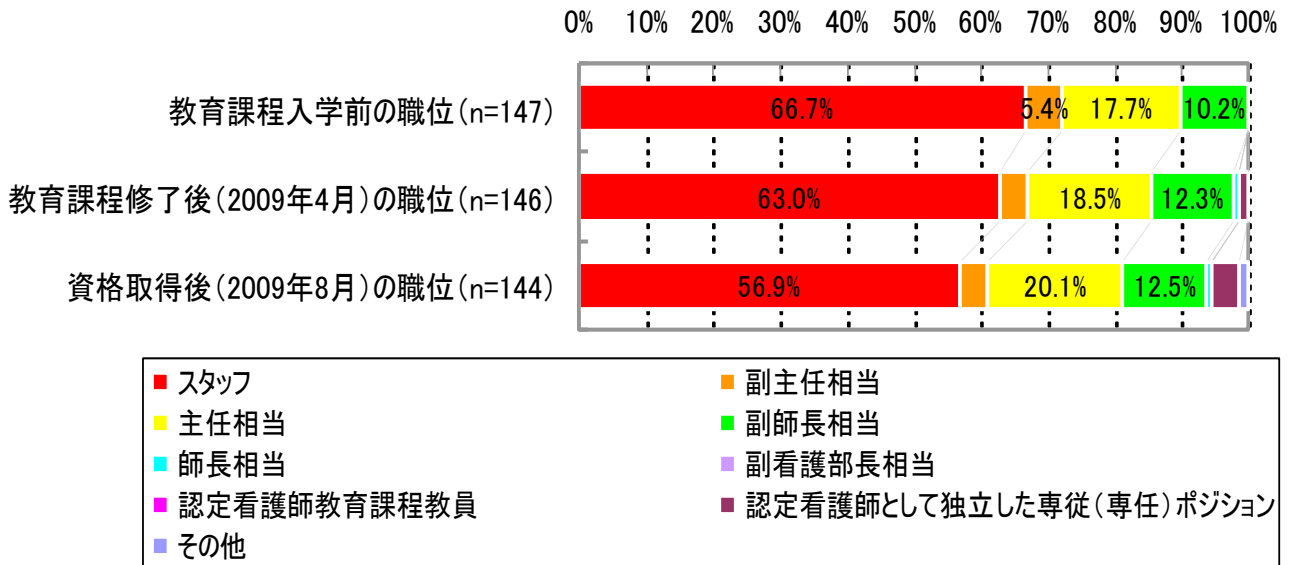


<図63. 緩和ケア・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数546名中136名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が63名で最も多かった(図63)。

5 がん化学療法看護

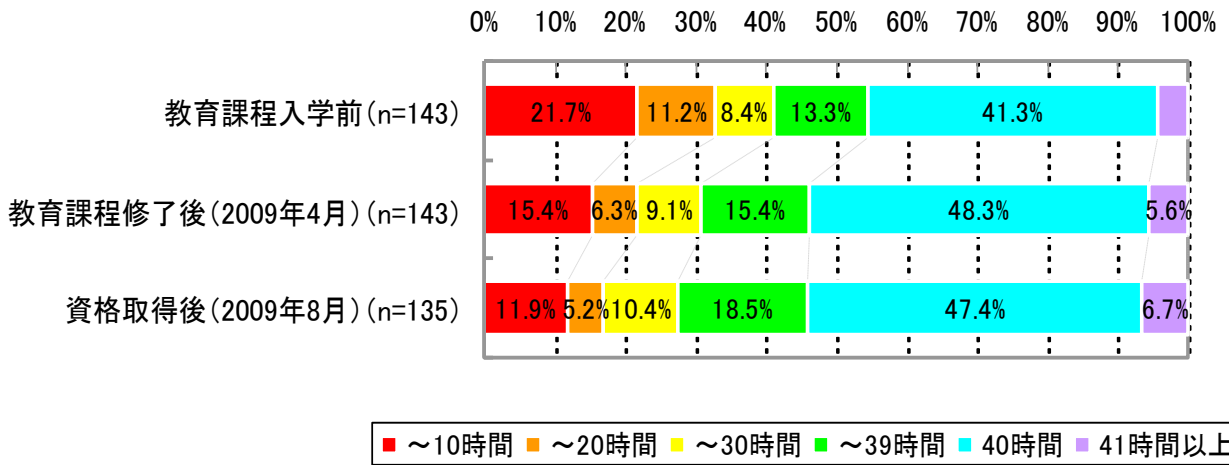
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



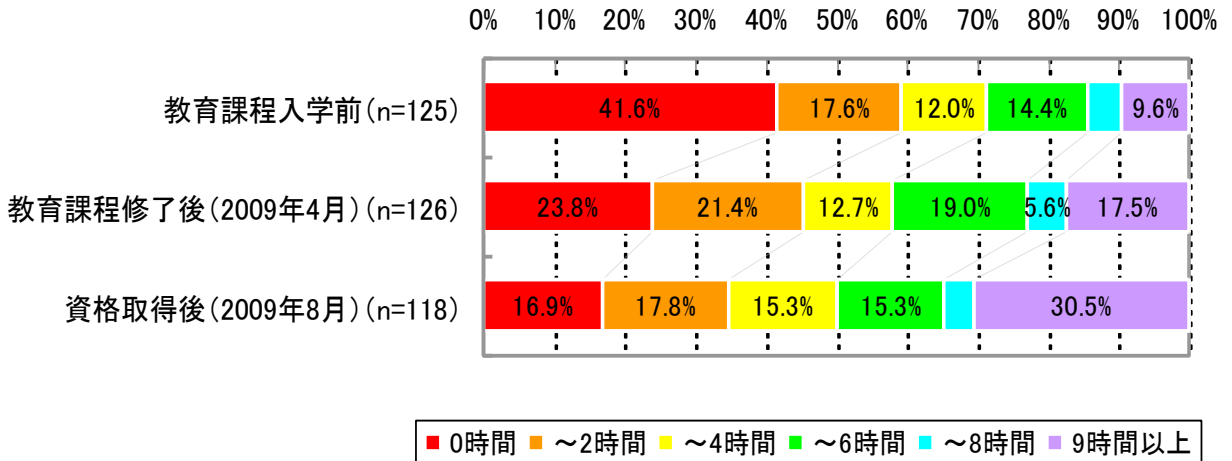
<図64. がん化学療法看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、がん化学療法看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が66.7%から58.9%に減少し、「主任相当」の割合が17.7%から20.1%に、「副師長相当」の割合が10.2%から12.5%に増加していた(図64)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



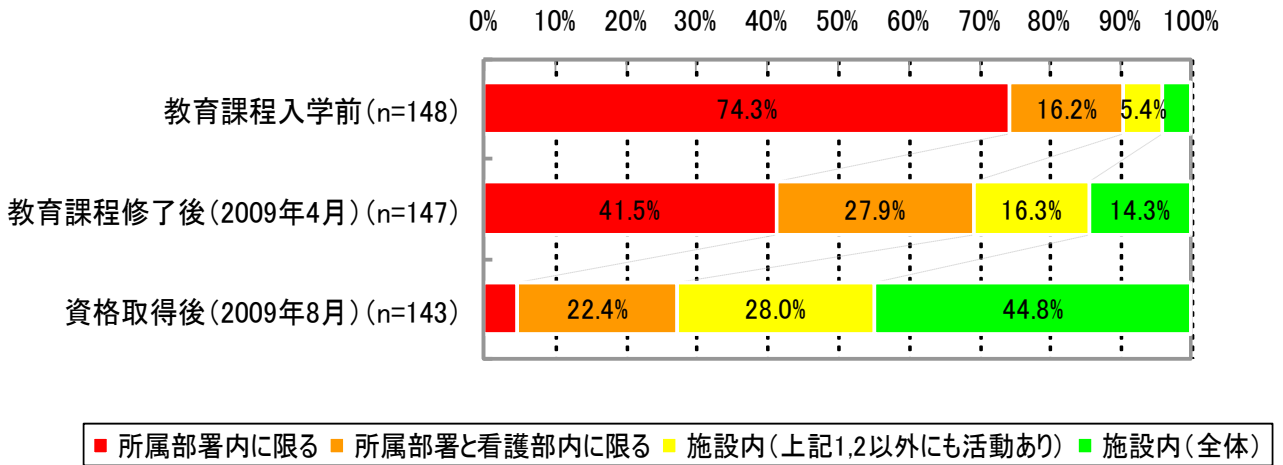
<図65. がん化学療法看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>



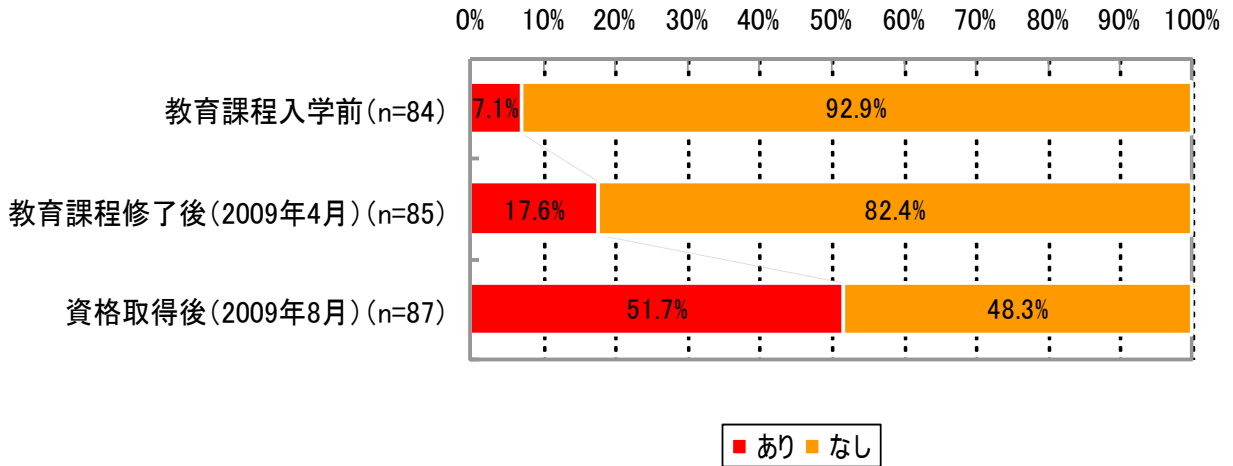
<図66. がん化学療法看護・資格取得前後の時間外勤務における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が41.3%であり、「10時間以下」が21.7%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、20時間までが減少し、20時間を超えるものが増加していた(図65)。
時間外勤務における実践時間数は、「0時間」が半数以下となり「9時間以上」が資格取得後に3倍以上に増加していた(図66)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図67. がん化学療法看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

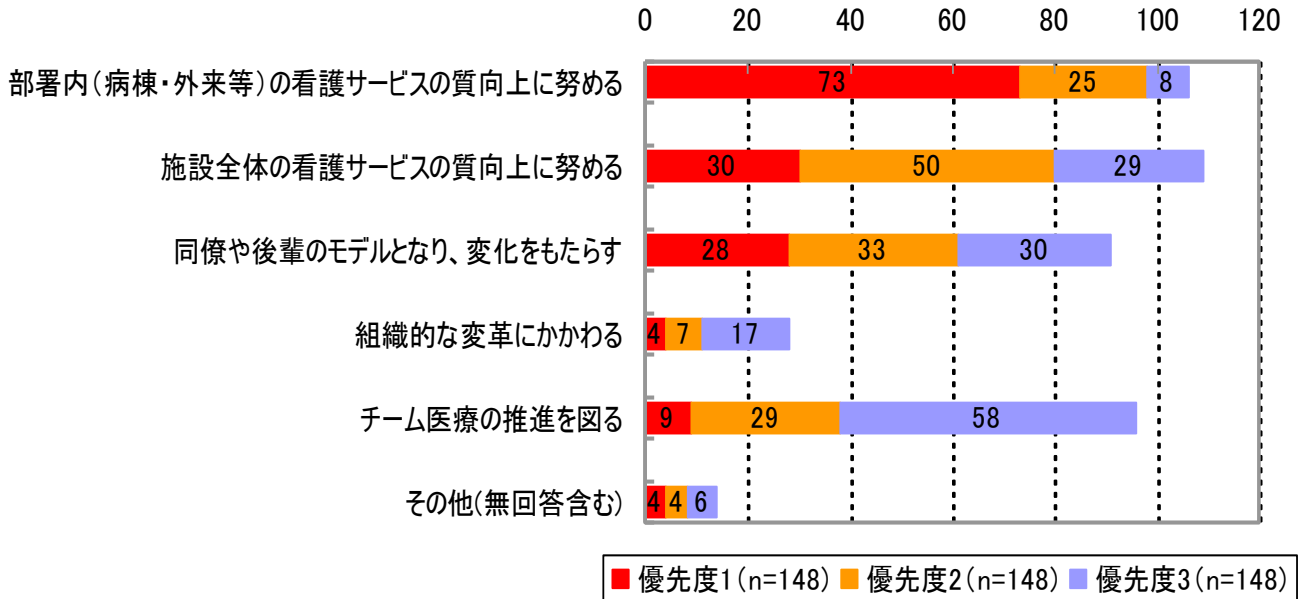


<図68. がん化学療法看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が74.3%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は5%に減少し、活動範囲が拡大していた(図67)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の7.1%から資格取得後には51.7%に増加していた(図68)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

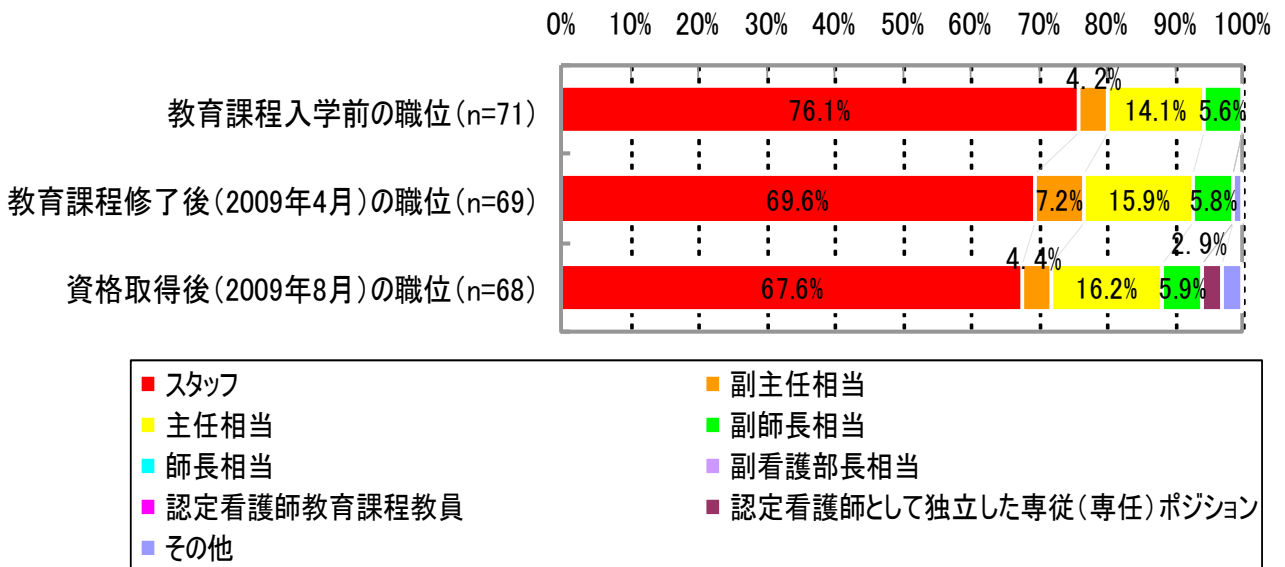


<図69. がん化学療法看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数444名中109名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が73名で最も多かった(図69)。

6 がん性疼痛看護

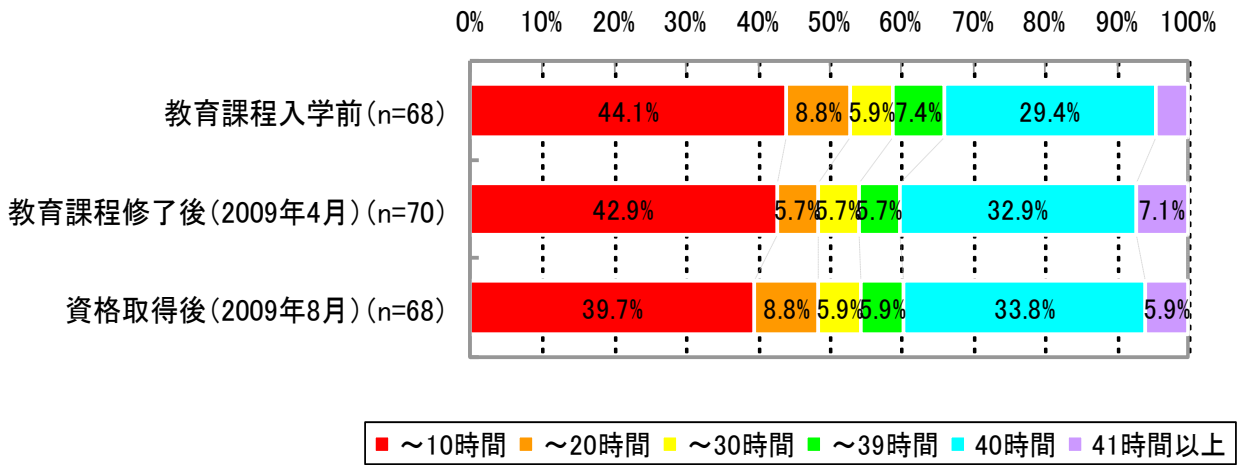
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



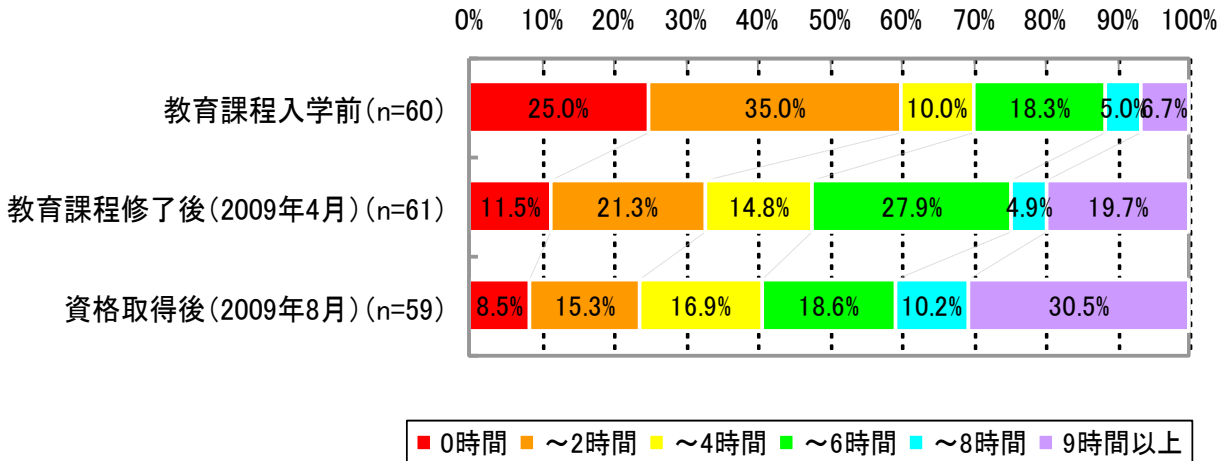
<図70. がん性疼痛看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、がん性疼痛看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が76.1%から67.6%に減少し、「主任相当」の割合は14.1%から16.2%に、「認定看護師として独立した専従(専任)ポジション」の割合は0%から2.9%に増加した(図70)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図71.がん性疼痛看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

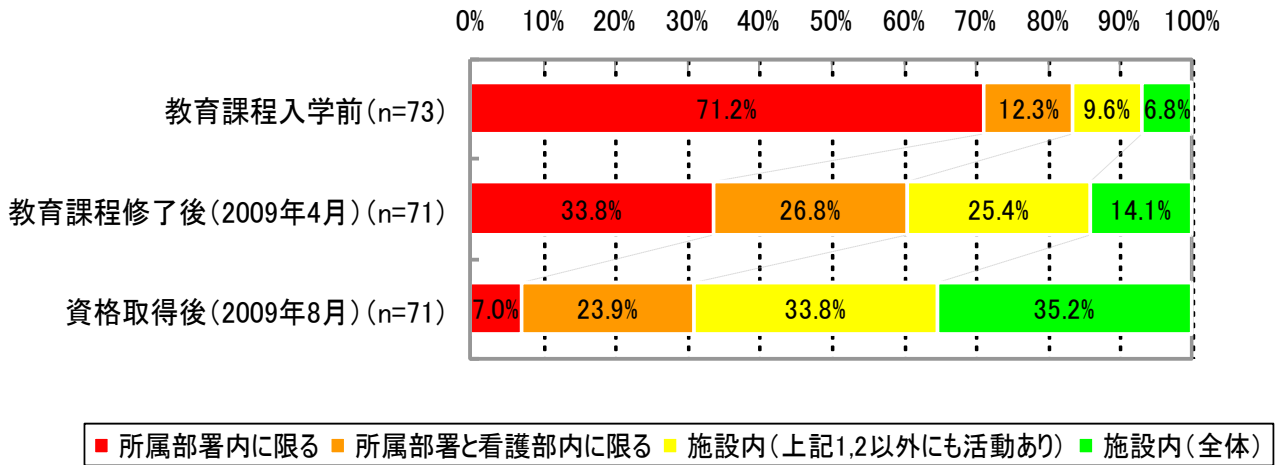


<図72.がん性疼痛看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

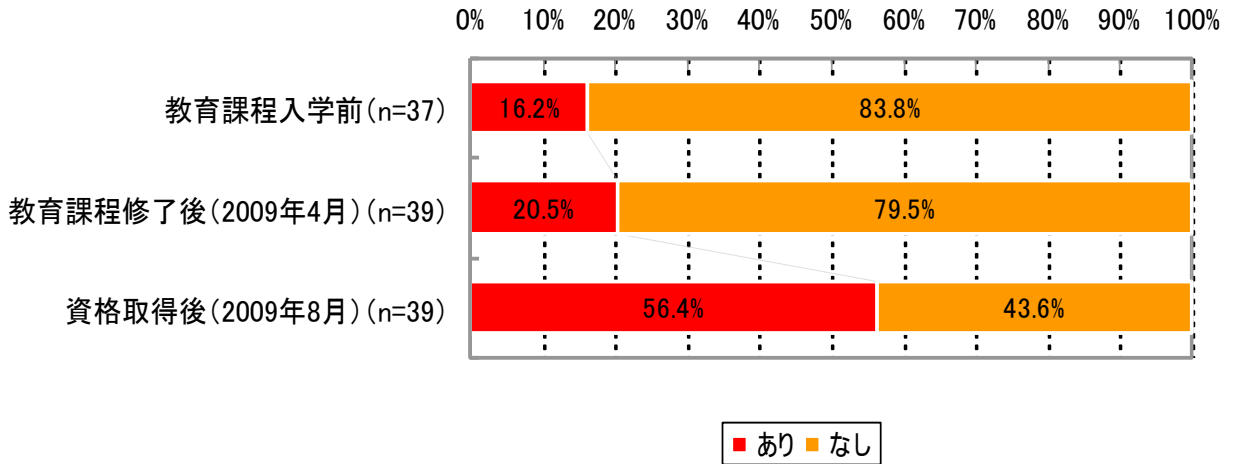
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「10時間以下」が44.1%であり、次いで「40時間」が29.4%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、どの時間帯も大きな変化は見られなかった(図71)。

勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が資格取得後に半数以下となり、「9時間以上」は資格取得後で4倍以上に増加していた(図72)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図73. がん性疼痛看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

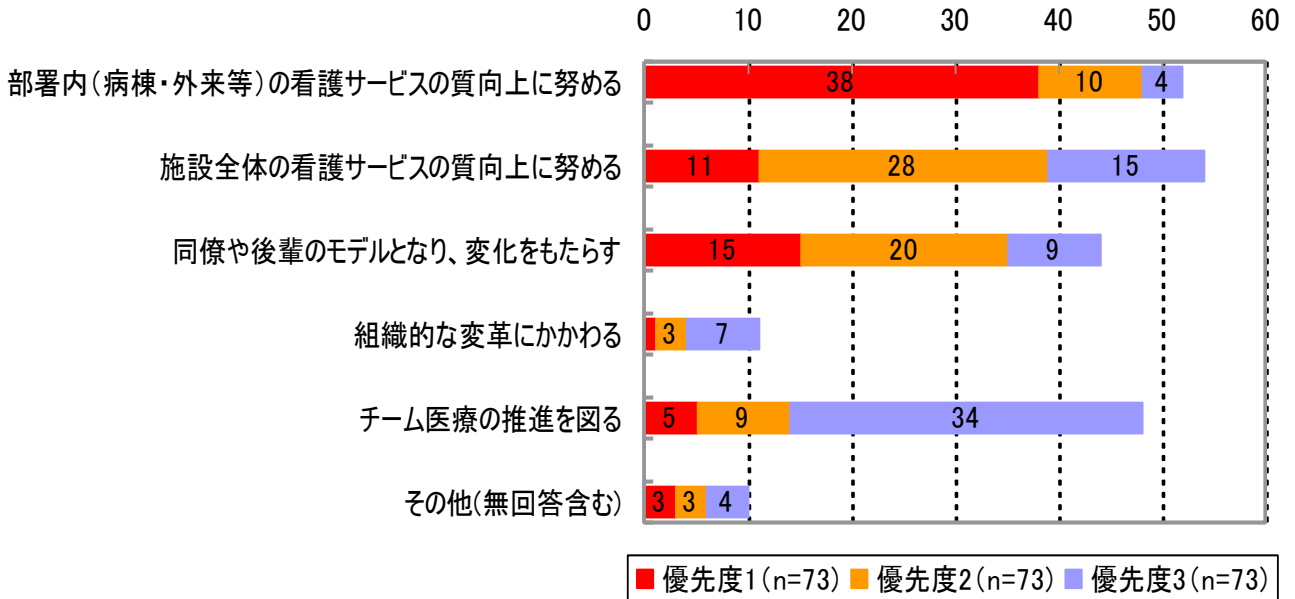


<図74. がん性疼痛看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が71%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は7%に減少し、活動範囲は拡大していた(図73)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の16.2%から資格取得後には56.4%に増加していた(図74)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

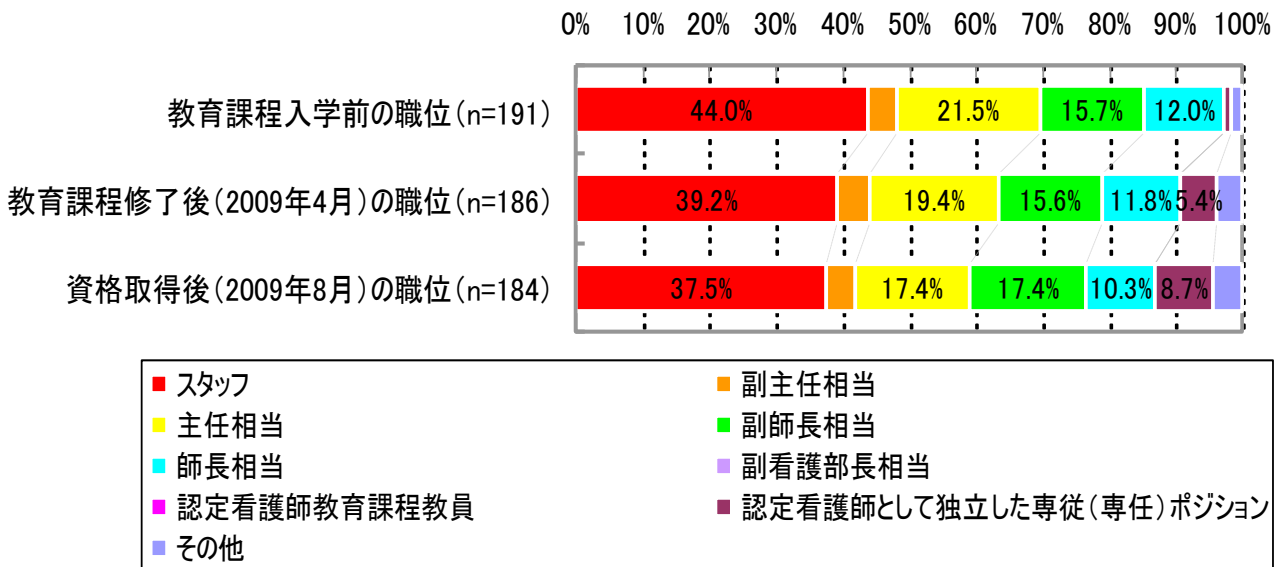


<図75.がん性疼痛看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数219中54名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が38名で最も多かった(図75)。

7 感染管理

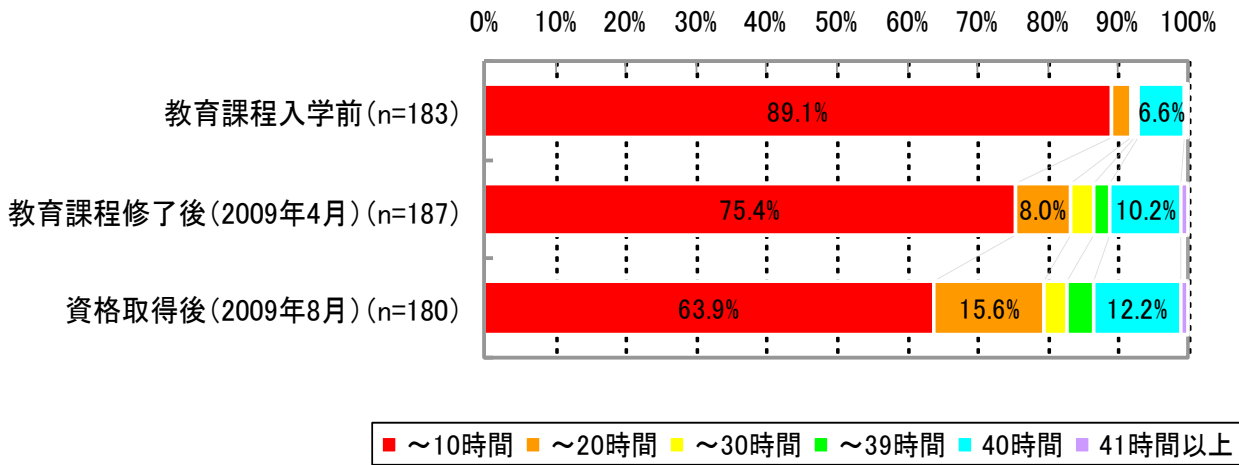
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について(感染管理)



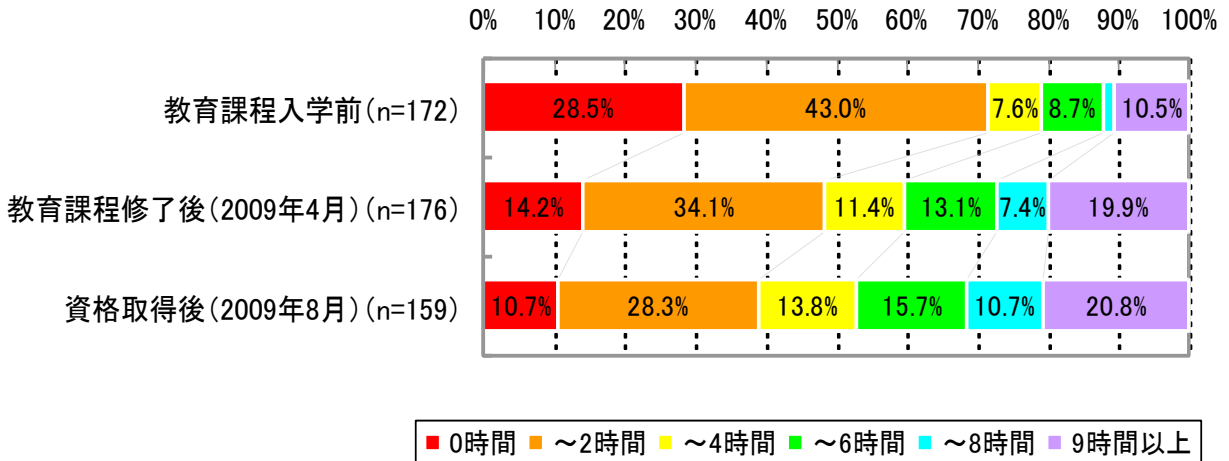
<図76. 感染管理・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、感染管理分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が44.0%から37.5%に減少し、「認定看護師として独立した専従(専任)ポジション」の割合が1%から8.7%に増加していた(図76)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図77. 感染管理・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

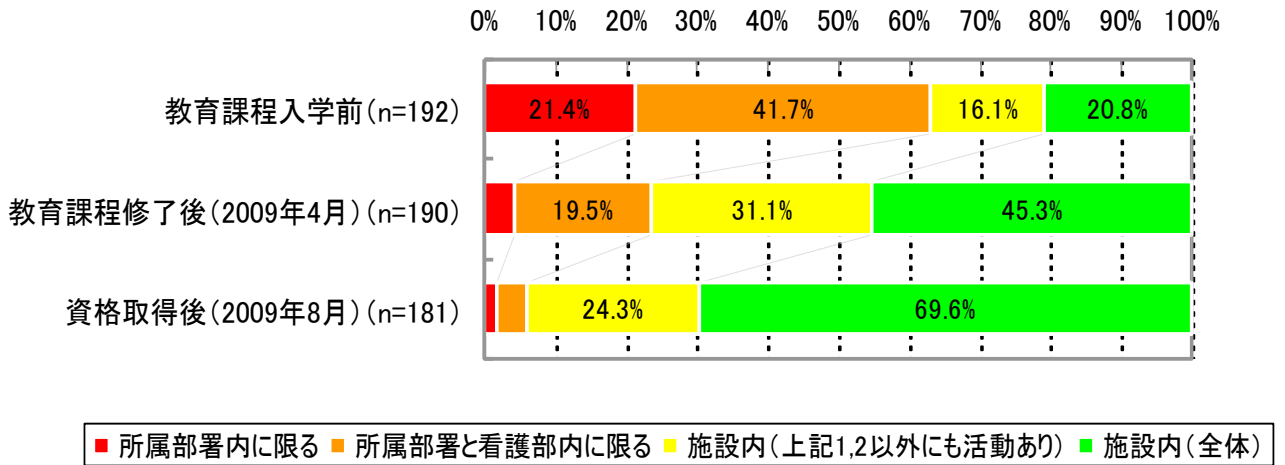


<図78. 感染管理・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

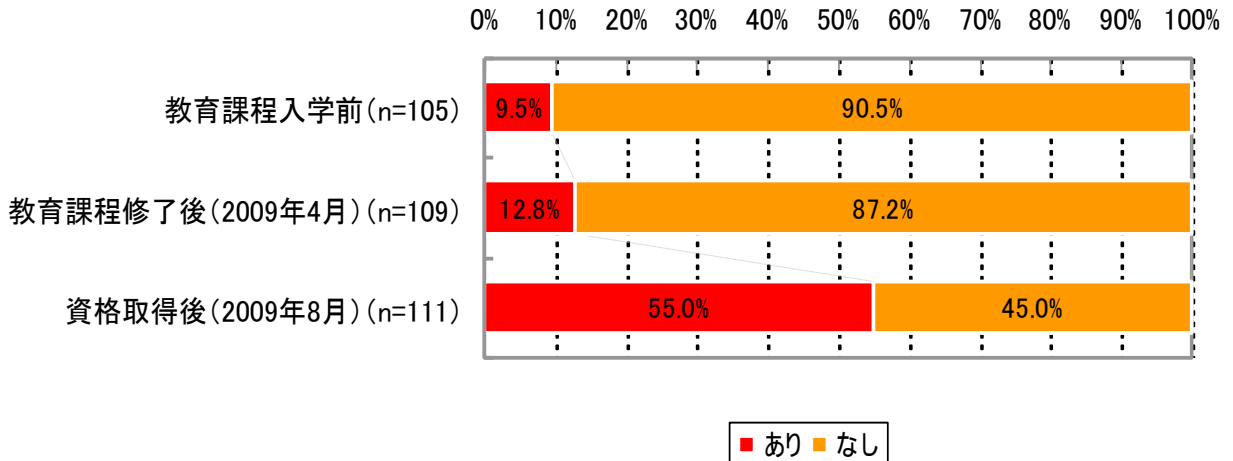
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は、「10時間以下」が89.1%であり、次いで「40時間」が6.6%であった。教育課程入学前～資格取得後までの実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、20時間を越えるものが全体的に増加していた(図77)。

勤務時間外における実践時間数は、「0～2時間まで」が減少し、2時間を越えるものが全体的に増加していた(図78)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



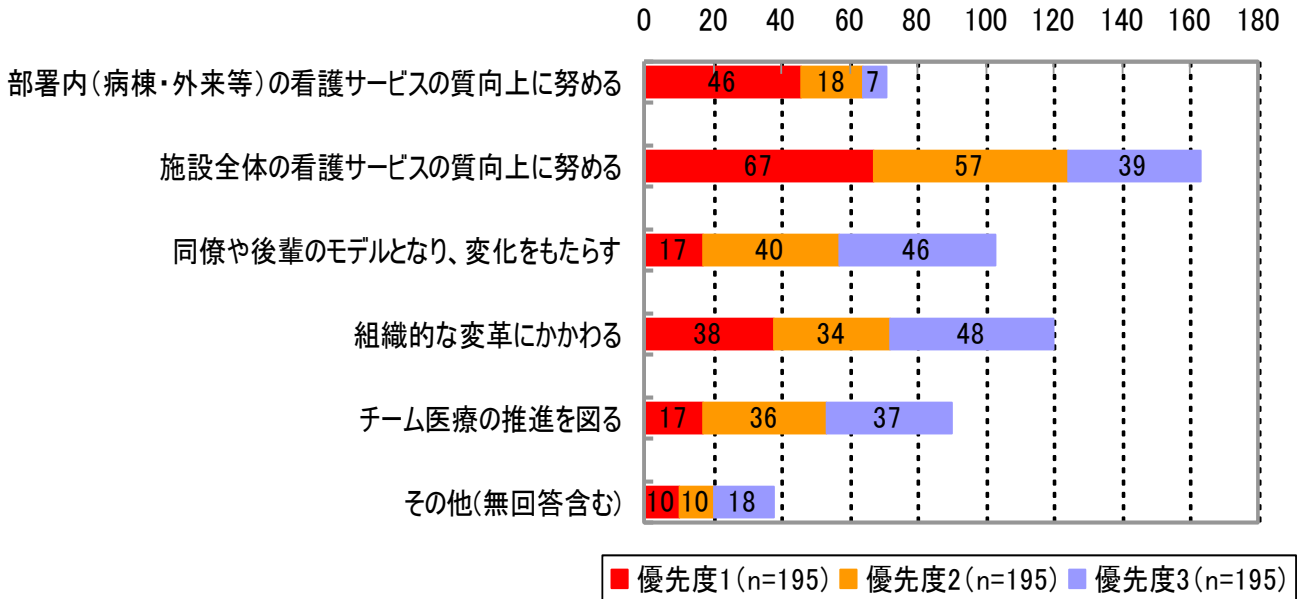
<図79. 感染管理・資格取得前後の活動範囲の変化>



<図80. 感染管理・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署と看護部内に限る」が42%で最も多く、次いで「所属部署内に限る」が21%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」や「所属部署と看護部内に限る」が減少し(資格取得後:両方あわせて6%)、「施設内(全体)」が資格取得後3倍以上増加していた(図79)。
施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の9.5%から資格取得後には55.0%に増加していた(図80)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

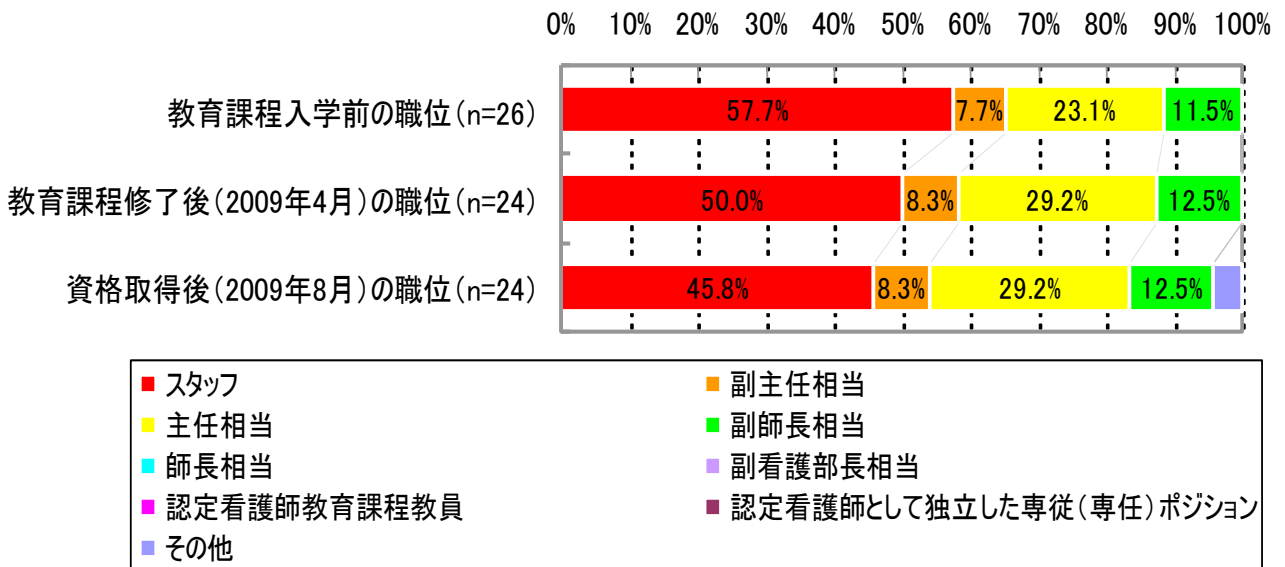


<図81. 感染管理・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数585名中163名で最も多かった。優先度の一番高い項目は同項目で、67名で最も多かった(図81)。

8 糖尿病看護

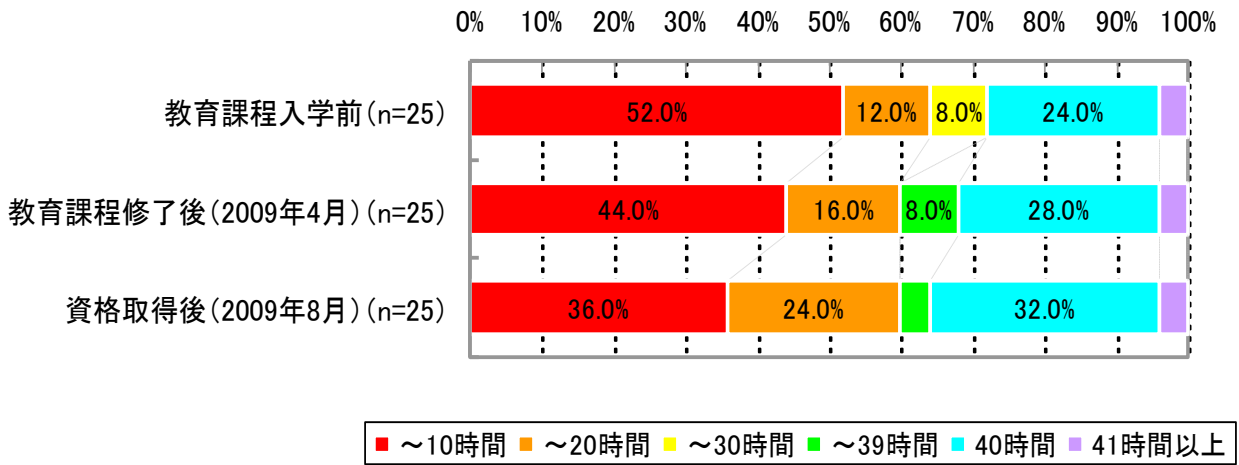
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



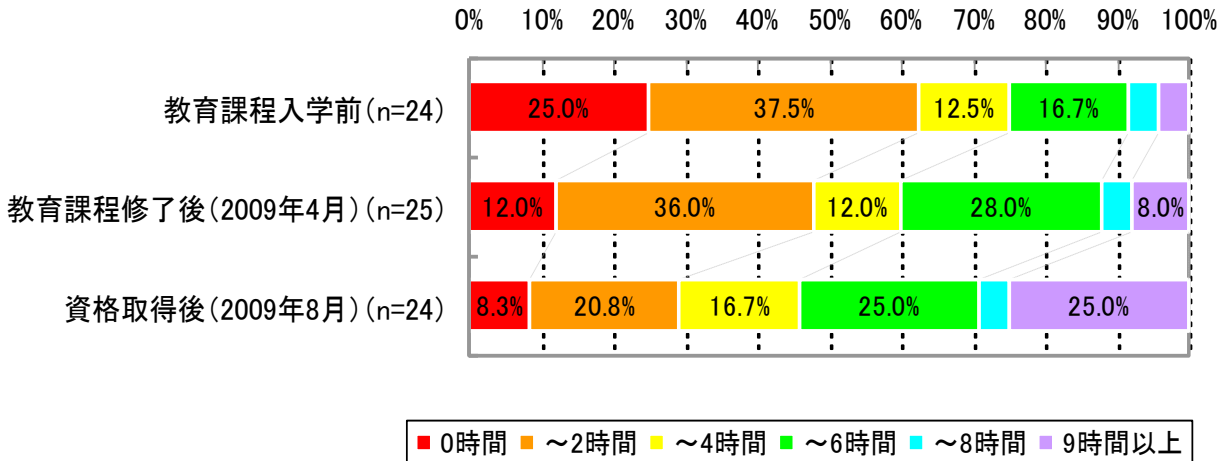
<図82. 糖尿病看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、糖尿病看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が57.7%から45.8%に減少し、「主任相当」の割合が23.1%から29.2%に増加していた(図82)

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



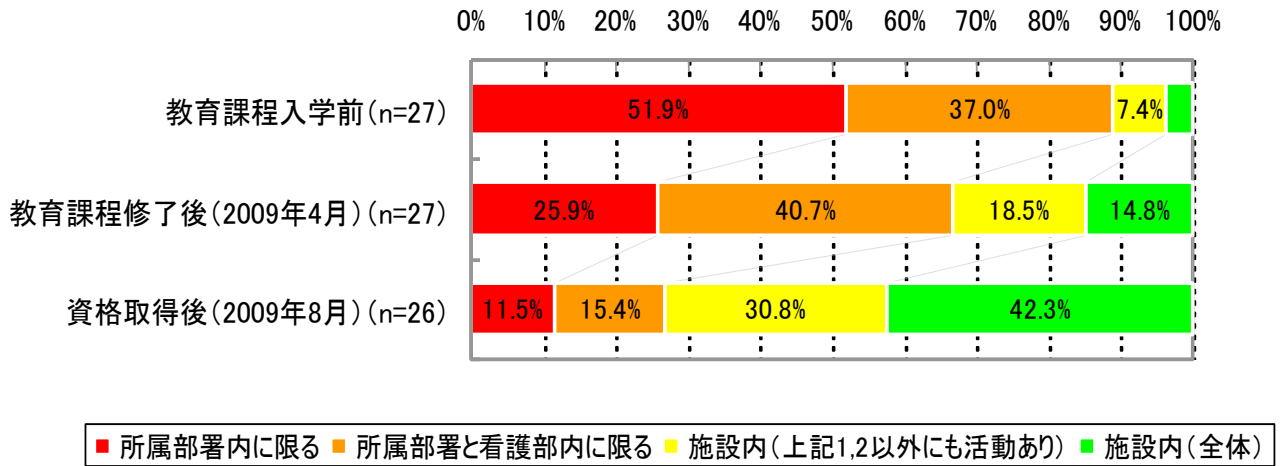
<図83. 糖尿病看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>



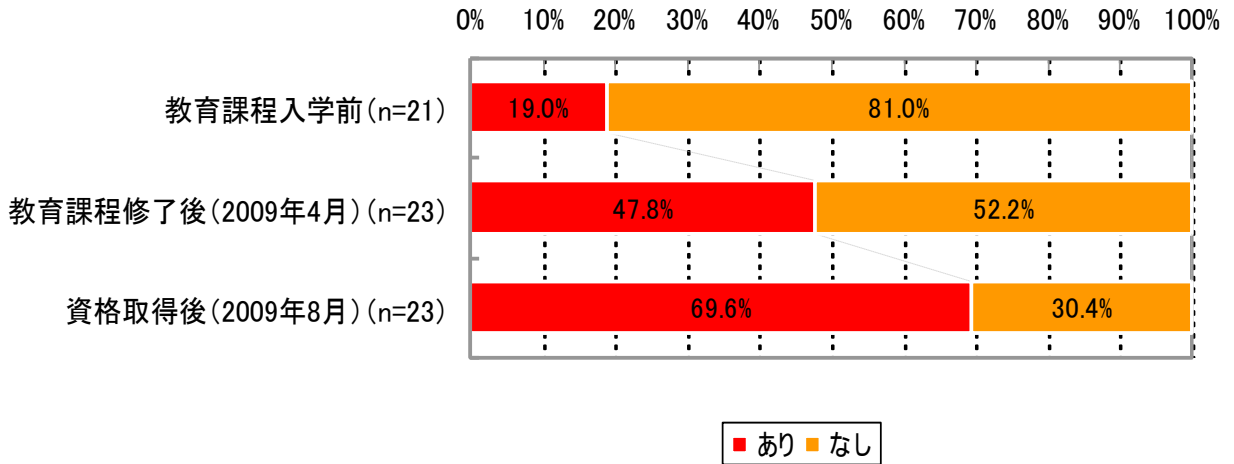
<図84. 糖尿病看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「10時間以下」が52.0%であり、次いで「40時間」が24.0%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、20時間を越えるものが全体的に増加していた(図83)。
勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が減少し、2時間を越えるものが増加、特に「9時間以上」は入学前と比べると増加していた(図84)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図85. 糖尿病看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

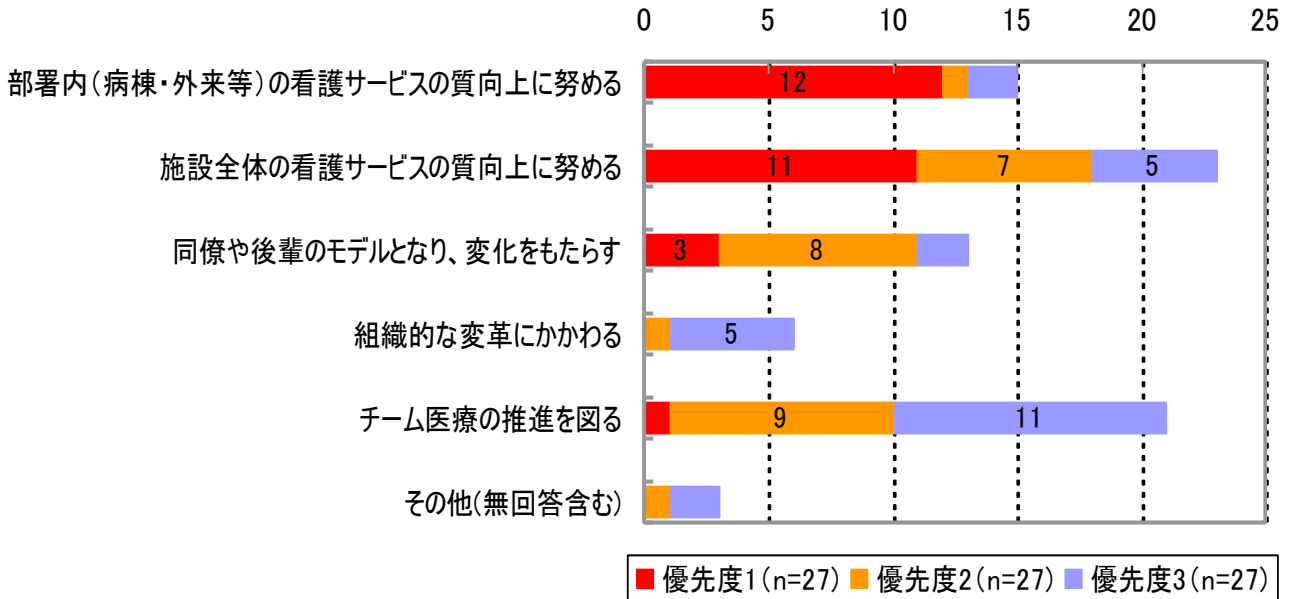


<図86. 糖尿病看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が51.9%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」や「所属部署と看護部内に限る」は減少し、活動範囲が拡大していた(図85)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の19.0%から資格取得後には69.6%に増加していた(図86)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

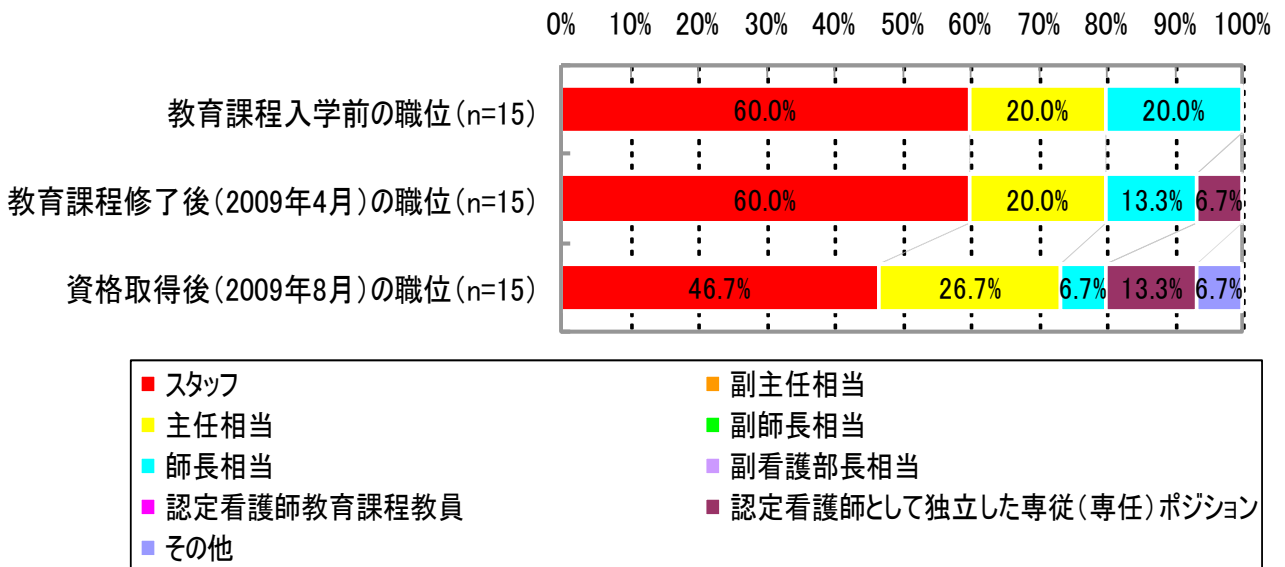


<図87. 糖尿病看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数81名中23名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が12名で最も多かった(図87)。

9 不妊症看護

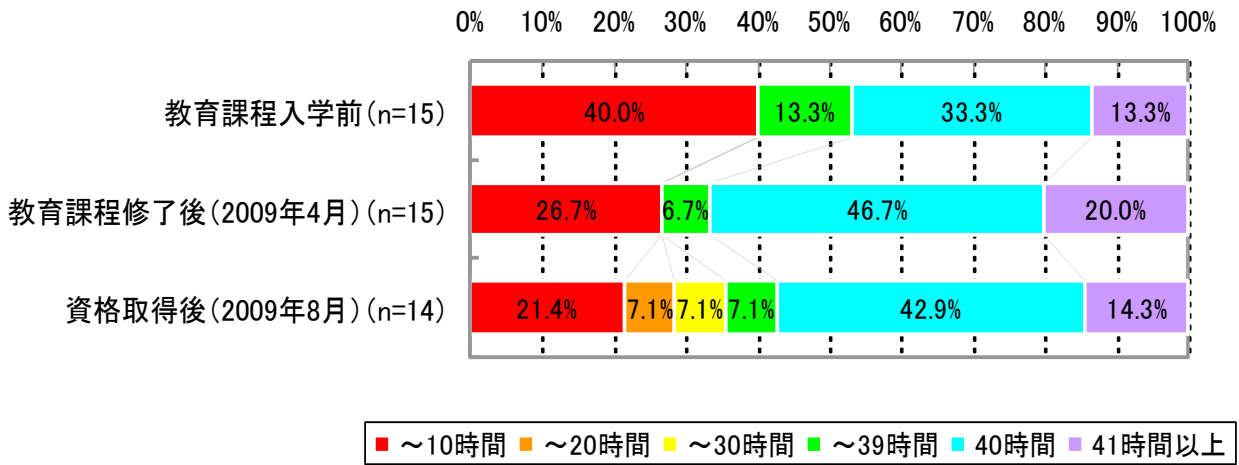
1.) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



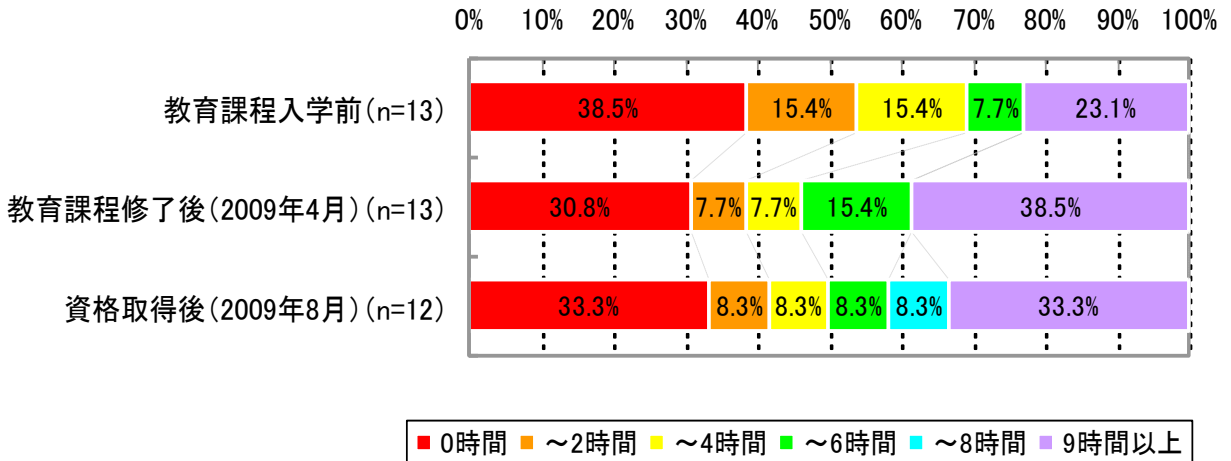
<図88. 不妊症看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、不妊症看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が60.0%から46.7%に減少し、「認定看護師として独立した専従(専任)ポジション」の割合が0%から13.3%に増加していた(図88)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図89. 不妊症看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

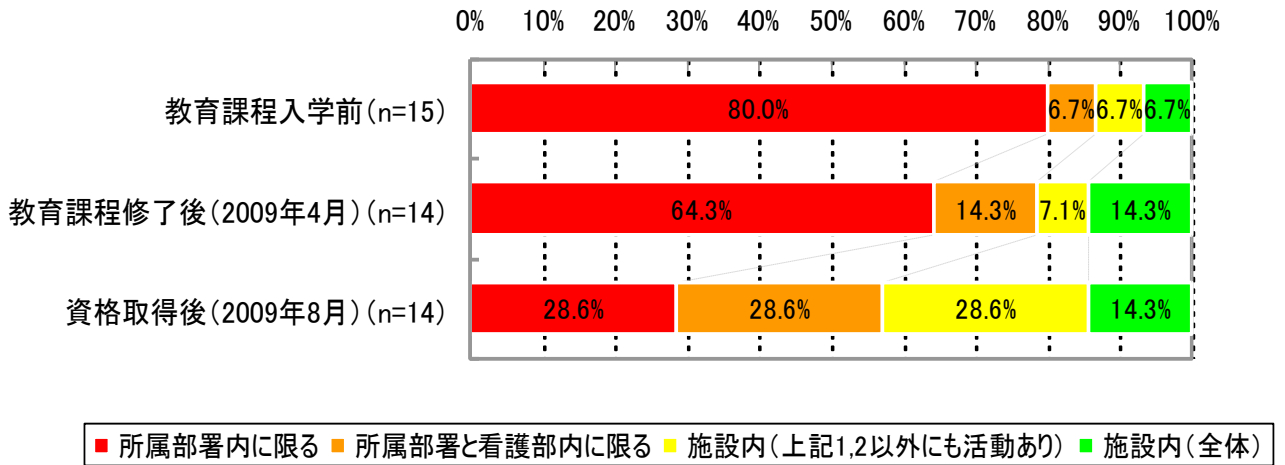


<図90. 不妊症看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

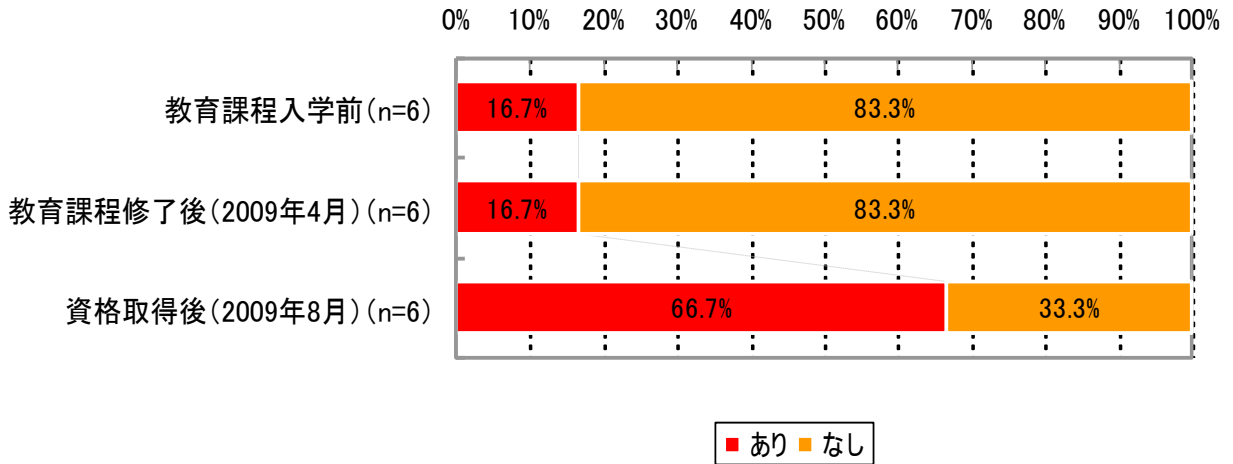
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「10時間以下」が40.0%であり、次いで「40時間」が33%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、「10～30時間まで」が全体的に増加していた(図89)。

勤務時間外における実践時間数は、若干の変化はあるものの、全体的に教育課程入学前との差異は見られなかった(図90)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



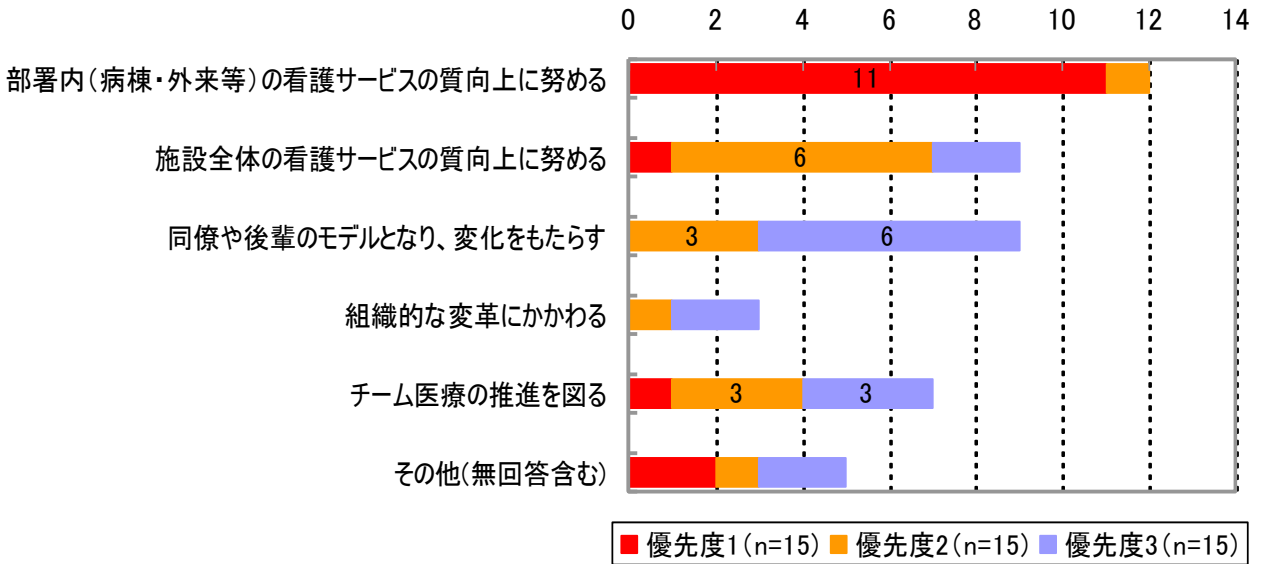
<図91. 不妊症看護・資格取得前後の活動範囲の変化>



<図92. 不妊症看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が80.0%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は28.6%に減少し、活動範囲が拡大していた(図91)。
施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の16.7%から資格取得後では66.7%に増加していた(図92)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

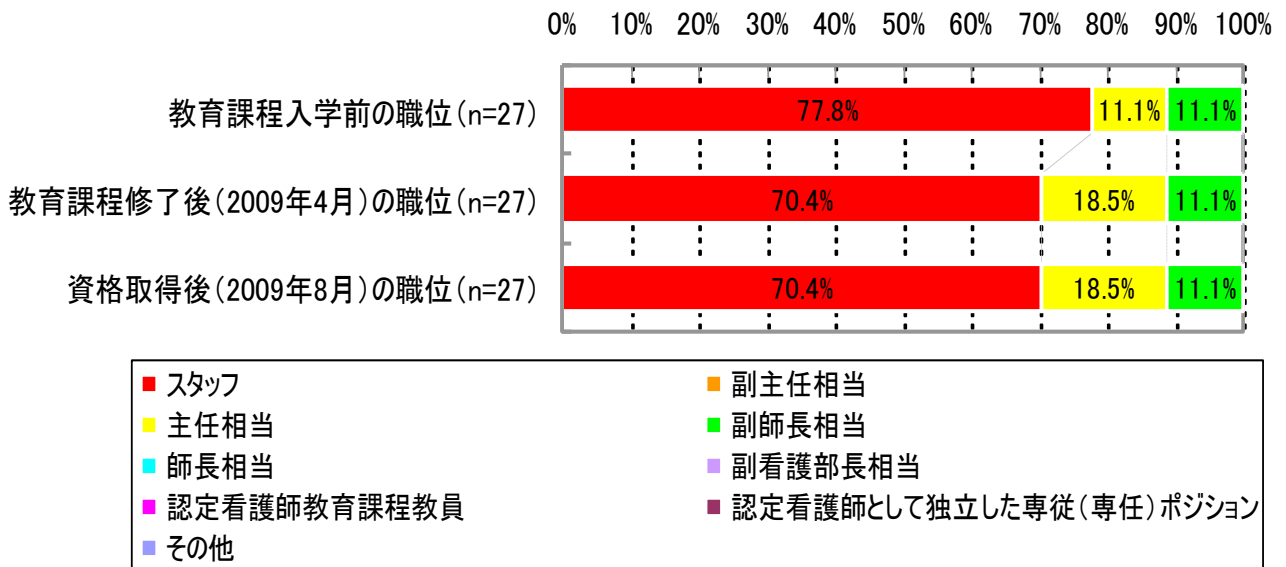


<図93. 不妊症看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が回答総数45名中12名で最も多かった。優先度の一番高い項目は、同項目が11名で、最も多かった(図93)。

10 新生児集中ケア

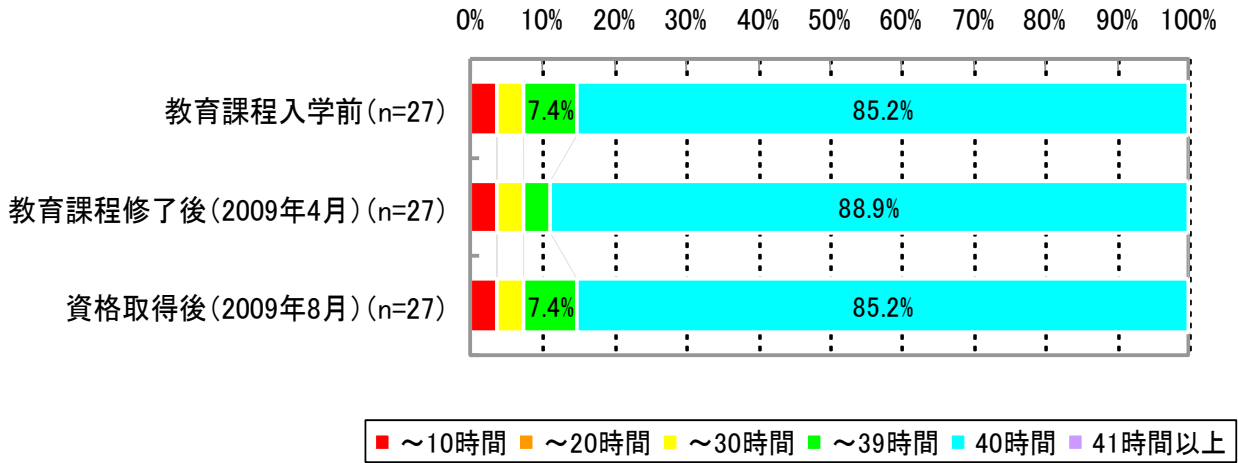
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



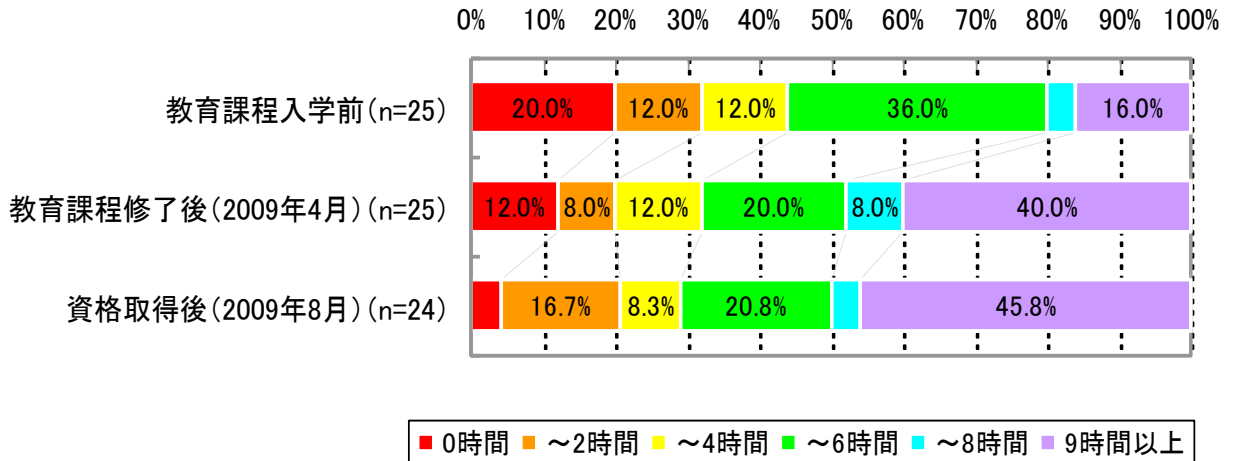
<図94. 新生児集中ケア・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、新生児集中ケア分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が77.8%から70.4%に減少し、「主任相当」の割合が11.1%から18.5%に増加していた(図94)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



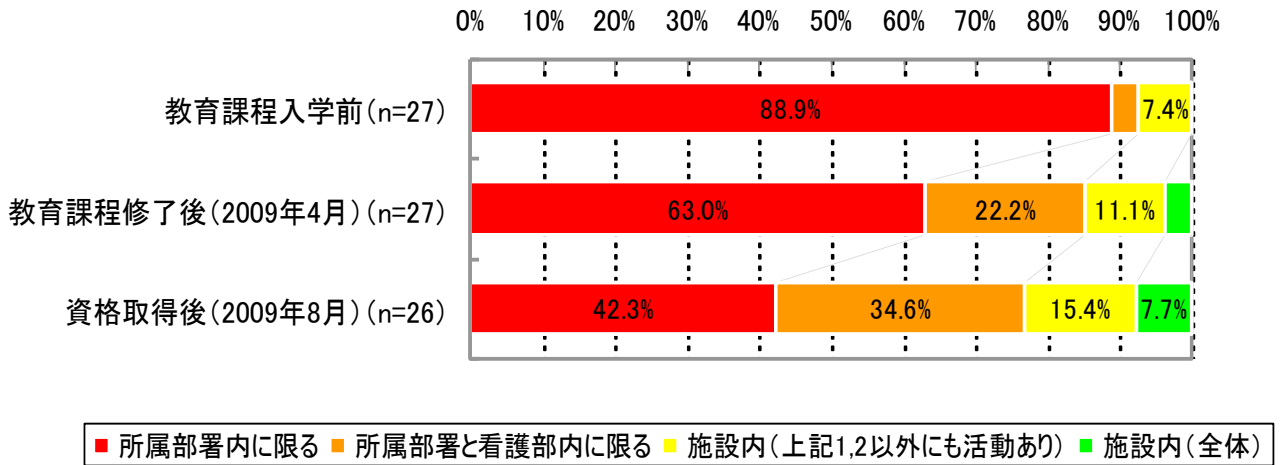
<図95. 新生児集中ケア・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>



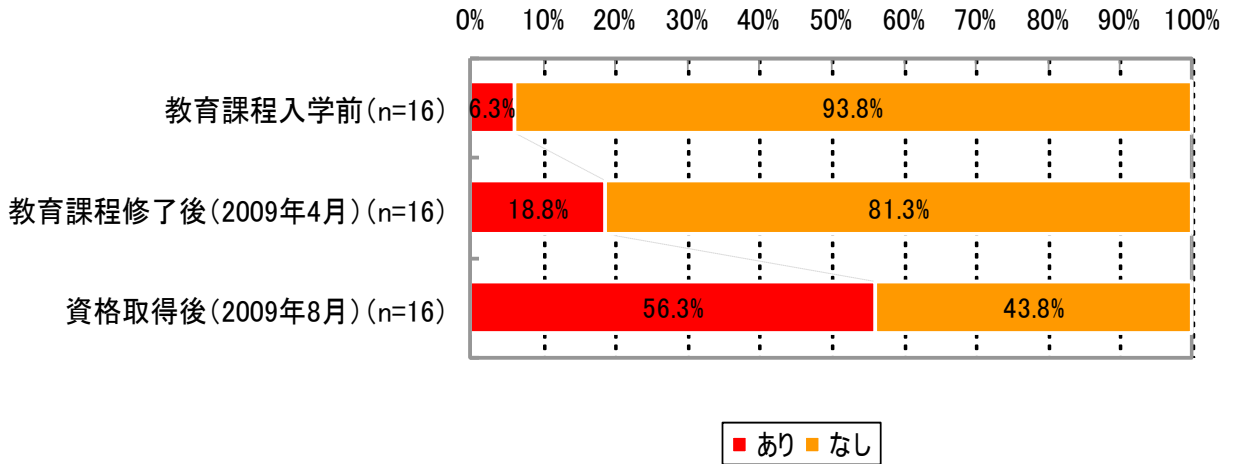
<図96. 新生児集中ケア・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が85.2%であり、次いで「30～39時間まで」が7.4%であった。教育課程入学前から資格取得後の実践時間数を見ると、どの時間帯も大きな変化は見られなかった(図95)。
勤務時間外における実践時間数は、「0時間」が減少し、「9時間以上」が増加していた(図96)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



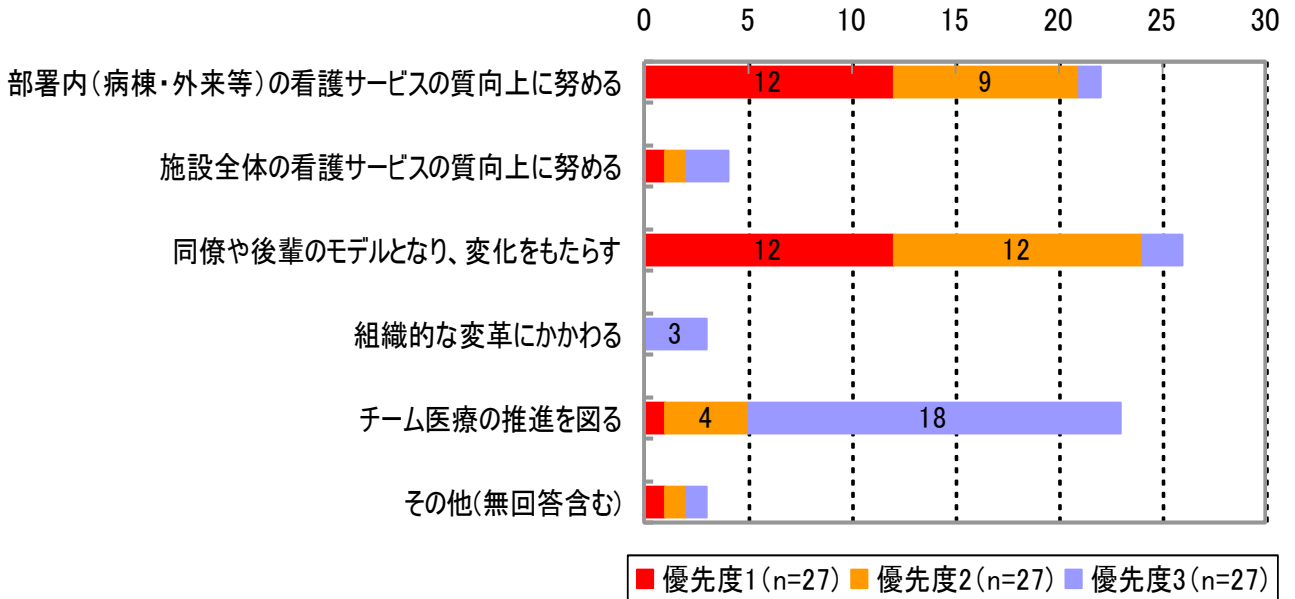
<図97. 新生児集中ケア・資格取得前後の活動範囲の変化>



<図98. 新生児集中ケア・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が88.9%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は42.3%に減少し、活動範囲が拡大していた(図97)。
施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の6.3%から資格取得後には56.3%に増加していた(図98)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

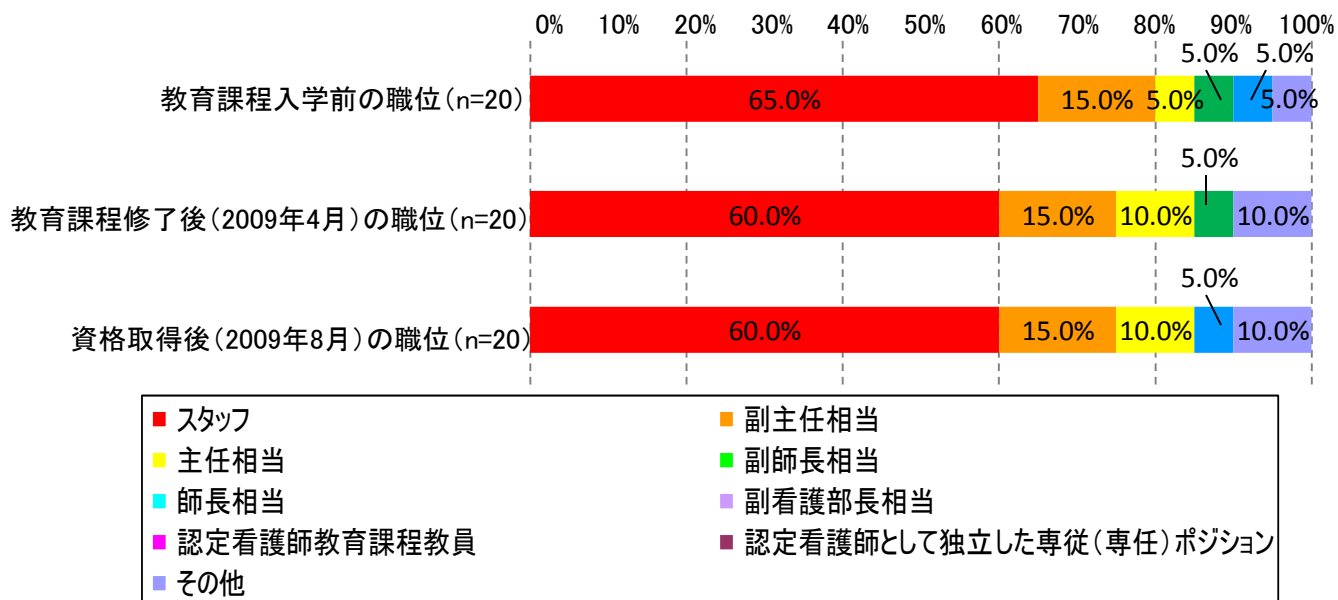


<図99. 新生児集中ケア・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数81名中26名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」と「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が、それぞれ12名で最も多かった(図99)。

11 透析看護

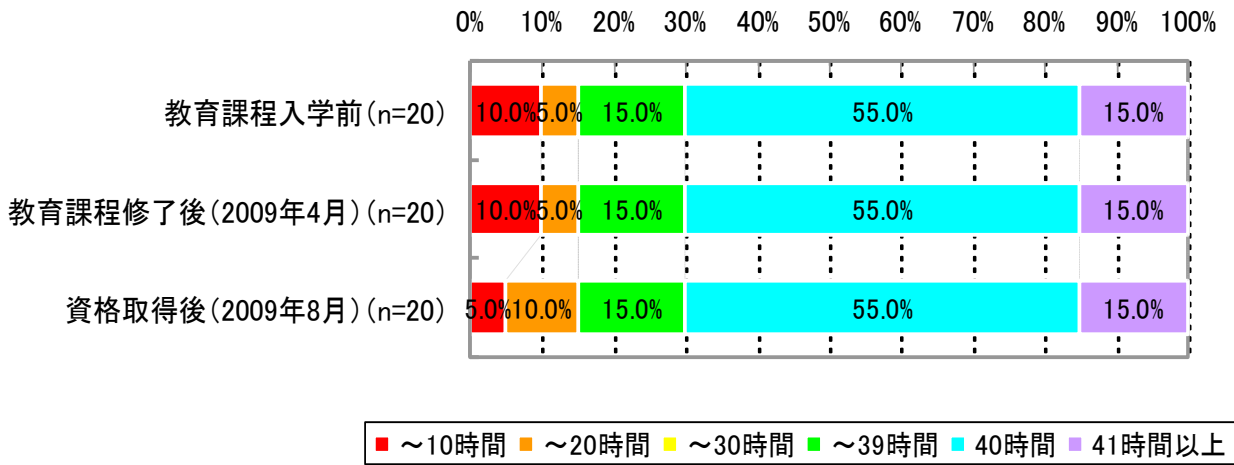
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



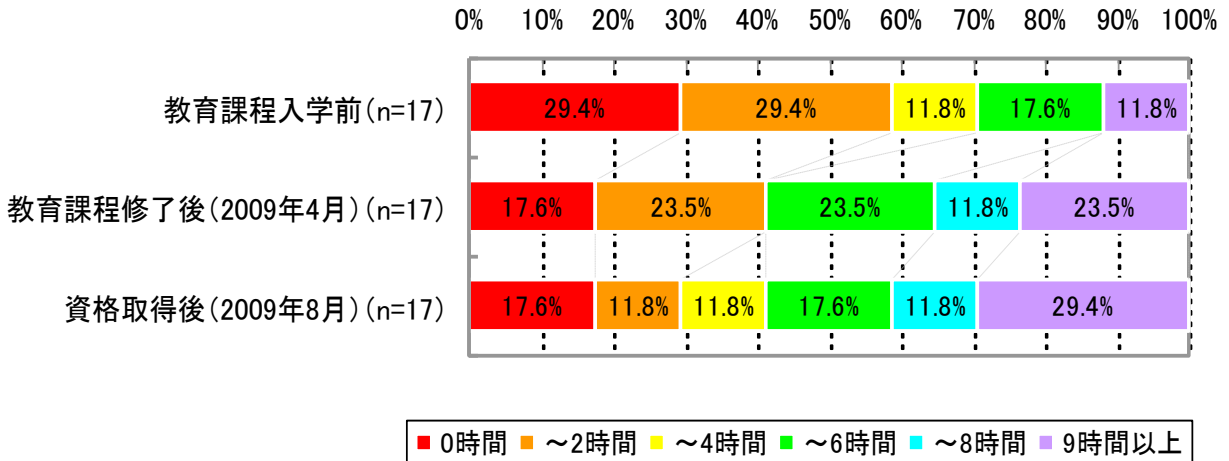
<図100. 透析看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、透析看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が65.0%から60.0%に減少していた。教育課程修了後から資格取得後との比較においては職位に大きな変化は見られなかった(図100)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図101. 透析看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

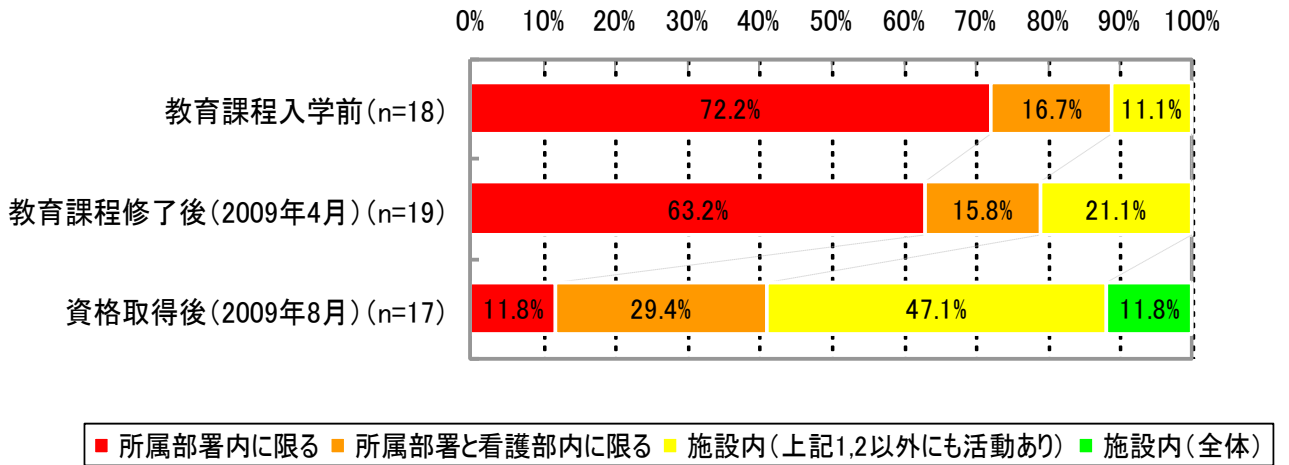


<図102. 透析看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

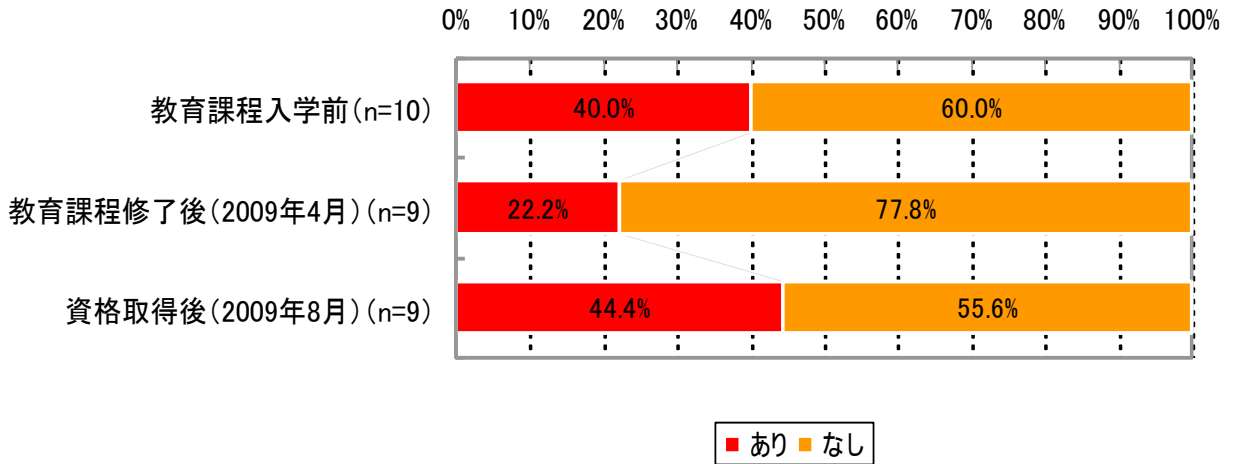
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が55%であり、次いで「30時間を越え39時間まで」が15.0%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、「10時間～20時間まで」が増加していた(図101)。

勤務時間外における実践時間数は、「2時間まで」が減少し、「9時間以上」が増加していた(図102)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



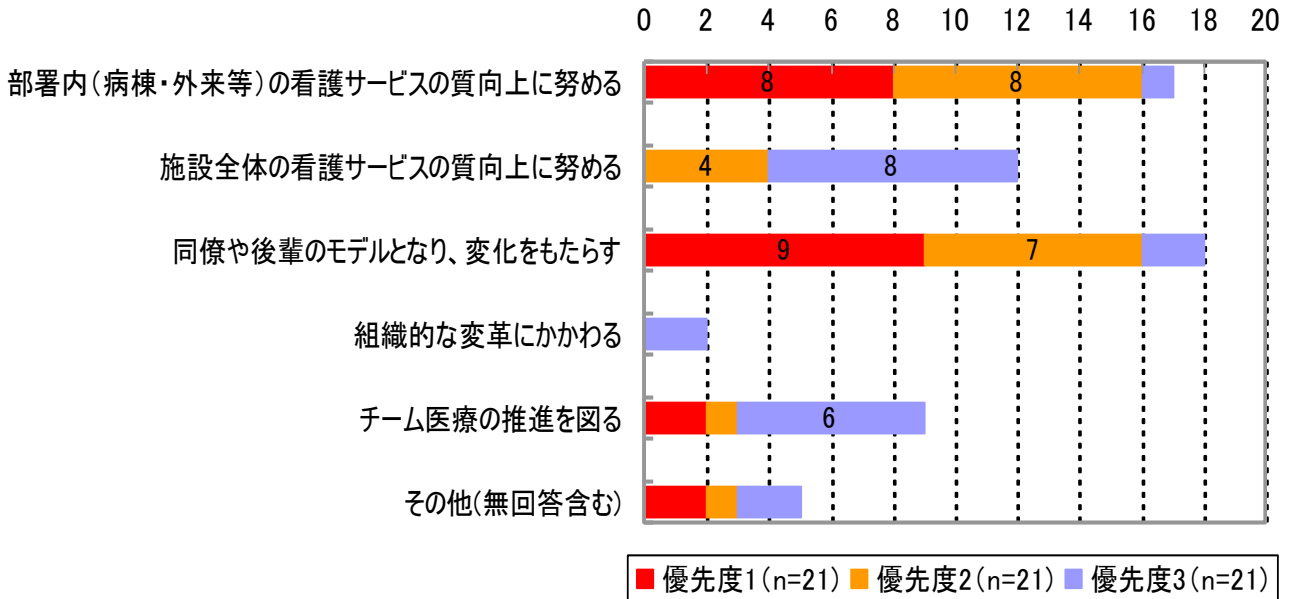
<図103. 透析看護・資格取得前後の活動範囲の変化>



<図104. 透析看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が72.2%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は11.8%に減少し、活動範囲が拡大していた(図103)。
施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の40.0%が資格取得後では44.4%に増加していた(図104)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

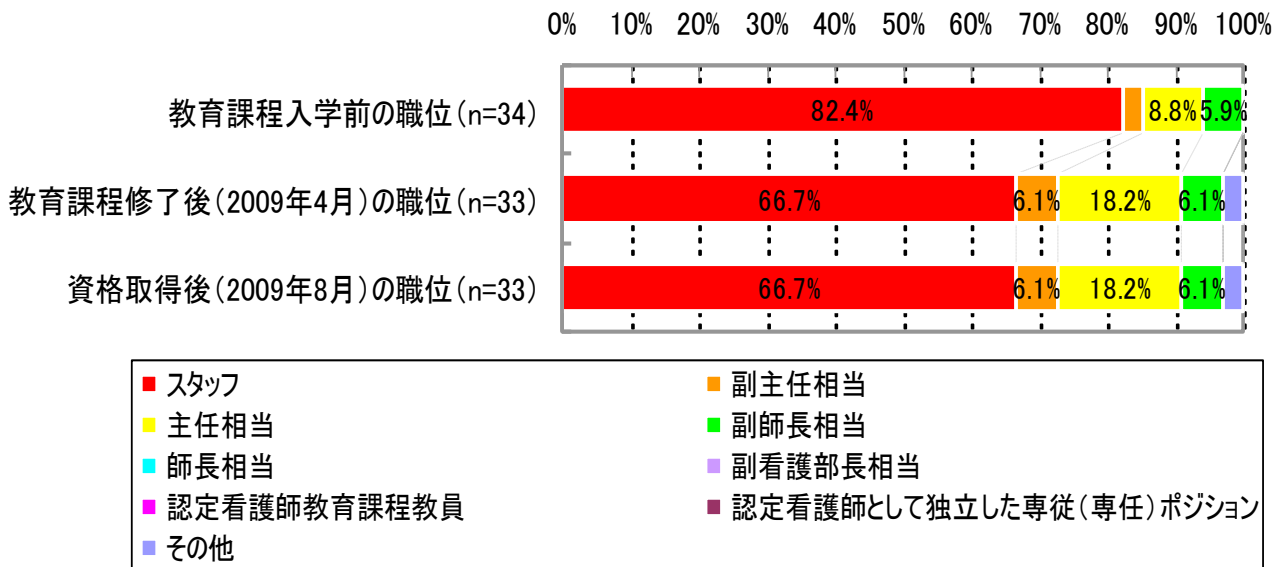


<図105. 透析看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数63名中18名で最も多かった。優先度の一番高い項目は同項目が9名で最も多かった(図105)。

12 手術看護

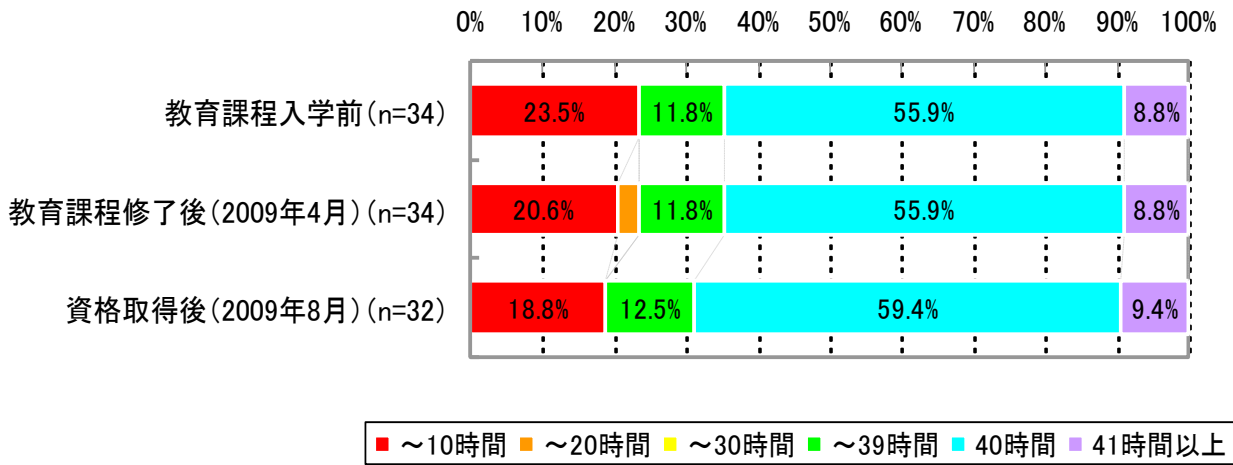
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



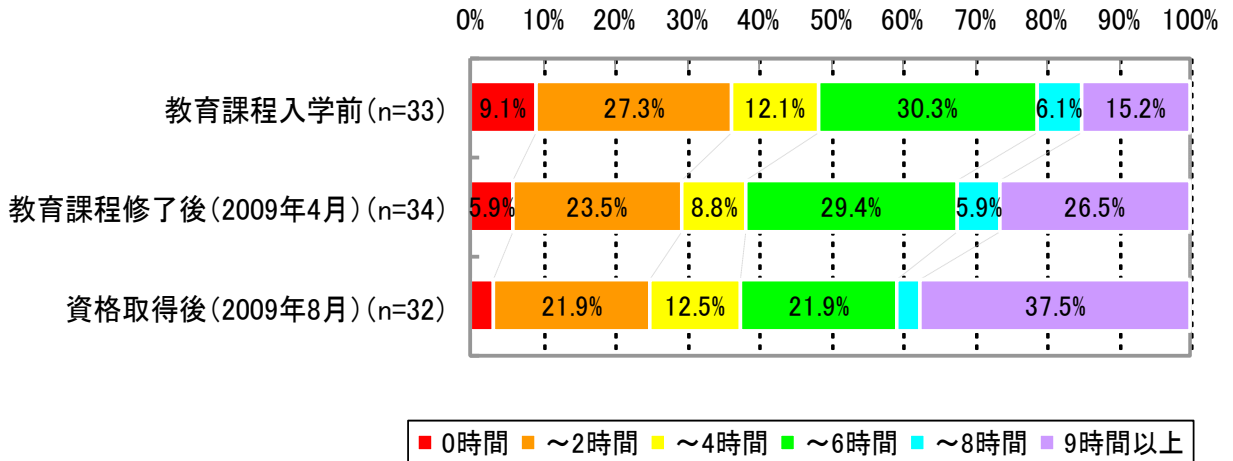
<図106. 手術看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、手術看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が82.4%から66.7%に減少し、「主任相当」の割合が8.8%から18.2%に増加していた(図106)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
 時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図107. 手術看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

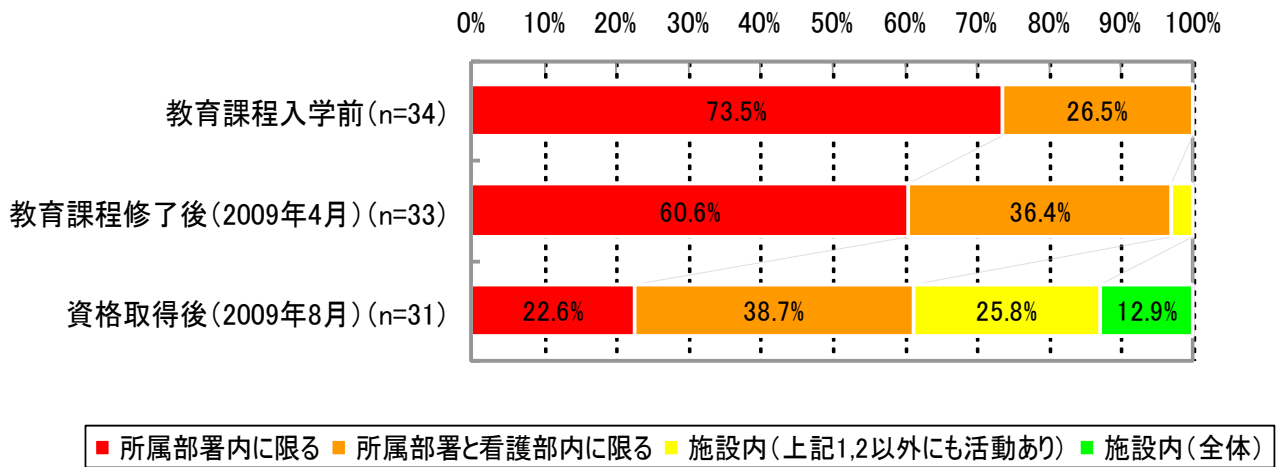


<図108. 手術看護・資格取得前後の時間外勤務における実践時間数の変化>

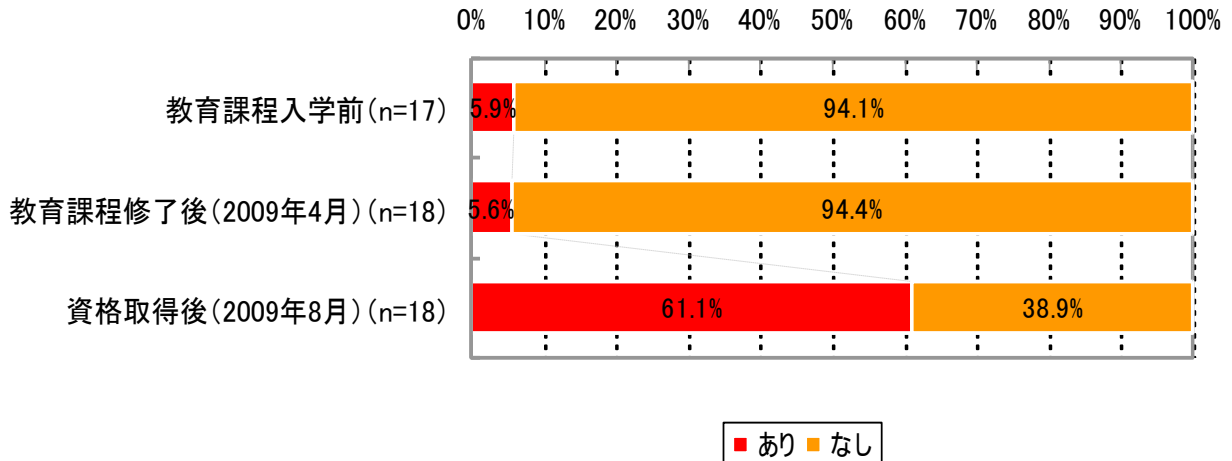
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が56%であり、次いで「10時間以下」が23.5%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、どの時間帯も大きな変化は見られなかった(図107)。

勤務時間外における実践時間数は、「0~2時間まで」が減少し、特に、「9時間以上」が2倍以上増加していた(図108)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図109. 手術看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

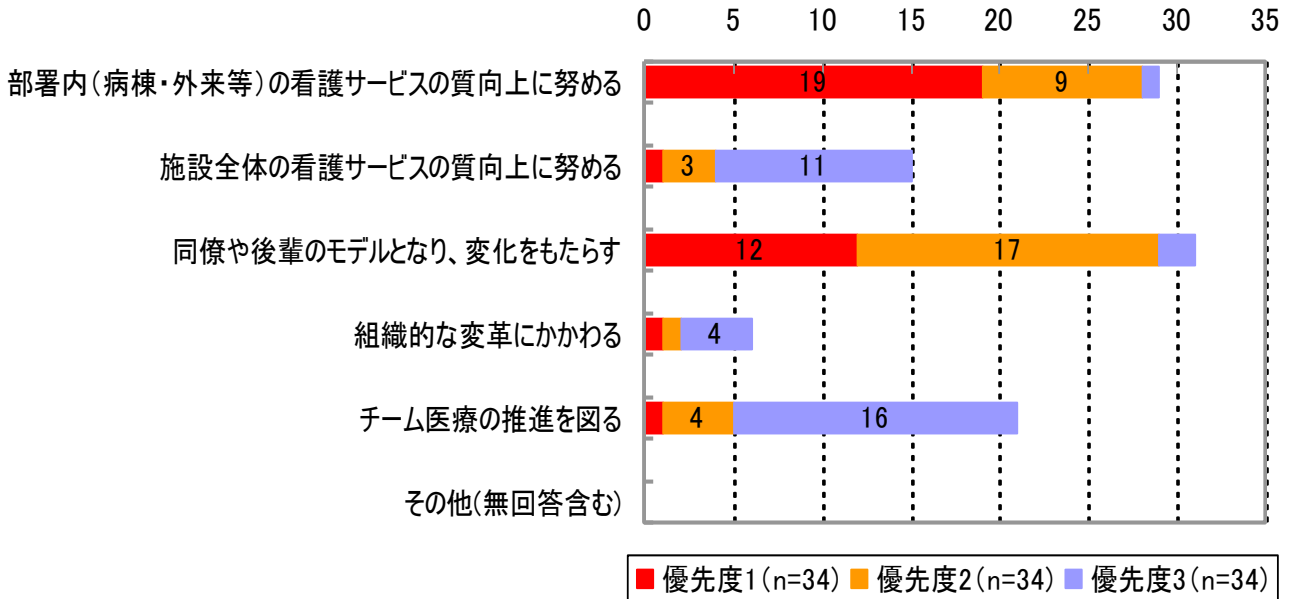


<図110. 手術看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前の施設内活動範囲は、「所属部署内に限る」が74%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は22.6%に減少し、活動範囲が拡大していた(図109)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の6.9%から資格取得後には61.1%に増加していた(図110)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

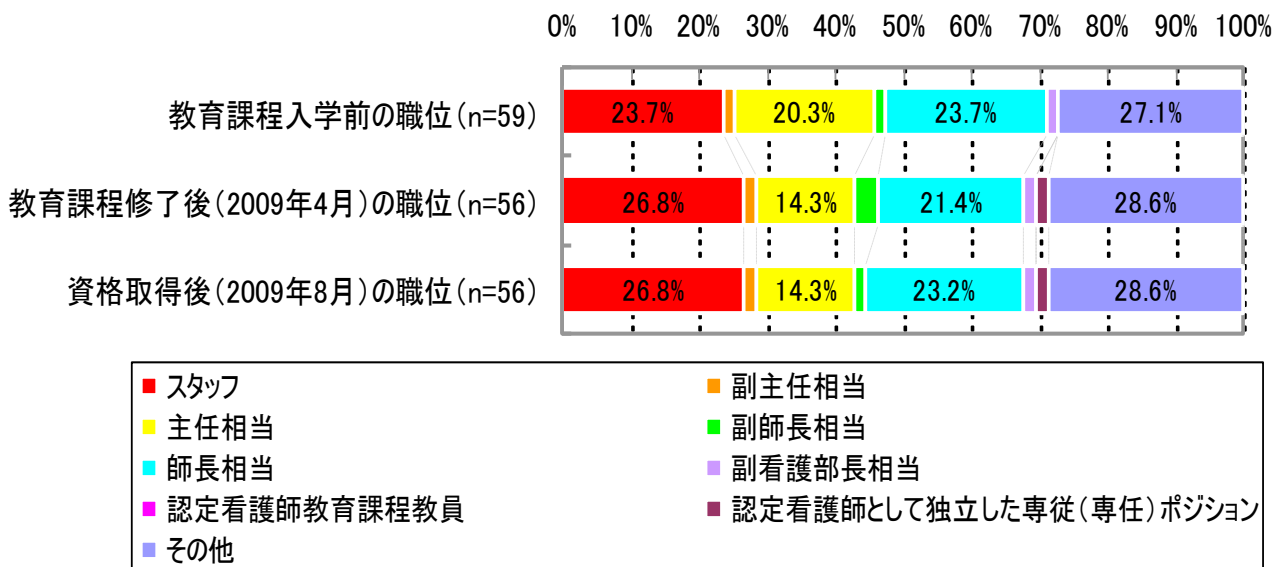


<図111. 手術看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数102名中31名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が19名で最も多かった(図111)。

13 訪問看護

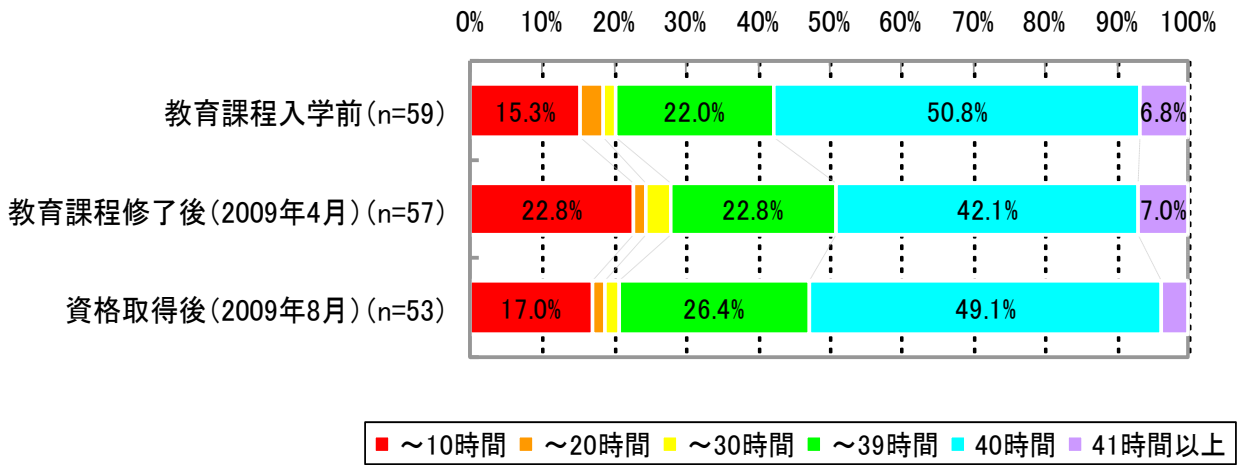
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



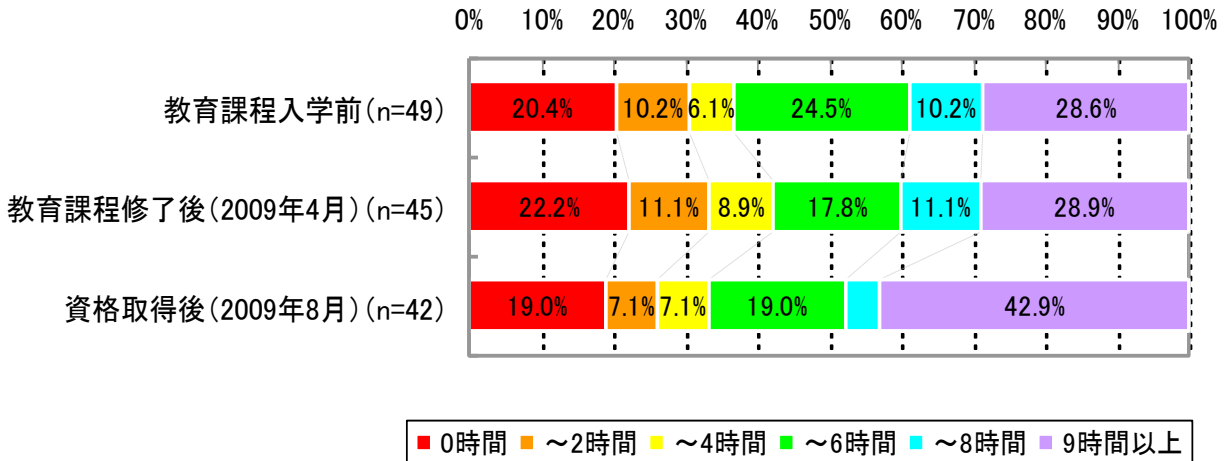
<図112. 訪問看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、訪問看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が23.7%から20.8%に減少したが、全体的に見ると大きな変化はなかった(図112)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図113. 訪問看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

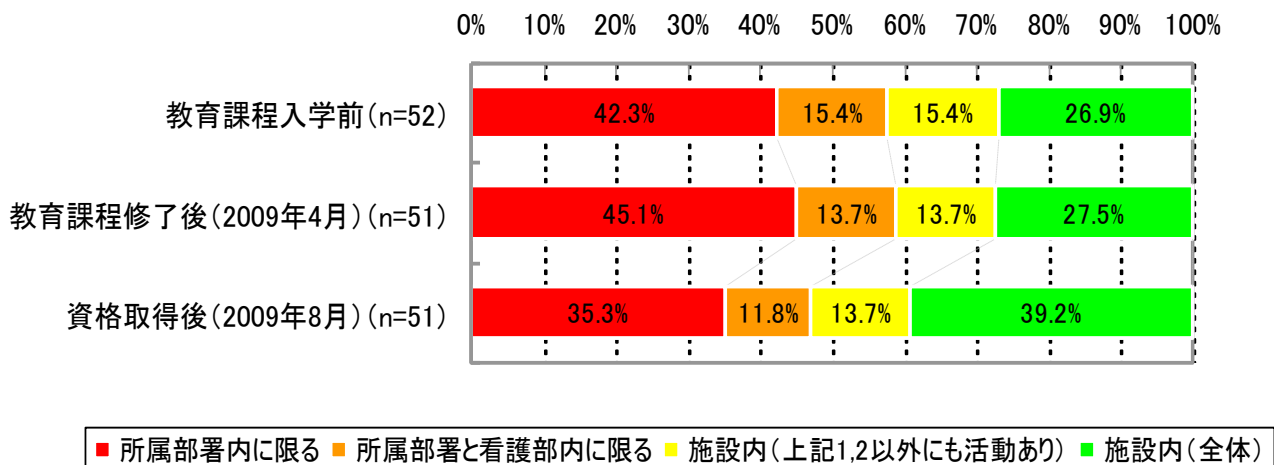


<図114. 訪問看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

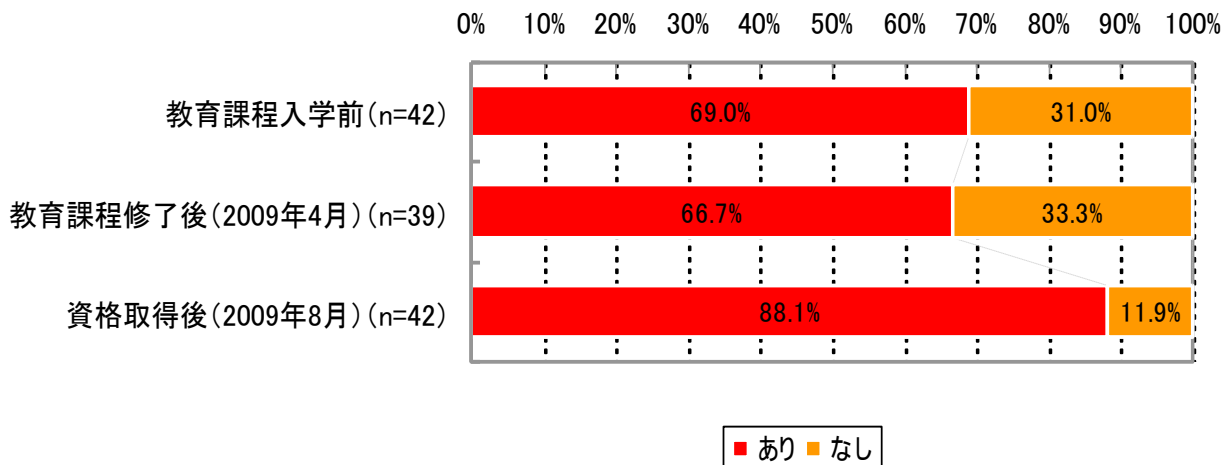
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が50.8%であり、次いで「20～30時間まで」が22.0%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、どの時間帯も大きな変化は見られなかった(図113)。「時間外勤務」での実践時間数では、「9時間以上」が資格取得後に増加している。

13 訪問看護

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図115. 訪問看護・資格取得前後の活動範囲の変化>



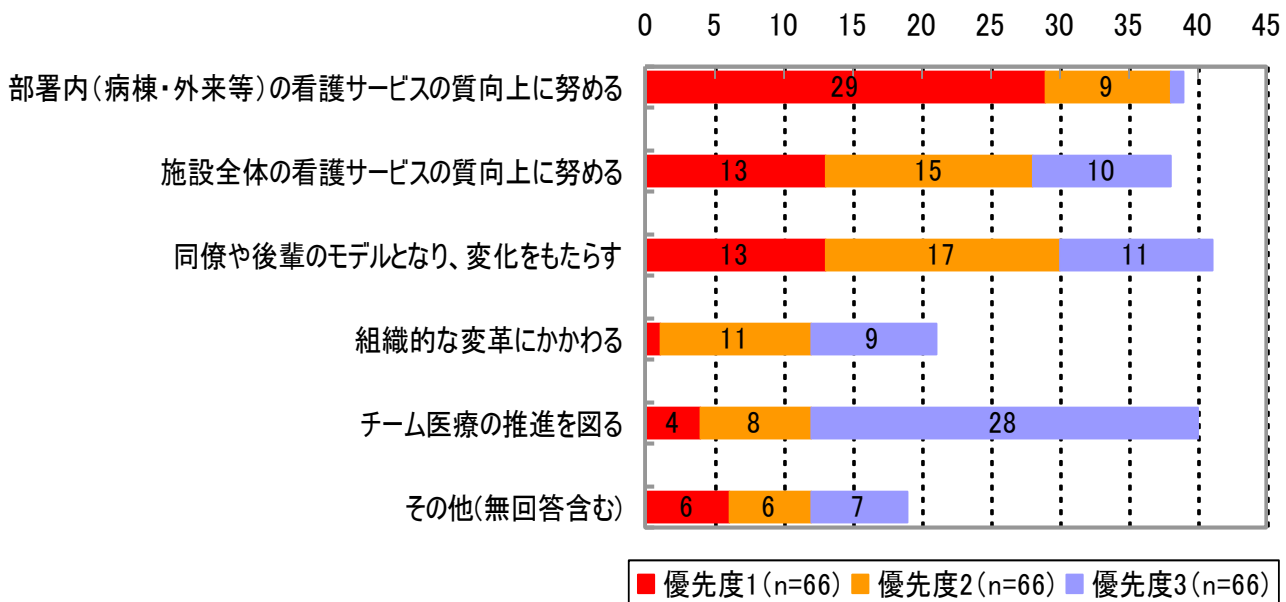
<図116. 訪問看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が42.3%であった。教育課程入学前から教育課程修了後の傾向を見ると、大きな変化はあまりないが、教育課程修了から資格取得後では「所属部署内に限る」が35.3%に減少し、活動範囲は拡大していた(図115)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の69.0%から資格取得後には88.1%に増加していた(図116)

13 訪問看護

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

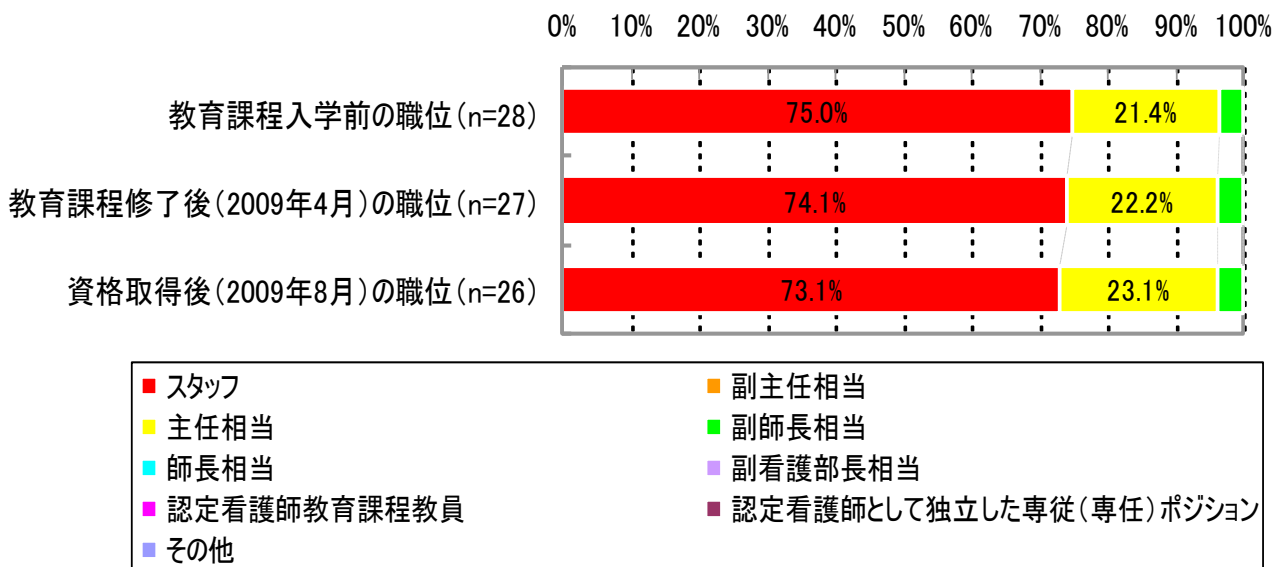


<図117. 訪問看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が回答総数198名中41名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が29名で最も多かった。

14 乳がん看護

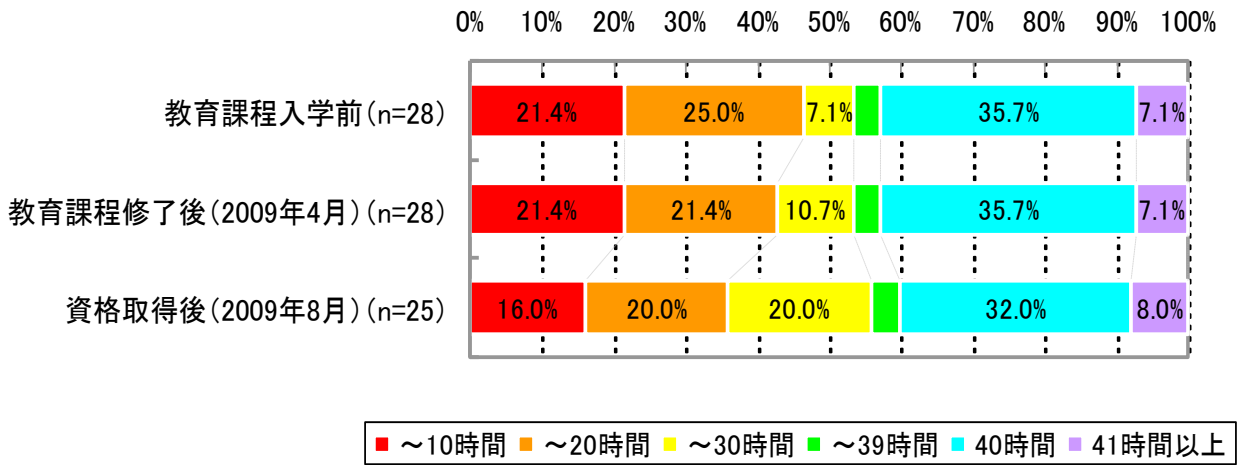
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



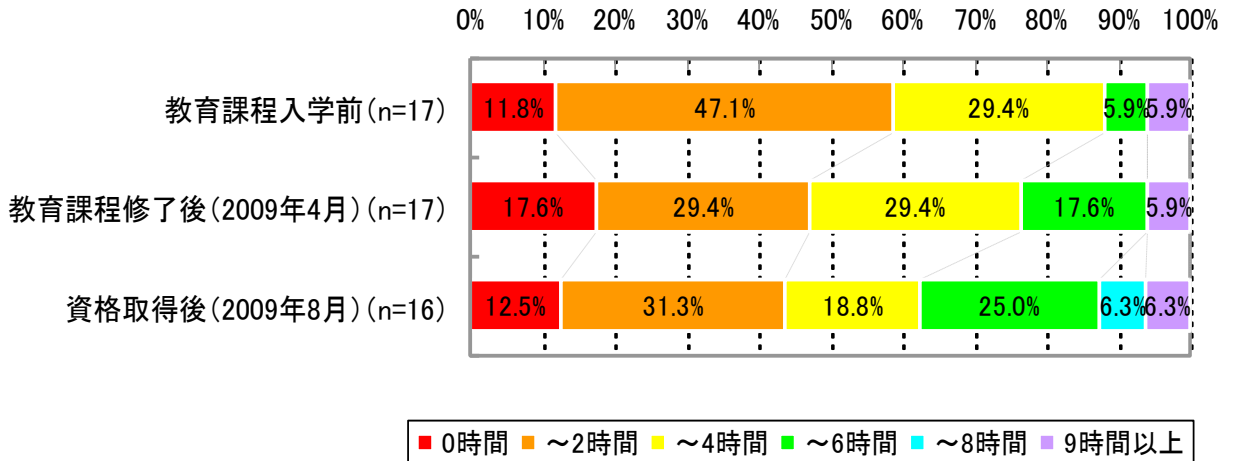
<図118. 乳がん看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、乳がん看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が75.0%から73.1%に減少していたが、全体的に見ると大きな変化はなかった(図118)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



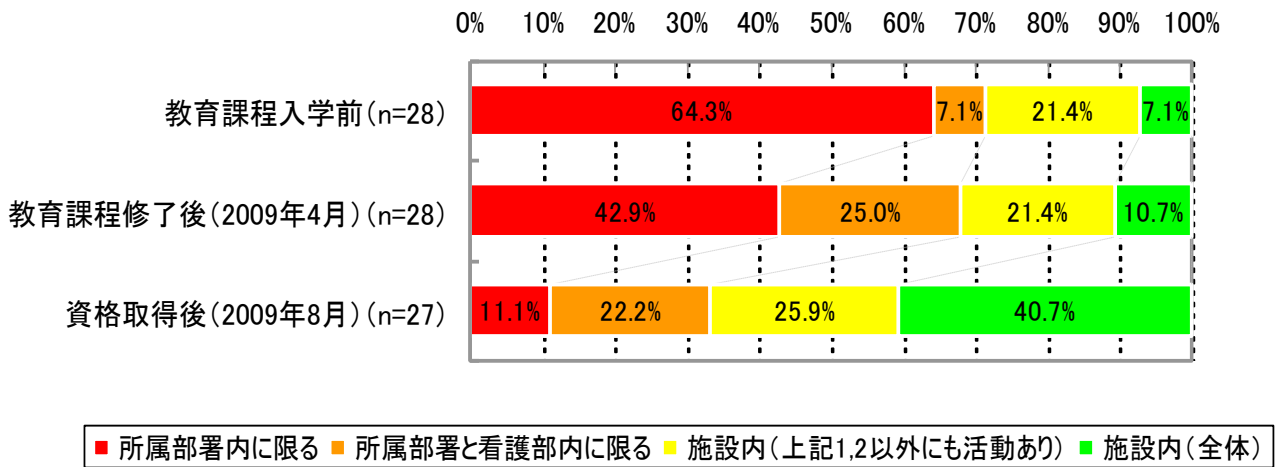
<図119. 乳がん看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>



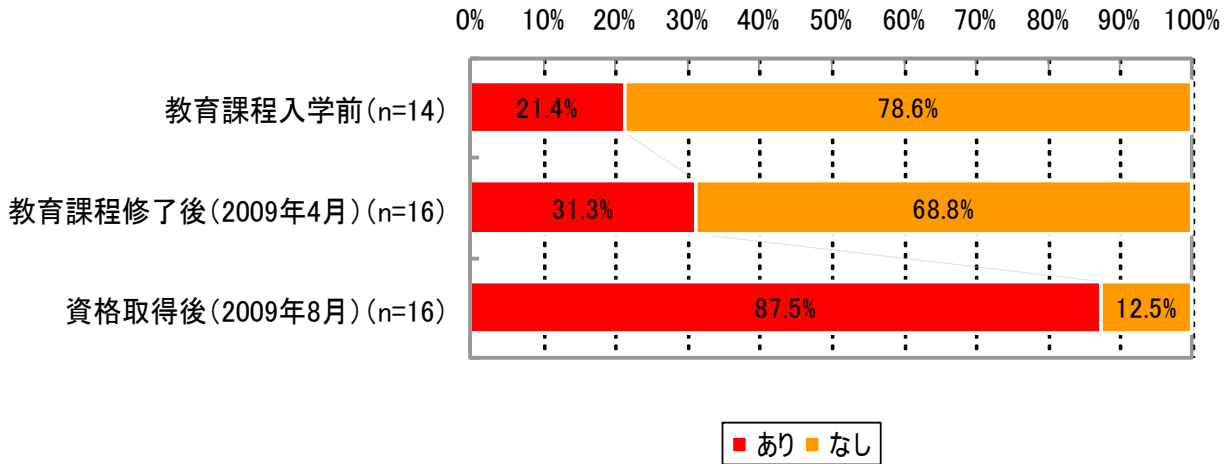
<図120. 乳がん看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が36%であり、次いで「20~30時間まで」が25%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「20時間以下」が減少し、「20~30時間まで」が増加していた(図119)。
勤務時間外における実践時間数は、「2時間まで」が減少し、「4~6時間まで」が4倍以上増加していた(図120)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



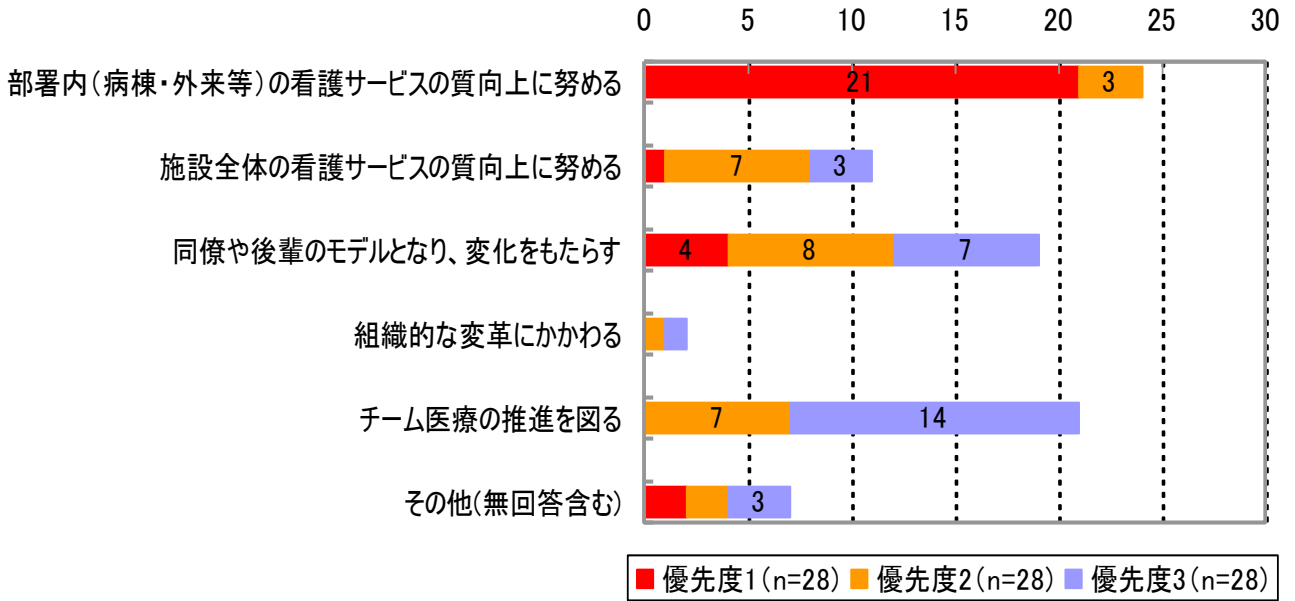
<図121. 乳がん看護・資格取得前後の活動範囲の変化>



<図122. 乳がん看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が64%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は11.1%に減少し、活動範囲が拡大していた(図121)。
施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の21.4%から資格取得後には87.5%に増加していた(図122)。

4.) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

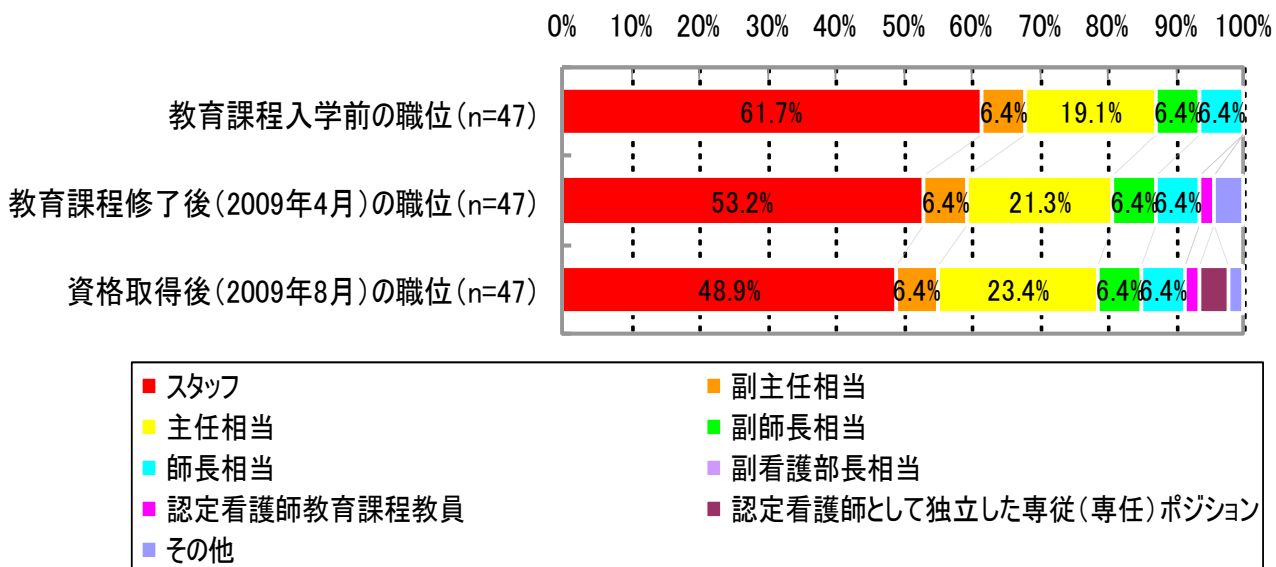


<図123. 乳がん看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が回答総数84名中24名で最も多かった。優先度の一番高い項目では同項目が21名で最も多かった(図123)。

15 摂食・嚥下障害看護

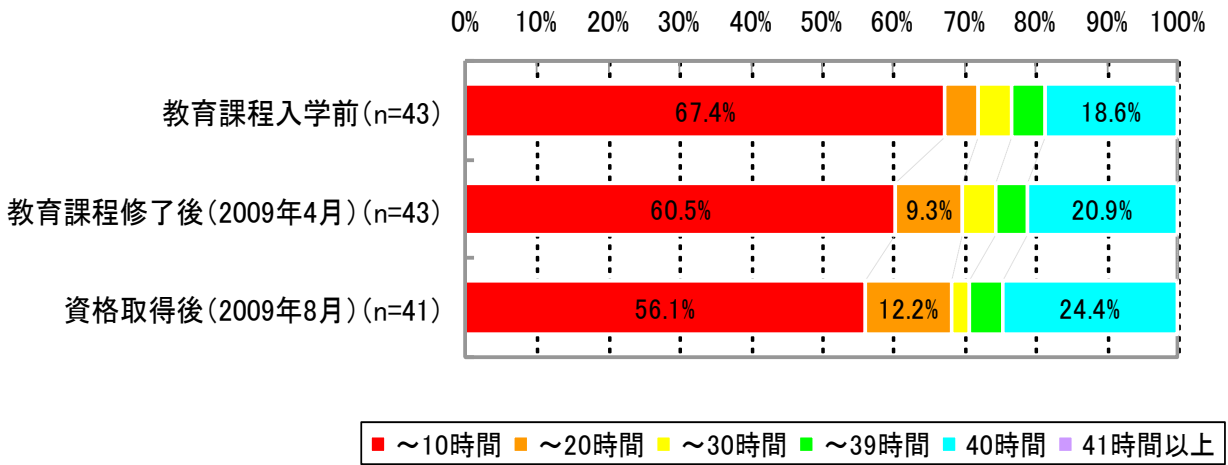
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



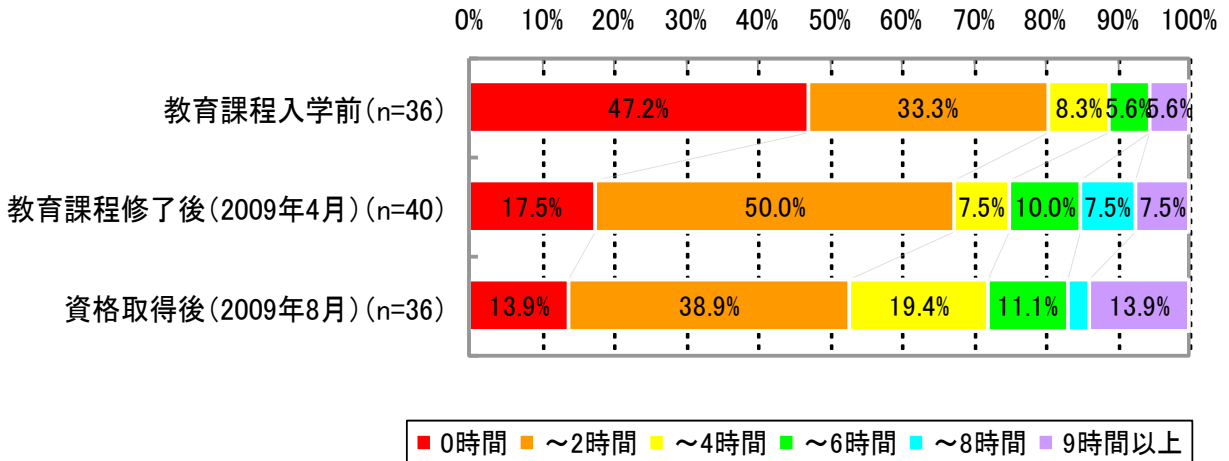
<図124. 摂食・嚥下障害看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、摂食・嚥下障害看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が61.7%から48.9%に減少し、「主任相当」の割合が19.1%から23.4%に増加していた(図124)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図125. 摂食・嚥下障害看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

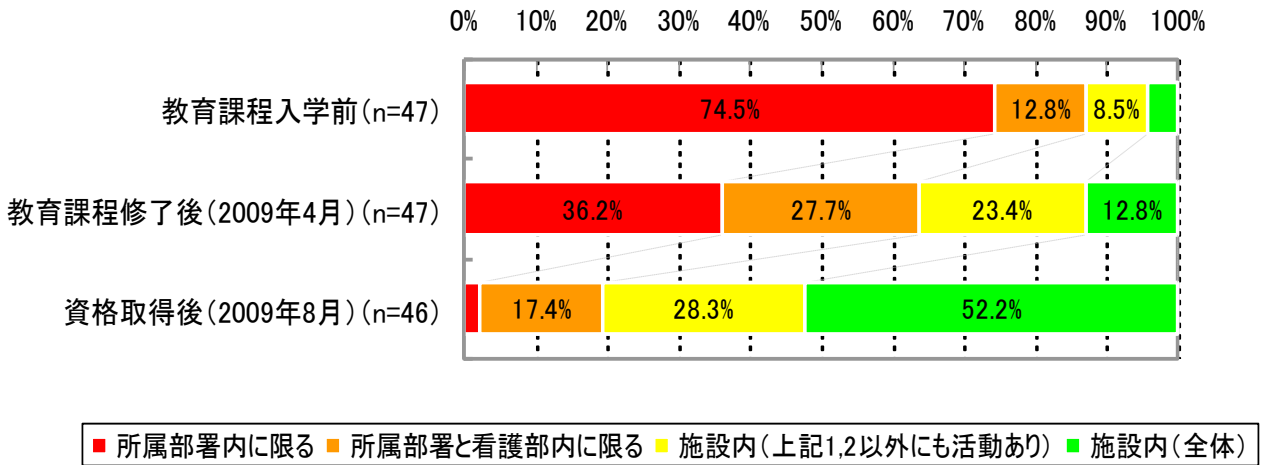


<図126. 摂食・嚥下障害看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

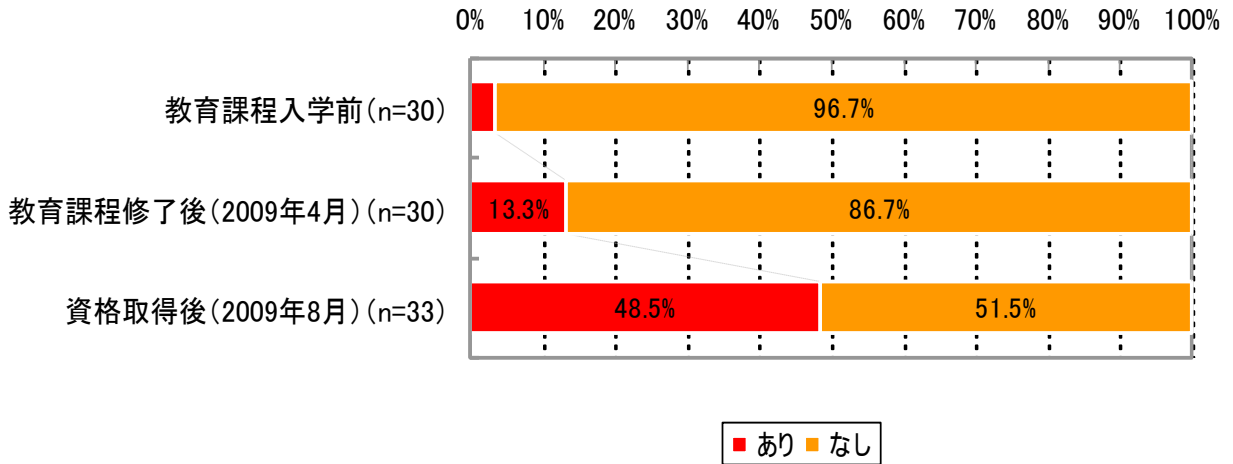
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「10時間まで」が67.4%であり、次いで「40時間」が18.6%であった。教育課程入学前から資格取得後の実践時間数を見ると、「10時間以下」が減少し、「20～30時間まで」が増加していた(図125)。

勤務時間外における実践時間数は、「2時間まで」が減少し、それ以外は増加していた(図126)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図127. 摂食・嚥下障害看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

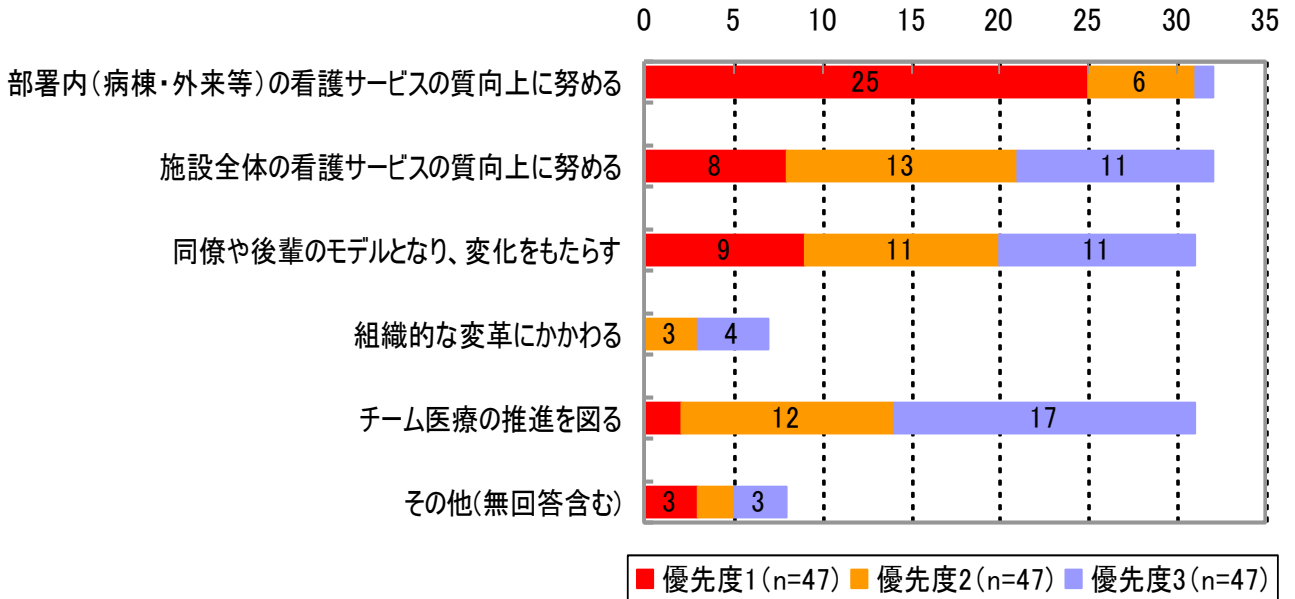


<図128. 摂食・嚥下障害看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が74.5%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は2%に減少し、活動範囲が拡大していた(図127)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の3%から資格取得後には48.5%に増加していた(図128)。

4.) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

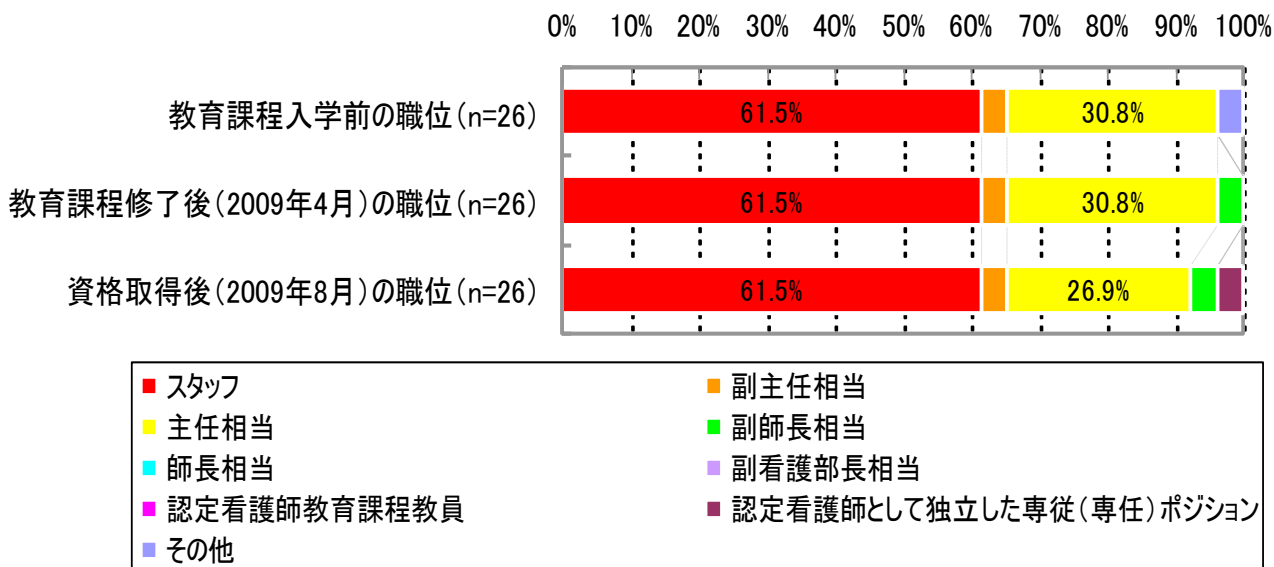


<図129. 摂食・嚥下障害看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」と「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数141名中どちらも32名で最も多かった。優先度の1番高い項目では「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が25名で最も多かった(図129)。

16 小児救急看護

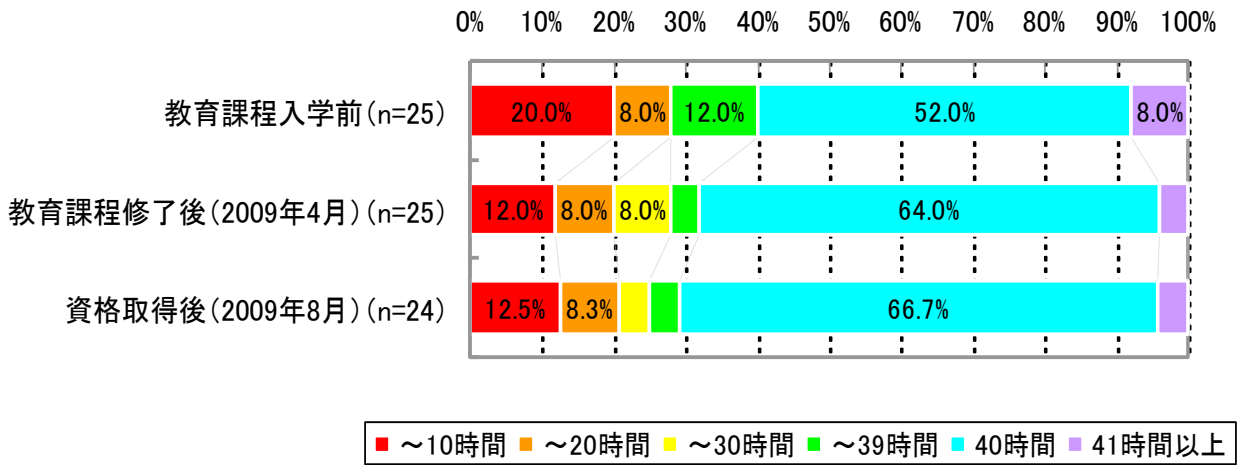
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



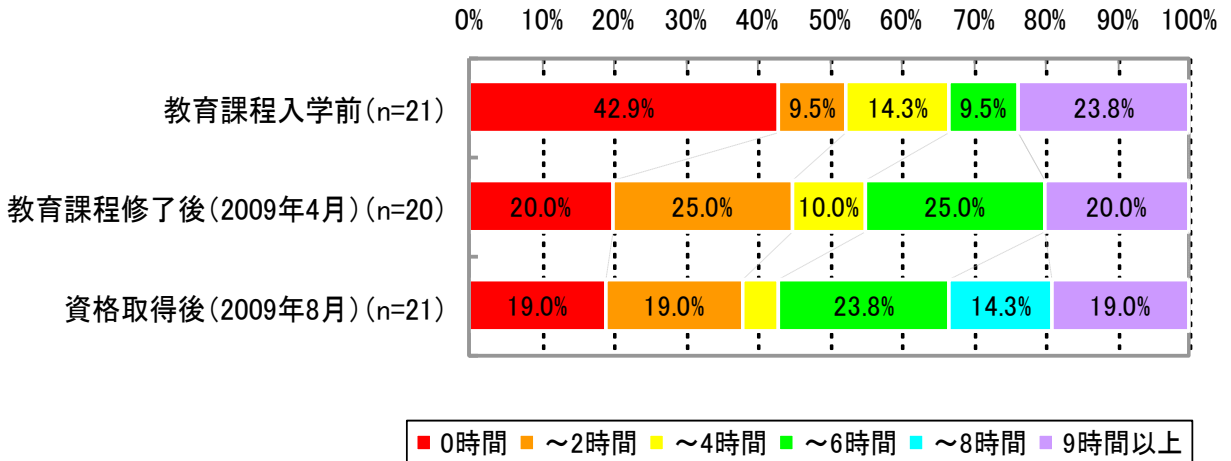
<図130. 小児救急看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、小児救急看護分野の認定者では、教育課程入学前から資格取得後の職位について、各職位とも大きな変化は見られなかった(図130)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



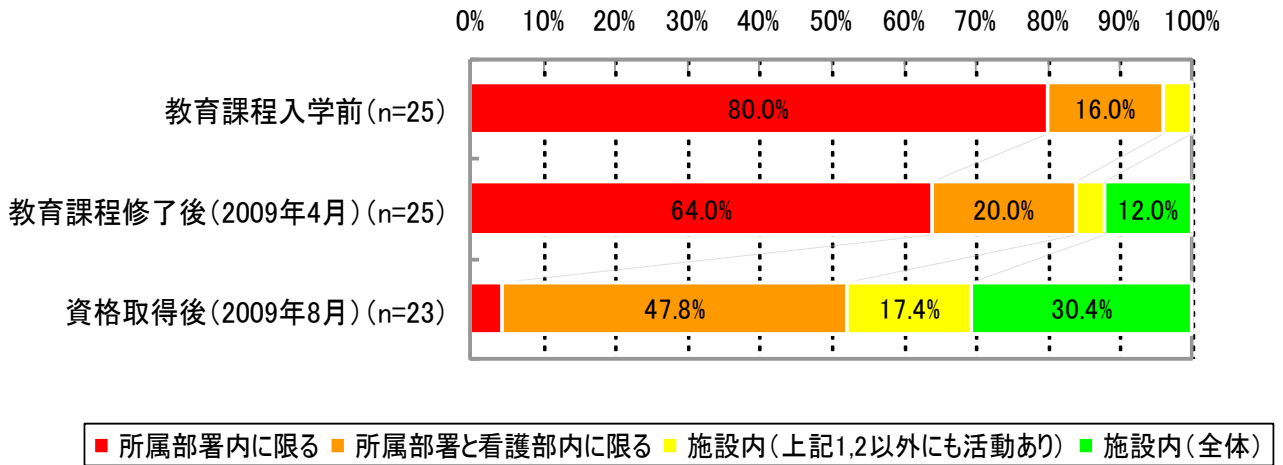
<図131. 小児救急看護・資格取得前後の時間内勤務における実践時間数の変化>



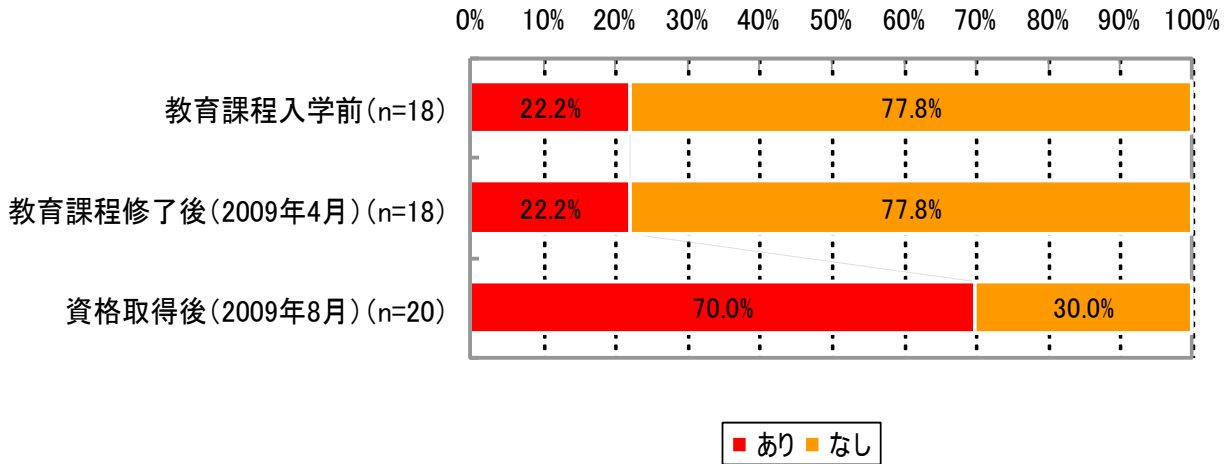
<図132. 小児救急看護・資格取得前後の時間外勤務における実践時間数の変化>

認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が52.0%を占め、次いで「10時間以下」が20%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「30～39時間まで」が減少し、「40時間」が増加していた(図131)。
勤務時間外における実践時間数は、「0時間」が減少し、「2～8時間まで」が増加していた(図132)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図133. 小児救急看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

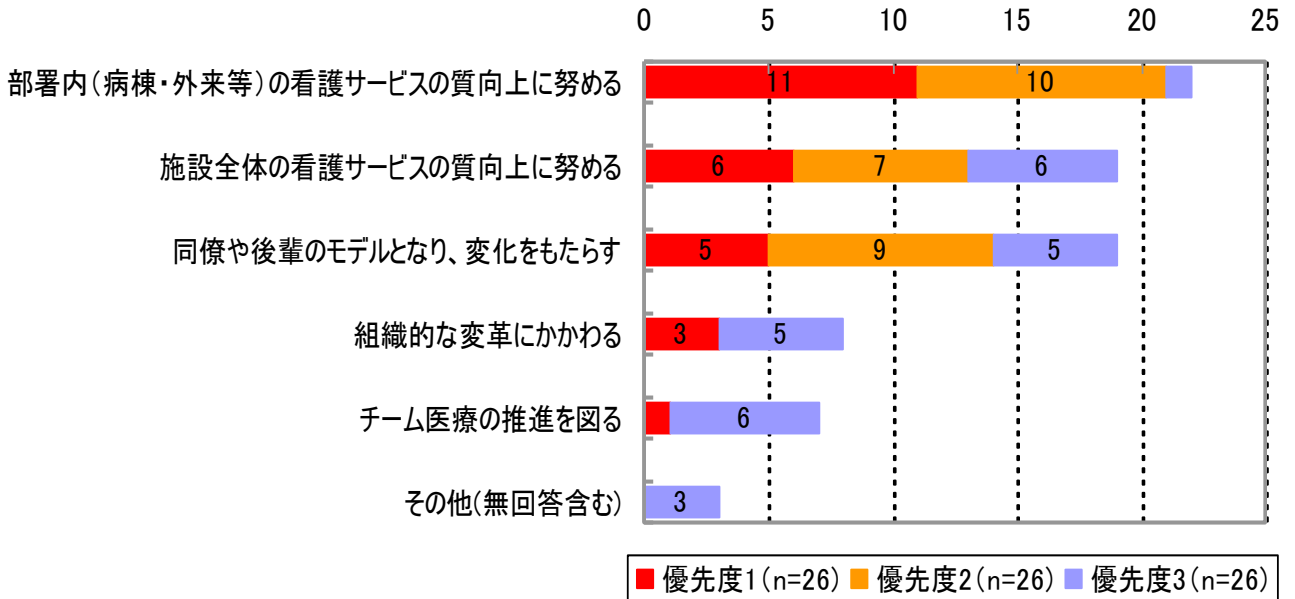


<図134. 小児救急看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が80.0%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は4%に減少し、活動範囲が拡大していた(図133)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の22.2%から資格取得後には70.0%に増加していた(図134)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について

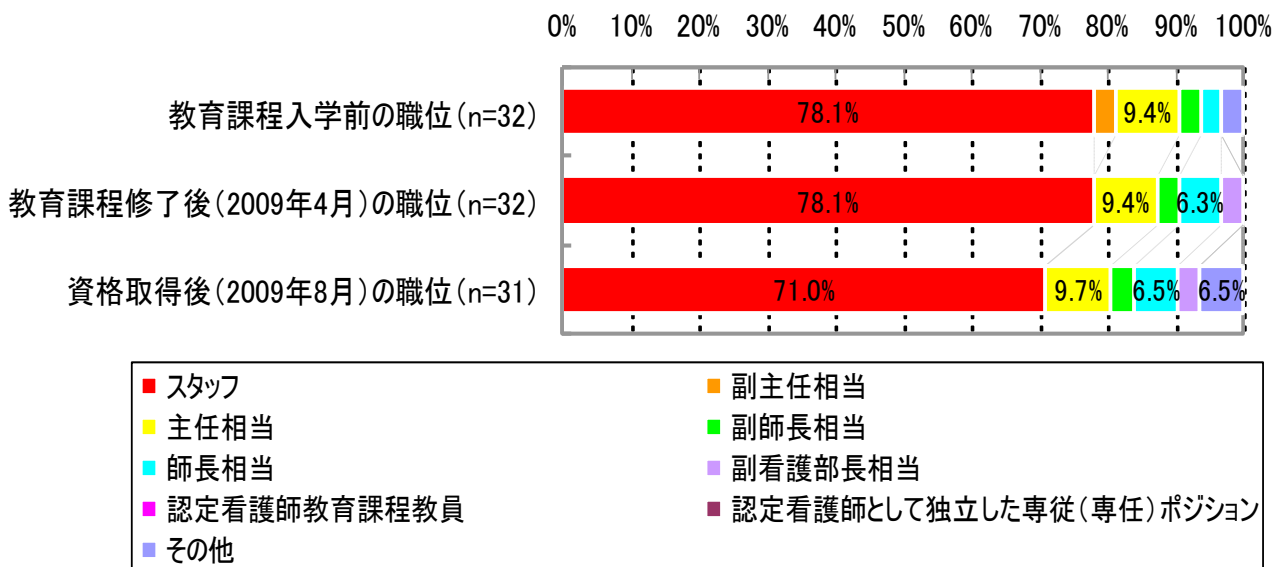


<図135. 小児救急看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「部署内(病棟・外来等)の看護サービスの質向上に努める」が回答総数78名中22名で最も多かった。優先度の一番高い項目では同項目が11名で最も多かった(図135)。

17 認知症看護

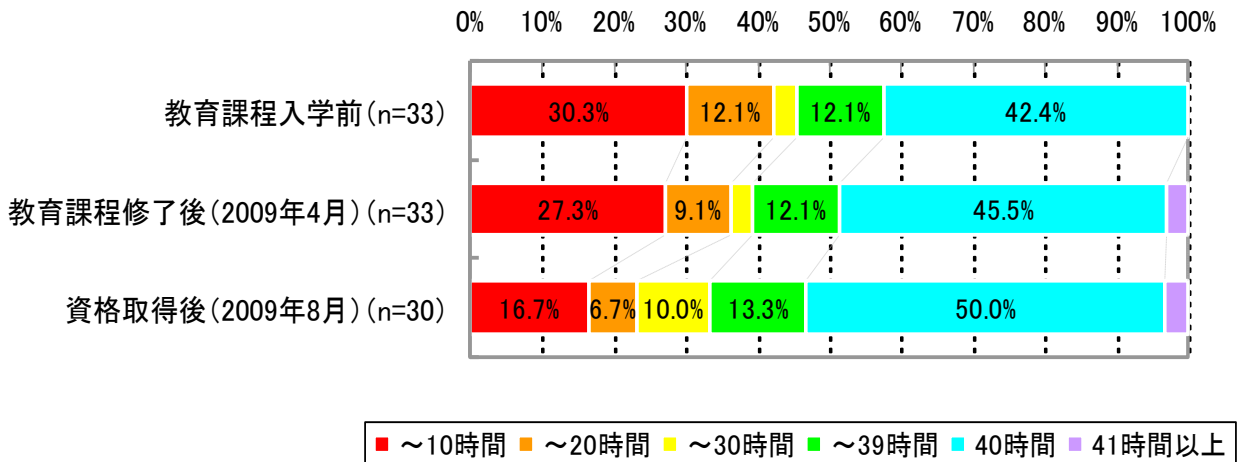
1) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の職位について



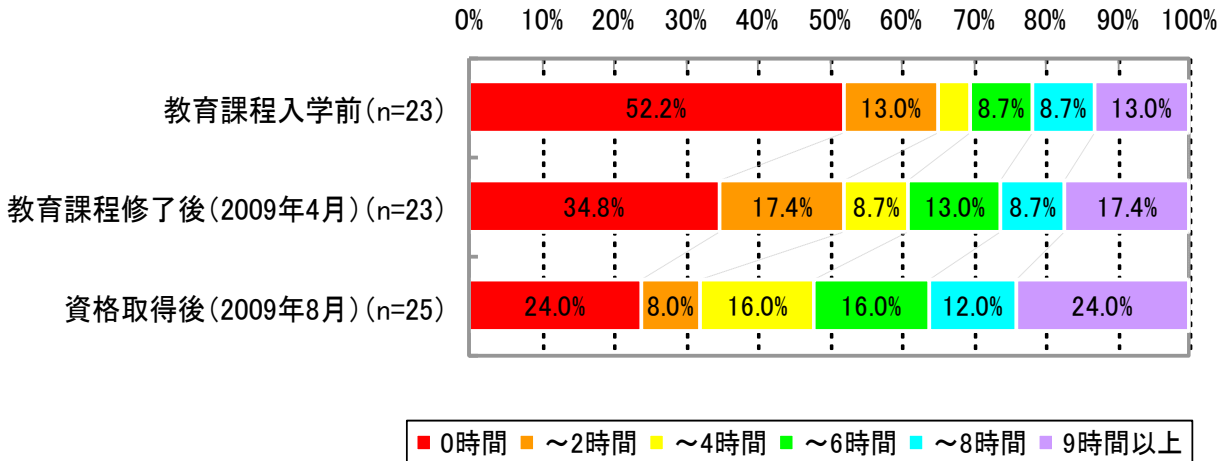
<図136. 認知症看護・資格取得前後の職位の変化>

認定看護師資格取得前後で、認知症看護分野の認定者の職位は、「スタッフ」の割合が78.1%から71.0%に減少し、資格取得後には「師長相当」が約7%、「その他」が約7%となり、増加していた(図136)。

2) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の認定看護分野での
時間内／時間外勤務における実践時間数について



<図137. 認知症看護・資格取得前後の勤務時間内における実践時間数の変化>

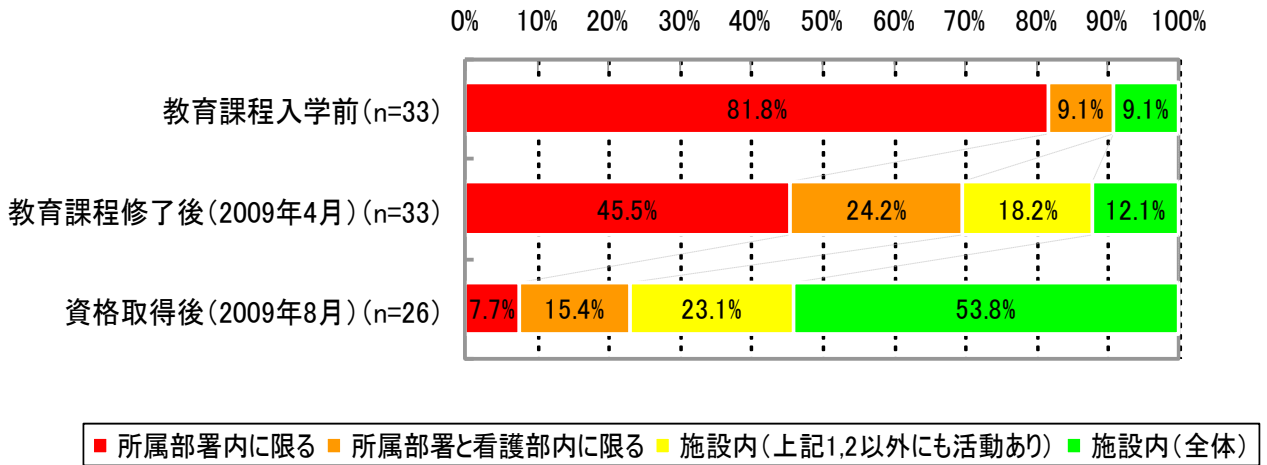


<図138. 認知症看護・資格取得前後の勤務時間外における実践時間数の変化>

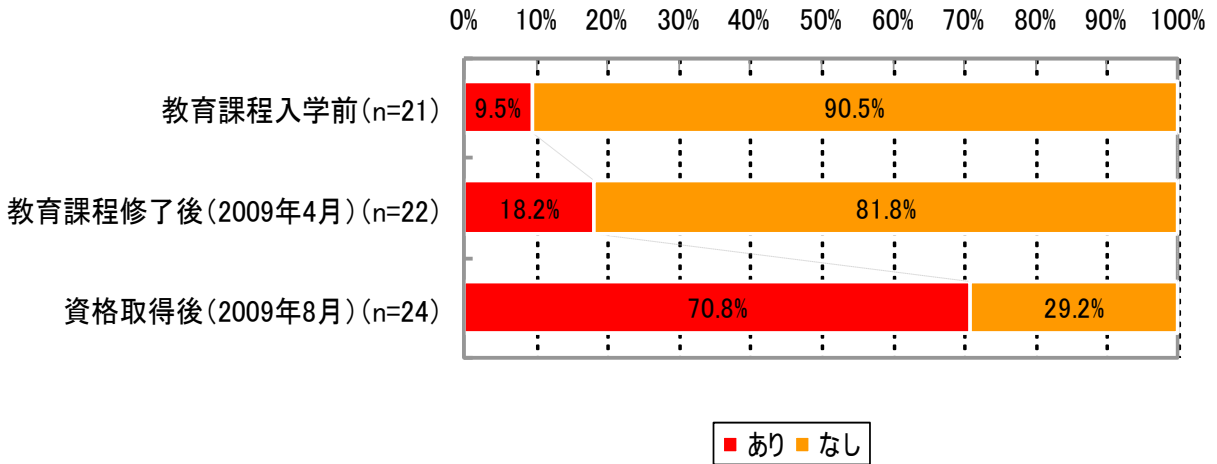
認定看護師教育課程入学前の勤務時間内実践時間数(週単位)は「40時間」が42%であり、次いで「10時間以下」が30%であった。教育課程入学前から資格取得後までの実践時間数を見ると、「20時間以下」が減少し、「40時間」が増加していた(図137)。

勤務時間外における実践時間数は、「2時間まで」が減少し、特に、「9時間以上」が増加していた(図138)。

3) 認定看護師教育課程入学前、修了後、資格取得後の活動範囲について



<図139. 認知症看護・資格取得前後の活動範囲の変化>

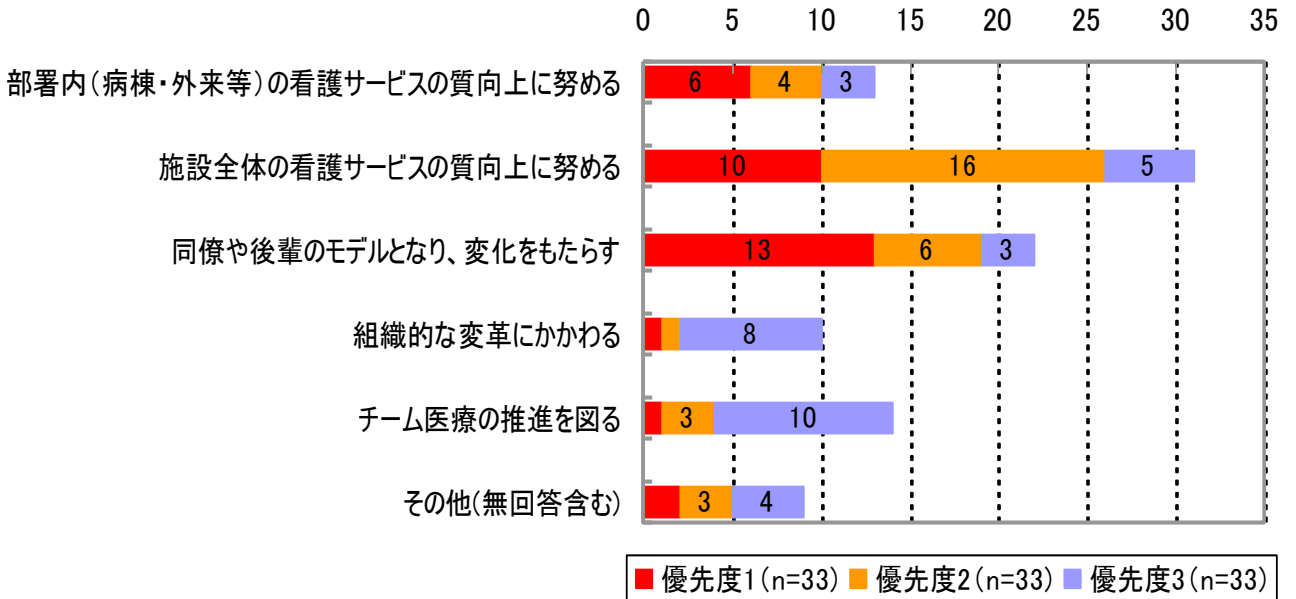


<図140. 認知症看護・資格取得前後の施設外地域活動の変化>

認定看護師教育課程入学前での施設内の活動範囲は、「所属部署内に限る」が81.8%であった。教育課程修了から資格取得後の傾向を見ると、「所属部署内に限る」は7.7%に減少し、活動範囲が拡大していた(図139)。

施設外地域活動の範囲は、「あり」の者が教育課程入学前の9.5%から資格取得後には70.8%に増加していた(図140)。

4) 今後5年間で、力を入れて取り組んでいきたい活動について



<図141. 認知症看護・今後5年間の活動目標>

優先度1～3をあわせて見ると、「施設全体の看護サービスの質向上に努める」が回答総数99名中31名で最も多かった。優先度の一番高い項目では「同僚や後輩のモデルとなり、変化をもたらす」が13名で最も多かった(図141)。